

2017年4月分新聞書評



山怪～山人が語る不思議な話～<2>

田中 康弘 著

山と溪谷社

山に潜みしモノ、その正体は誰にも分からない。山で働き暮らす人々が実際に遭遇した奇妙な体験を紹介する。2 は、「八甲田山」「山の中で聞こえる音は」「最新科学と交差する謎」などを収録。現代版遠野物語。

2017:2./ 254p

978-4-635-32008-5

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2017/04/01



役者なんかおやめなさい～84 歳、日本を代表する名優が語る、60 年余の舞台人生～(THE INTERVIEWS 6)

仲代 達矢 著

コスモの本

テレビを観て、こんなものかと思っていたら大間違い。役者っていうのは本当に厳しい商売ですよ。稀代の名優、仲代達矢が 60 年以上に及ぶ役者人生と戦争体験者としての思いを語ったインタビューを収録。

2017:3./ 158p

978-4-86485-032-2

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/04/01



なるほどわかったコンピューターとプログラミング

ロージー・ディキンズ、ショー・ニールセン、福本 友美子、阿部 和広 著

ひさかたチャイルド

仕掛けをめくってコンピューターのことを知ろう。2020 年度から小学校での必修化も検討されている、プログラミングが学べる絵本。

2017:2./ 14p

978-4-86549-088-6

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2017/04/02



終りなき夜に生れつく

恩田 陸 著

文藝春秋

特殊能力を持って生まれ、少年期を共に過ごした 3 人の「在色者」は別々の道を歩み、再会する。傭兵、入国管理官、そして稀代の犯罪者となって...。「夜の底は柔らかな幻」のスピノフ短篇集。『オール讀物』掲載を単行本化。

2017:2./ 306p

978-4-16-390609-6

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/04/02



死者はどこへいくのか～死をめぐる人類五〇〇〇年の歴史～(河出ブックス 102)

大城 道則、伊藤 由希子、菊地 達也、設楽 博己、竹内 整一、月本 昭男、久恒 晃代、松村 一男 著

河出書房新社

人は死後どこへいくのか。太古の昔から時代・地域を問わず、常に人間の傍らにあった人類最大の謎を、第一線の研究者 8 名が読み解く。

2017:2./ 262p

978-4-309-62502-7

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/04/02

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2017 年 5 月時点での税抜価格です。



楽しみながら 1分で脳を鍛える速音読～認知症予防にもおすすめ!～

齋藤 孝 著
致知出版社

まとまった文章を速いテンポで流れるように読むと、脳がフル回転する!速読と音読を1つにした「速音読」を行うためのテキストブック。「坊っちゃん」「羅生門」など、文学作品を中心に収録。かかった時間の記入欄付き。

2017:1./ 137p
978-4-8009-1134-6
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2017/04/02



アリガト 謝

木下 諄一 著
講談社

世界にも類を見ない東日本大震災への義援金 200 億円。そして、たったひとりの日本人女性が巻き起こした奇跡。「謝謝台湾計画」とは何だったのか? 台湾在住 30 年の著者が圧倒的取材で綴る。

2017:3./ 311p
978-4-06-220495-8
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/04/02



日本と世界がわかる最強の日本史(扶桑社新書 236)

八幡 和郎 著
育鵬社

世界史の中に日本の栄光と挫折はどう描かれるべきか? 世界が納得し、中国・韓国も黙る日本国家の正史。ベストセラー歴史作家が、公平な目で日本の歴史をとらえる。「世界と日本がわかる最強の世界史」の姉妹編。

2017:2./ 326p
978-4-594-07626-9
本体 ¥880+税



産経新聞 2017/04/02



ダ・ヴィンチ絵画の謎~カラー版~(中公新書 2425)

齋藤 泰弘 著
中央公論新社

鏡文字で書かれたダ・ヴィンチの手稿を研究し、彼の抱く世界観を知悉する著者が、俗説を退けながら、現存する主要な絵画のテーマや来歴について、ダ・ヴィンチ自身のものの見方に立って解説する。カラー図版も豊富に掲載。

2017:3./ 4p,195p
978-4-12-102425-1
本体 ¥1,000+税



産経新聞 2017/04/02



大往生したけりや医療とかかわるな<介護編> 2025 年問題の解決をめざして(幻冬舎新書 な-11-3)

中村 仁一 著
幻冬舎

「健康寿命」を延ばすことは大事。しかし、本当に大事なのは「健康寿命」後、医療や介護の利用を最小限にして、いかに要介護状態を生きるかである。生き方、死に方についての意識を変える一冊。

2017:3./ 263p
978-4-344-98454-7
本体 ¥840+税



産経新聞 2017/04/02



裁判の非情と人情(岩波新書 新赤版 1646)

原田 國男 著
岩波書店

有罪率 99%といわれる日本の刑事裁判で、20 件以上の無罪判決を言い渡した元東京高裁判事が、思わず笑いを誘う法廷での一コマから、裁判員制度、冤罪、死刑まで、知られざる仕事と胸のうちを綴る。『世界』連載を書籍化。

2017:2./ 5p,187p
978-4-00-431646-6
本体 ¥760+税



産経新聞 2017/04/02、日本経済新聞 2017/04/02、読売新聞 2017/04/16



土の記<上>

高村 薫 著
新潮社

東京の大学を出て関西の大手メーカーに就職し、奈良県は大宇陀の旧家の婿養子となった伊佐夫。妻を交通事故で失い、古希を迎えた伊佐夫は、残された棚田で黙々と米をつくる…。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./ 248p
978-4-10-378409-8

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/04/08



土の記<下>

高村 薫 著
新潮社

雨の下でにわか農夫はじっと息を殺し、晴れば嬉々として田んぼへ飛び出す。男は土を耕し、鯰と遊ぶ。始まりも終わりもない、果てしない人間の物思いと、天と地と、生命のポリフォニー。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./ 251p

978-4-10-378410-4

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/04/08



がんて余命ゼロと言われた私の死なない食事

神尾 哲男 著
幻冬舎

末期がんを宣告されてから14年。医者に「生きているのが信じられない状態」と驚かれながら生き続けている“奇跡のシェフ”が、昔の日本食をヒントに辿りついた命の食事法を教える。

2017:3./ 175p

978-4-344-03083-1

本体 ¥1,100+税



産経新聞 2017/04/08



私のつづりかた〜銀座育ちのいま・むかし〜

小沢 信男 著
筑摩書房

現在 89歳の作家が、泰明小学校二年生のときに書いた作文を、いま読みなおす。町並み、学校、友人、家族一甦る、82年前の東京！

2017:2./ 203p

978-4-480-81535-4

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2017/04/09



正しいコピーのすすめ〜模倣、創造、著作権と私たち〜(岩波ジュニア新書 849)

宮武 久佳 著
岩波書店

ネットで調べ、ワープロやスマホで文章を書く時代にはルール上、「許されるコピー」と「許されないコピー」がある。コピーやコピーがあふれる社会と著作権について、基本的な部分を平易に説明する。

2017:3./ 14p,186p,3p

978-4-00-500849-0

本体 ¥860+税



産経新聞 2017/04/09



昭和解体〜国鉄分割・民営化30年目の真実〜

牧 久 著
講談社

国鉄解体は「昭和」の解体をも意味していた。国鉄が崩壊、消滅に向けて突き進んだ20年余りの歴史を、重大証言と発掘資料で再検証し、「借金1000兆円をかかえた国家の未来」を予告する。

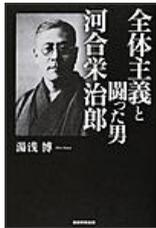
2017:3./ 517p

978-4-06-220524-5

本体 ¥2,500+税



産経新聞 2017/04/09



全体主義と闘った男河合栄治郎

湯浅 博 著

産経新聞出版

戦前はマルクス主義を痛烈に批判し、軍部が台頭するとファシズムを果敢に批判。軍部からも左翼からも挾撃され、大学から追放されても怯まなかった河合栄治郎の生涯を描き、その神髄を解き明かす。『産経新聞』連載に加筆。

2017:2./ 382p

978-4-8191-1299-4

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2017/04/09



驚きの地方創生「日本遺産・させぼの底力」～多様性と寛容性が交じり合う魅力～(扶桑社新書 237)

蒲田 正樹 著

扶桑社

佐世保の街の「画期的入門書」。ガイドブックに掲載されていないディープな穴場から、歴史や特産品、人づくり街づくりのヒントまで、長崎県佐世保市の魅力を様々な視点から紹介する。「杉浦さやかのかさせぼであそぼ」も収録。

2017:3./ 207p

978-4-594-07697-9

本体 ¥800+税



産経新聞 2017/04/09



フリーダ・カーロ～リトル・ピープル、ビッグ・ドリーム～(Rikuyosha Children & YA Books)

六耀社

メキシコで生まれたフリーダ。通学中、事故に遭い、寝たきりになったフリーダは、ベッドの上でも見える自分の足や鏡の中の自分の顔を描くようになり…。苦境に負けず、強く生き抜いた情熱の画家、フリーダ・カーロの物語。

2017:3./ 32p

978-4-89737-882-4

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/04/09



KEN が「日本は特別な国」っていうんだけど...～憲法シミュレーションノベル～(TWJ BOOKS)

ケン・ジョセフ・ジュニア、荒井 潤 著

トランスワールドジャパン

摩訶不思議男子 Q と出会ったケン太とノリカは、日本国憲法のあり方や、日本の現実を直視するシミュレーション世界に誘われていく…。ストーリー仕立てで憲法の重要性を伝える書。日本国憲法全文&英語版小冊子付き。

2017:3./ 287p

978-4-86256-198-5

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2017/04/09



芸能人と新宗教(イースト新書 084)

島田 裕巳 著

イースト・プレス

清水富美加が幸福の科学に出家すると宣言したことで、注目をあびる新宗教。なぜ芸能人は新宗教にはまるのか。芸能界と新宗教はどんなにかかわりがあるのか。新宗教と芸能人にまつわる歴史と事件をふり返りながら分析する。

2017:4./ 207p

978-4-7816-5084-5

本体 ¥861+税



産経新聞 2017/04/09



バッド・フェミニスト

ロクサーヌ・ゲイ 著

亜紀書房

ポップカルチャー、犯罪や事件、スターの DV やカミングアウト問題…。さまざまな話題を取りあげ、性差別と人種差別、経済格差が交差するアメリカの文化状況を「バッド・フェミニスト」として鋭く読み解くエッセイ集。

2017:1./ 393p

978-4-7505-1494-9

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2017/04/09、朝日新聞 2017/04/16



京大カレー部スパイス活動

石崎 楓 著
世界文化社

富山の秘境で地産地消カレー、南インドの朝ごはん…。京大カレー部の研修記やインド遠征記とともにカレー愛を綴る。カレー入門レッスンや京大周辺のカレー屋さん探訪も収録。データ:2016年8月現在。

2017:3./ 143p
978-4-418-17309-9
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2017/04/15



ママ、死にたいなら死んでもいいよ～娘のひと言から私の新しい人生が始まった～

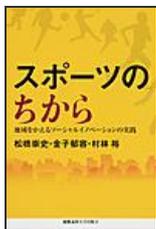
岸田 ひろ実 著
致知出版社

絶望の淵にいた私を救ったのは、「死にたいなら、死んでもいいよ」という娘の言葉だった。ダウン症の長男、夫の突然死、大手術からの生還と下半身麻痺、車椅子生活…。著者のこれまでの人生を綴る。娘から母への手紙も収録。

2017:2./ 193p
978-4-8009-1137-7
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/04/15



スポーツのちから～地域をかえるソーシャルイノベーションの実践～

松橋 崇史、金子 郁容、村林 裕 著
慶應義塾大学出版会

活気のあるまちには理由がある スポーツで人と人がつながれば、大きな「ちから」が生まれる。全国各地の成功事例から豊かなまちをつくるための考え方や方法を示す!

2016:10./ 5p,201p
978-4-7664-2372-3
本体 ¥2,400+税



産経新聞 2017/04/16



ともだちのひっこし(わたしのえほん)

宮野 聡子 著
PHP研究所

大好きな友だちのともちゃんが引っ越すことに……。それを知ったゆうちゃんは、「さようなら」を言えなくなってしまいました。

2017:2./ 32p
978-4-569-78625-4
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2017/04/16



昭和俳句作品年表<戦後篇> 昭和21年～45年

現代俳句協会 編
東京堂出版

「戦前・戦中篇」に続く「戦後篇」。1945年以降に発表された俳句から、歴史的な評価を得ている作品、時代を顕著に反映し俳壇に衝撃を与えた作品、無名俳人の埋もれた名句など3600句。戦後の俳句界を総括した解説と索引を付す。

2017:3./ 433p
978-4-490-20879-5
本体 ¥3,200+税



産経新聞 2017/04/16



旅人よ どの街で死ぬか。～男の美眺～

伊集院 静 著
集英社

大人の男は「孤」を知るべきだ。「孤」を知るには、旅をすることだーパリ、アルル、グラスゴー、バルセロナ…エッセイの名手・伊集院静がいくつもの「街」を旅しながら、「いかに生きるか」を綴る。

2017:3./ 221p
978-4-08-781623-5
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/04/16



ブランケット・ブルームの星型乗車券

吉田 篤弘 著
幻冬舎

<デイリー・ブランケット>紙の専属ライター、ブランケット・ブルーム君は、はじめて連載コラムを持つことになった。題して、<ブランケット・ブルームの星型乗車券>…。『パピルス』連載に加筆修正して書籍化。

2017:3./ 159p
978-4-344-03080-0
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/04/16



わたくしたちの旅のかたち～好奇心が「知恵」と「元気」を与えてくれる～

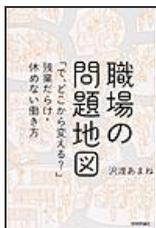
兼高 かおる、曾野 綾子 著
秀和システム

経験豊富な 2 人のエピソードは、とにかく楽しい!笑いながら、そして考えさせられる対談集。

2017:2./ 238p
978-4-7980-4914-4
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2017/04/22



職場の問題地図～「で、どこから変える?」残業だらけ・休めない働き方～

沢渡 あまね 著
技術評論社

手戻りが多い、上司・部下の意識がズレている、無駄な会議が多い…。職場にありがちな問題はなぜ起こるのか。原因を図解で示しつつ、解決策を教える。折り込み式「職場の問題地図全体マップ」付き。

2016:10./ 221p
978-4-7741-8368-8
本体 ¥1,480+税



産経新聞 2017/04/23



天皇の美術史<2> 治天のまなざし、王朝美の再構築

伊藤 大輔、加須屋 誠 著
吉川弘文館

鎌倉?南北朝期の美術史を、視覚の在り方＝「まなざし」の力学から考察し深化させる。絵巻物や肖像画を軸とした院政期美術を再検討、未解明の14世紀美術史を体系的に把握。研究の最前線を切り開く、新たな中世美術論。

2017:2./ 7p,204p
978-4-642-01732-9
本体 ¥3,500+税



産経新聞 2017/04/23



覗くモーテル観察日誌

ゲイ・タリーズ、白石 朗 著
文藝春秋

著者に奇妙な手紙が届く。送り主はモーテル経営者で、天井裏から利用者を観察し日誌をつけているという。不倫や同性愛、麻薬取引の絡んだ殺人事件まで、米ノンフィクションを牽引してきた著者と“覗き魔”、その 30 年の記録。

2017:1./ 254p
978-4-16-390596-9
本体 ¥1,770+税



産経新聞 2017/04/23



我らがパラダイス

林 真理子 著
毎日新聞出版

毎日新聞連載時から大反響。『下流の宴』から 7 年、林真理子が「介護」という国民の大問題に挑む唯一無二の長編小説、堂々刊行!

2017:3./ 455p
978-4-620-10826-1
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2017/04/23



英語で歌えば上手くなる! ~ボーカリスト養成プログラム~

NOBU 著

アルファベータブックス

まったく新しい、歌が上手くなるための方法論。腹式呼吸から音程、リズム、ビート、表現力までの歌唱技術全般を、英語歌唱の練習を通じて体に叩き込んでいくプログラムを紹介。フォロー動画にアクセスできる QR コード付き。

2017:4./ 146p

978-4-86598-030-1

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/04/23



友達以上、不倫未満(朝日新書 612)

秋山 謙一郎 著

朝日新聞出版

浮気ではなく本気、しかし決して男女の関係は持たない-そんな大人のプラトニック・ラブな婚外関係<セカンド・パートナー>の実態を徹底取材。数々の赤裸々なケースが、男女間の愛と嫉妬の原理をもあぶりだす問題作。

2017:4./ 215p

978-4-02-273712-0

本体 ¥760+税



産経新聞 2017/04/23



昭和の店に惹かれる理由

井川 直子 著

ミシマ社

昭和という激動の時代の中で、ある者は先代からの店を守り、ある者は店をはじめた。今も残る「昭和の店」。移りゆく時代の中で、彼らが大切にしてきたものとは。「サービス」では永久にたどりつかない何かを探る。

2017:2./ 279p

978-4-903908-88-5

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2017/04/23、読売新聞 2017/04/30



北京から来た男<上>(創元推理文庫 M マ 13-17)

ヘニング・マンケル 著

東京創元社

スウェーデンの村で住民の惨殺事件が発生。老人ばかりの過疎の村で何が起きたのか。休暇中の女性裁判官ビルギッタは、亡き母が村の出身であったことを知り、現場に向かう。事件は彼女を世界の反対側へ、さらに過去へと導く。

2016:8./ 370p

978-4-488-20918-6

本体 ¥1,140+税



産経新聞 2017/04/29



北京から来た男<下>(創元推理文庫 M マ 13-18)

ヘニング・マンケル 著

東京創元社

殺人現場となった母の実家を訪れたビルギッタは、1860年代に書かれた日記を持ち出す。スウェーデンの寒村で起きた血塗られた事件は、19世紀の中国、開拓時代のアメリカ、そして現代の中国、アフリカへと向かう。

2016:8./ 377p

978-4-488-20919-3

本体 ¥1,140+税



産経新聞 2017/04/29



勉強の哲学~来たるべきバカのために~

千葉 雅也 著

文藝春秋

勉強を深めることで、これまでのノリでできた「バカなこと」が、いったんできなくなる。だが、その先には「来たるべきバカ」に変身する可能性が開けている。思想界をリードする気鋭の哲学者による本格的勉強論。

2017:4./ 237p

978-4-16-390536-5

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/04/29、読売新聞 2017/04/30



勝ちきる頭脳

井山 裕太 著

幻冬舎

常識外と言われようが、自分の最善を信じ抜く。囲碁界史上初・七冠同時制覇の最強囲碁棋士が、「勝負」という観点から、囲碁に関する考えやたどってきた足跡を語る。AI や国際戦にも言及する。

産経新聞 2017/04/30

2017:2./ 238p

978-4-344-97899-7

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 3 4 4 9 7 8 9 9 7 *



マンガで一発回答 2020年大学入試改革丸わかりBOOK

松永 暢史 著

ワニブックス

2020年からスタートする「大学入試改革」。現在の小学生、中学生はどう対応すればいいのか、親にできることはあるのか? 「入試改革」の基礎知識やこれからの受験対策について、マンガや会話形式でわかりやすく解説する。

産経新聞 2017/04/30

2017:4./ 221p

978-4-8470-9546-7

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 8 4 7 0 9 5 4 6 7 *



訳せない日本語～日本人の言葉と心～

大來 尚順 著

アルファポリス

英語に訳せない言葉にこそ、日本人の言葉と心が見えてくる。僧侶である傍ら、英語の通訳や翻訳をする著者が、「いただきます」「おもてなし」など、24の日本語を取り上げ、それぞれの言葉の奥に隠されている深い意味を綴る。

産経新聞 2017/04/30

2017:4./ 204p

978-4-434-23260-2

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 4 3 4 2 3 2 6 0 2 *



ジャッカルの日(角川文庫)

フレデリック・フォーサイス 著

角川書店

暗号名ジャッカル・ブロンド、長身、ひきしまった体躯のイギリス人。プロの暗殺屋であること以外、本名も年齢も不明。警戒網を破りバリへ……標的はドゴール。計画実行日”ジャッカルの日”は刻々と迫る!

朝日新聞 2017/04/02

1979:5./ 549p

978-4-04-253701-4

本体 ¥840+税



* 9 7 8 4 0 4 2 5 3 7 0 1 4 *



ティンカー、テイラー、ソルジャー、スパイ 新訳版(ハヤカワ文庫 NV 1253)

ジョン・ル・カレ 著

早川書房

英国情報部「サーカス」の中核に潜むソ連の二重スパイを探せという任務を託された元情報部員スマイリー。二重スパイは、かつての仇敵カーラが操っているという。裏切者の正体は? 映画「裏切りのサーカス」の原作。

朝日新聞 2017/04/02

2012:3./ 549p

978-4-15-041253-1

本体 ¥1,100+税



* 9 7 8 4 1 5 0 4 1 2 5 3 1 *



統治の書(イスラーム原典叢書)

ニザーム・アルムルク 著

岩波書店

セルジューク朝最盛期の宰相ニザーム・アルムルクが著した政治論。豊富なエピソードによってあるべき君主像を説く、ペルシア語「鑑文学」の代表作。詳細な註・解説を付す。

朝日新聞 2017/04/02

2015:9./ 16p,388p,10p

978-4-00-028420-2

本体 ¥11,000+税



* 9 7 8 4 0 0 0 2 8 4 2 0 2 *



宋名臣言行録(ちくま学芸文庫 シ 37-1)

朱 熹 編
筑摩書房

北宋時代、総勢九十七名に及ぶ名臣たちの言動を大儒・朱熹が編纂。唐代の『貞観政要』と並ぶ帝王学の書であり、処世の範例集として今も示唆に富む。

朝日新聞 2017/04/02

2015:12./ 458p
978-4-480-09712-5
本体 ¥1,400+税



ムハンマド～世界を変えた預言者の生涯～

カレン・アームストロング 著
国書刊行会

著名な宗教学者カレン・アームストロングが描くムハンマドの生涯。併せてジハード、女性のスカーフ着用といった誤解を生じてきた概念についても説明が加えられ、読者は、イスラームの基本的な知識を理解することができる。

朝日新聞 2017/04/02

2016:1./ 257p
978-4-336-05939-0
本体 ¥2,700+税



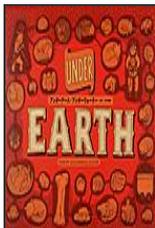
コバルト文庫で迎える少女小説変遷史

嵯峨 景子 著
彩流社

集英社のコバルト文庫を中心に、講談社 X 文庫ティーンズハート、小学館パレット文庫、新書館ウィングス文庫などを取り上げ、現代の少女小説の変遷を辿る。少女小説レーベルの歴史が一目でわかるチャート付き。

朝日新聞 2017/04/02

2016:12./ 288p
978-4-7791-2275-0
本体 ¥1,800+税



アンダーアース・アンダーウォーター～地中・水中図絵～

アレクサンドラ・ミジェリンスカ、ダニエル・ミジェリンスキ 著
徳間書店

掘って、もぐって、地球の中、まる見え! 普段は目にするのでできない、地面の下の世界と水中の世界を紹介した、前からも後ろからも読めるユニークな本。見返しに本文、ジャケット裏にポスターあり。

朝日新聞 2017/04/02

2016:12./ 61p,45p
978-4-19-864215-0
本体 ¥3,200+税



科学報道の真相～ジャーナリズムとマスメディア共同体～(ちくま新書 1231)

瀬川 至朗 著
筑摩書房

なぜ科学ジャーナリズムで失敗が起こり、読者の不信感を引き起こすのか? 原発事故・STAP細胞・地球温暖化など歴史的事例から、問題発生の構造を徹底検証。

朝日新聞 2017/04/02

2017:1./ 283p
978-4-480-06927-6
本体 ¥880+税



クラウドガール

金原 ひとみ 著
朝日新聞出版

刹那にリアルを感じる美しい妹・杏と、規律正しく行動する聡明な姉の理有。二人が共有する、家族をめぐる秘密とは。スピード感と才気あふれる筆致がもたらす衝撃のラスト。『朝日新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2017/04/02

2017:1./ 206p
978-4-02-251444-8
本体 ¥1,400+税





「ジュニア」と「官能」の巨匠富島健夫伝

荒川 佳洋 著

河出書房新社

「ジュニア小説」というジャンルをひらき「官能」の巨匠であった伝説的作家の波瀾万丈の生涯と強烈な個性をえがく初の評伝。

朝日新聞 2017/04/02

2017:1./ 317p

978-4-309-02541-4

本体 ¥2,900+税



* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 5 4 1 4 *



私をくいとめて

綿矢 りさ 著

朝日新聞出版

黒田みつ子、もうすぐ 33 歳。もう一人の自分「A」に脳内で何でも相談できるから、一人で生きていくことに抵抗はないと思っていたのだが…。同世代の気持ちを描き続けてきた、綿矢りさの真骨頂。『朝日新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2017/04/02

2017:1./ 222p

978-4-02-251445-5

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 0 2 2 5 1 4 4 5 5 *



貞観政要(角川ソフィア文庫 B1-19)

湯浅 邦弘 著

KADOKAWA

徳川家康や明治天皇も愛読した帝王学の最高傑作「貞観政要」を、原文に触れながらやさしく学べる入門書。中国史上最も安定した時代「貞観の治」を成した名君とその家臣たちの対話で、上司と部下の関係や、組織運営の妙を説く。

朝日新聞 2017/04/02

2017:1./ 196p

978-4-04-400174-2

本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 0 4 4 0 0 1 7 4 2 *



モラル・ハラスメント～職場におけるみえない暴力～(文庫クセジュ 1010)

マリー＝フランス・イルゴイエヌ 著

白水社

職場ハラスメントのメカニズム、その原因と結果、諸外国での取り組み状況を紹介し、職場のいじめ問題を解説。日本の現状にも言及。

朝日新聞 2017/04/02

2017:2./ 175p,7p

978-4-560-51010-0

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 5 6 0 5 1 0 1 0 0 *



人びとの自然再生～歩く、見る、聞く～(岩波新書 新赤版 1647)

宮内 泰介 著

岩波書店

人と自然の相互関係とはどういうものか。自然をめぐる合意形成とは。各地のさまざまな<いとなみ>を歩き、見て、聞いた著者が、災害時や都市部での実践も含めながら、自然とコミュニティのこれからを生きいきと描きだす。

朝日新聞 2017/04/02

2017:2./ 6p,206p,8p

978-4-00-431647-3

本体 ¥780+税



* 9 7 8 4 0 0 4 3 1 6 4 7 3 *



鯨を生きる～鯨人の個人史・鯨食の同時代史～(歴史文化ライブラリー 445)

赤嶺 淳 著

吉川弘文館

鯨とともに生きてきた“鯨人”6人が語る個人史。江戸時代の鯨食文化から、戦後の「国民総鯨食時代」、鯨肉が「稀少資源化」した今日まで、日本社会における捕鯨・鯨食の多様性を生活様式の移りかわりに位置づける。

朝日新聞 2017/04/02

2017:3./ 5p,283p

978-4-642-05845-2

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 6 4 2 0 5 8 4 5 2 *



国家の矛盾(新潮新書 703)

高村 正彦、三浦 瑠麗 著
新潮社

安全保障政策に「完璧な解」はない。日本外交は「対米追従」なのか。「トランプ時代」の日本の選択とは。安全保障論議をリードしてきた自民党外交族の重鎮に鋭い政治学者が迫った異色対談。

朝日新聞 2017/04/02

2017:2./ 236p
978-4-10-610703-0

本体 ¥780+税



時限紙幣～ゴーストマン～(文春文庫 ホ10-1)

ロジャー・ホブズ 著
文藝春秋

連邦準備銀行の新札が盗まれた。紙幣に仕込まれた爆薬が炸裂するのは 48 時間後。犯罪の始末人たる「私」は、爆発する前にカネを奪還する仕事を命じられ…。スタイリッシュな犯罪小説。主人公の過去を描く短編も特別収録。

朝日新聞 2017/04/02

2017:3./ 445p

978-4-16-790822-5

本体 ¥980+税



ビブリア古書堂の事件手帖<7> 菜子さんと果てない舞台(メディアワークス文庫 み4-7)

三上 延 著
KADOKAWA

ビブリア古書堂に迫る影。奇妙な縁で対峙することになった劇作家シェイクスピアの古書と謎多き仕掛け。そこには女店主の祖父による巧妙な罠が張り巡らされていた。日本で一番愛されるビブリアミステリ、ここに完結。

朝日新聞 2017/04/02

2017:2./ 341p

978-4-04-892640-9

本体 ¥650+税



愛しのオクトパス～海の賢者が誘う意識と生命の神秘の世界～

サイ・モンゴメリー 著
亜紀書房

心臓は 3 つ、退屈が大嫌い、生涯で一度だけ恋をする。そんな個性豊かなタコたちとの交流を通じて見えてきた、“もうひとつの知性”の可能性。愛すべきタコたちと、彼らを取り巻く人々との思い出を綴るノンフィクション。

朝日新聞 2017/04/02

2017:2./ 344p,5p

978-4-7505-1503-8

本体 ¥2,200+税



ナスカイ

梅 佳代 著
亜紀書房

福島第一原発事故の影響等から 2017 年 3 月に閉校する全寮制の中高一貫男子校、那須高原海城中学校・高等学校。「会う度に印象が変わる」10 代、移りゆく季節を駆け抜ける少年達の姿を収める。キャンパスノート仕様の装丁。

朝日新聞 2017/04/02

2017:3./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-7505-1504-5

本体 ¥1,996+税



海と生きる作法～漁師から学ぶ災害観～

川島 秀一 著
富山房インターナショナル

「海と生きる」という意味を考える

朝日新聞 2017/04/02

2017:3./ 293p

978-4-86600-025-1

本体 ¥1,800+税





冬の灯台が語るとき(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 390-2)

ヨハン・テオリン 著

早川書房

エーランド島の岬の古い屋敷に移り住んだ一家を不幸が襲う。そして、屋敷にも異変が起きて……三冠に輝いた北欧ミステリの傑作！

2017:3./ 591p

978-4-15-179702-6

本体 ¥1,180+税



朝日新聞 2017/04/02



辺境の老騎士 バルド・ローエン 1(ヤンマガ KC スペシャル)

菊石 森生/支援 BIS 著

講談社

「なろう系」の新感覚グルメ・エピック・ファンタジーを漫画化!!旅の共は馬と剣と、美味しい飯。そして姫への想いだけ。金も名誉も捨てて、老騎士バルドは死にゆくための旅に出た。

2017:3./ 192p

978-4-06-382938-9

本体 ¥620+税



朝日新聞 2017/04/02



人工知能の核心(NHK 出版新書 511)

羽生 善治、NHK スペシャル取材班 著

NHK出版

結局のところ、人工知能とは何なのか。人間にしかできないこととは何か。国内外の人工知能研究のトップランナーへの取材をもとに、天才棋士・羽生善治がその核心にずばり迫る。

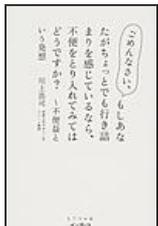
2017:3./ 235p

978-4-14-088511-6

本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/04/02



ごめんなさい、もしあなたがちょっとでも行き詰まりを感じているなら、不便をとり入れてみてはどうですか?~不便益という発想~(しごとのわ)

川上 浩司 著

インプレス

「不便益」の研究をしている著者が、「便利」という概念を考え直し、「不便だからこそ得られる益=不便益」とは何かを探る。観光学や建築などの分野で不便益を活かしている実例や、不便益を「形」にする方法も紹介。

2017:3./ 212p

978-4-295-00092-1

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/04/02



青年の主張~まなざしのメディア史~(河出ブックス 100)

佐藤 卓己 著

河出書房新社

あの国民的番組を覚えているか!?戦後日本社会の大衆的感性を鏡のように映し続けた弁論イベントを徹底総括する画期的メディア史。

2017:1./ 435p

978-4-309-62500-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/04/02、産経新聞 2017/04/30



福祉政治史~格差に抗するデモクラシー~

田中 拓道 著

勁草書房

福祉国家はどのような要因によって発展してきたのか。現在どう変容しているのか。先進国のこれまでを比較考察し日本の将来像を探る。

2017:2./ 12p,297p,29p

978-4-326-35169-5

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2017/04/02、東京・中日新聞 2017/04/09



騎士団長殺し<第1部> 顕れるアイデア編

村上 春樹 著
新潮社

私は狭い谷間の入り口近くの、山の上に住んでいた。夏には谷の奥の方でひっきりなしに雨が降ったが、谷の外側はだいたい晴れていた。それは孤独で静謐な日々であるはずだった。騎士団長が顕れるまでは...

2017:2./ 507p
978-4-10-353432-7
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/04/02、読売新聞 2017/04/02、毎日新聞 2017/04/02、読売新聞 2017/04/30



騎士団長殺し<第2部> 遷ろうメタファー編

村上 春樹 著
新潮社

騎士団長がもう二週間近く私の前に姿を見せていないことも、とくに気にはしなかった。そしてやがて次の日曜日がやってきた。きれいに晴れ上がった、慌たしい日曜日が...

2017:2./ 541p
978-4-10-353433-4
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/04/02、読売新聞 2017/04/02、毎日新聞 2017/04/02、読売新聞 2017/04/30



いのちの車窓から

星野 源 著
KADOKAWA

ドラマ「逃げ恥」「真田丸」、ヒット曲「恋」に「紅白」出演と、怒濤の日々を送るなかで紡いできた風景、心の機微。星野源の魅力、そのすべてがわかる、誠意あふれるエッセイ集。『ダ・ヴィンチ』連載に書き下ろしを追加。

2017:3./ 197p
978-4-04-069066-7
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/04/02、日本経済新聞 2017/04/02



夢遊病者たち～第一次世界大戦はいかにして始まったか～<2>

クリストファー・クラーク、小原 淳 著
みすず書房

政策決定者たちは、自らの決定が戦争へと展開することを見ようとしないう「夢遊病者」だった。史上初の総力戦、第一次世界大戦はどのように始まったのか。バルカン半島の紛争が未曾有の世界大戦へと展開する過程を克明に描く。

2017:1./ p371?844 88p
978-4-622-08544-7
本体 ¥5,200+税



朝日新聞 2017/04/02、日本経済新聞 2017/04/23



夢遊病者たち～第一次世界大戦はいかにして始まったか～<1>

クリストファー・クラーク、小原 淳 著
みすず書房

それは 20 世紀最初の災厄であり、あらゆる災厄はここから湧き出した。史上初の総力戦、第一次世界大戦はどのように始まったのか。バルカン半島の紛争が未曾有の世界大戦へと展開する過程を克明に描く。

2017:1./ 369p,50p
978-4-622-08543-0
本体 ¥4,600+税



朝日新聞 2017/04/02、日本経済新聞 2017/04/23



日本の昔話(新潮文庫)

柳田国男 著
新潮社

私たちが育んできた昔話のかずかずを、民俗学の先達が各地からあつめて美しい日本語で後世に残そうとした名著。人間と動物たちとの騙しくらべや、長者ばなしのなかに、日本人の素朴な原型を見ることができるだろう。

1983:6./ 188p
978-4-10-104703-4
本体 ¥400+税



朝日新聞 2017/04/09



三四郎 改版(岩波文庫 緑 10-6)

夏目 漱石 著

岩波書店

筋書だけをとり出せば『三四郎』は一見何の変哲もない教養小説と見えるが、卓越した小説の戦略家漱石は一筋縄では行かぬ小説的企みを実はたつぷりと仕掛けているのだ。

1990:4./ 325p

978-4-00-310106-3

本体 ¥500+税



朝日新聞 2017/04/09



オズの魔法使い(角川文庫 ホ 17-1)

ライマン・ブランク・ボーム 著

角川書店

映画「オズ はじまりの戦い」2013年3月公開!

2012:2./ 204p

978-4-04-100708-2

本体 ¥476+税



朝日新聞 2017/04/09



筋トレが最強のソリューションである～マッチョ社長が教える究極の悩み解決法～

Testosterone 著

自由国民社

仕事もプライベートもダメで八方塞がり。死にてえって思ったら、3ヶ月だけ筋トレしてみてください! マッチョ社長が編み出した力尽くの人生術。ツイッターアカウント「Testosterone」のつぶやきを書籍化。

2016:1./ 239p

978-4-426-60837-8

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/04/09



ディザインズ<1>(アフタヌーン KC)

五十嵐 大介 著

講談社

自然界を超越した異形の生物-HA(ヒューマナイズド・アニマル)。それは遺伝子を”設計”された、ヒトと動物とのハイブリッド。稀代の表現者・五十嵐大介が放つハード SF、ついに登場!

2016:2./ 248p

978-4-06-388124-0

本体 ¥620+税



朝日新聞 2017/04/09



虜囚～一六〇〇～一八五〇年のイギリス、帝国、そして世界～

リンダ・コリー 著

法政大学出版局

あらゆる価値が転倒する異国の地で、敵の手中に落ちたイギリス人虜囚たちの目に、世界はどのように映ったのか。地中海、アメリカ、インド…。大英帝国の版図をめぐる争いのさなか記された虜囚体験記を分析する。

2016:12./ 4p,505p,57p

978-4-588-37125-7

本体 ¥7,800+税



朝日新聞 2017/04/09



世界を変える「デザイン」の誕生～シリコンバレーと工業デザインの歴史～

バリー・M.カッツ 著

CCCメディアハウス

世界中のデザイナーたちが、「工業デザインの聖地」シリコンバレーを目指したのはなぜか? 世界的デザインコンサルティング会社 IDEO 所属の著者が、工業デザインの歴史をひもとく。

2017:1./ 353p

978-4-484-17101-2

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2017/04/09



古典ラテン語辞典 改訂増補版

國原 吉之助 著
大学書林

古ラテン語期と古典ラテン語期の作家や作品から採集した語彙を収録。意義分類に留意し、口語体日本語による適切な訳語を配する。附録には、「字母と発音」「名詞の格変化」なども掲載。

2016:12./ 4p,962p
978-4-475-00169-4
本体 ¥37,000+税



朝日新聞 2017/04/09



ローカルブックストアである〜福岡ブックスキューブリック〜

大井 実 著
晶文社

福岡の小さな本屋「ブックスキューブリック」。独自の店づくりから、トークイベントやブックフェスティバルのつくり方、カフェ&ギャラリー運営まで、本屋稼業の体験をもとに、これからの小商いとまちづくりのかたちを示す。

2017:1./ 238p
978-4-7949-6951-4
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/04/09



芸術の言語

ネルソン・グッドマン、戸澤 義夫、松永 伸司 著
慶應義塾大学出版会

20 世紀アメリカを代表する哲学者による、現代美学の記念碑的著作。芸術の基本的諸問題を考察し、芸術における記号の一般理論を構築。われわれの知覚と行動、世界創造とその理解がどのように機能しているかを明らかにする。

2017:2./ 2p,324p,13p
978-4-7664-2224-5
本体 ¥4,600+税



朝日新聞 2017/04/09



本屋、はじめました〜新刊書店 Title 開業の記録〜

辻山 良雄 著
苦楽堂

物件探し、店舗デザイン、イベント、ウェブ、そして「棚づくり」の実際まで。個人で新刊書店 Title を開いた辻山良雄が、本屋をつくるにはどうすればよいのかを綴る。堀部篤史(誠光社店主)との対談も収録。

2017:1./ 219p,20p
978-4-908087-05-9
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/04/09



刑事司法を考える<第0巻> 刑事司法への問い

指宿 信、木谷 明、後藤 昭、佐藤 博史、浜井 浩一、浜田 寿美男 編
岩波書店

本巻はシリーズ特別編として、実務家、ジャーナリスト、被害者など、さまざまな立場から刑事司法に関わった人たちの提言を集める。

2017:2./ 17p,230p,4p
978-4-00-026500-3
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2017/04/09



マッキンゼーが予測する未来〜近未来のビジネスは、4 つの力に支配されている〜

リチャード・ドブス、ジェームズ・マニーカ、ジョナサン・ウーツェル、吉良 直人 著
ダイヤモンド社

世界一のコンサルティング・ファームの近未来予測。「異次元の都市化のパワー」「加速する技術進化のスピード」「資源に訪れる新たな機会」などを解説し、21 世紀のビジネスと経済環境がこれまでとはどう違うのかを示す。

2017:1./ 9p,411p
978-4-478-06943-1
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/04/09



日本の近代とは何であったか～問題史的考察～(岩波新書 新赤版 1650)

三谷 太一郎 著
岩波書店

政党政治、資本主義、植民地帝国、そして天皇制。これらの成り立ちから浮かび上がる、日本近代の特質とは。バジヨットが提示したヨーロッパの「近代」概念に照らしながら、日本近代のありようについて問題史的に考察する。

2017:3./ 4p,276p,4p
978-4-00-431650-3

本体 ¥880+税



朝日新聞 2017/04/09



マイルズの旅路(創元 SF 文庫 SFヒ1-21)

ロイス・マクマスター・ビジヨルド 著
東京創元社

惑星“キボウダイニ”で開催された人体冷凍術の蘇生会社主催の会議で誘拐され、さんざんな目に遭ったマイルズ。偶然出会った少年ジンに助けられるが、実は彼の母親は強制的に冷凍保存されていて…。シリーズ完結。

2017:2./ 478p

978-4-488-69821-8

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/04/09



人はなぜ物語を求めるのか(ちくまプリマー新書 273)

千野 帽子 著
筑摩書房

人は人生に起こる様々なことに意味付けし物語として認識することなしには生きられない。それはどうしてなのか?その仕組みとは?

2017:3./ 220p

978-4-480-68979-5

本体 ¥840+税



朝日新聞 2017/04/09



シン・ヤマトコトバ学(光文社新書 868)

シンド ヒロユキ 著
光文社

よい言霊は、よい結果をもたらす。日本列島の母語が持つ、人の心や大自然とつながる力とは。ヤマトコトバの歴史や構造をポップに解説し、日々口ずさみたい祝詞や和歌の代表的な名文、伝説や逸話をわかりやすく紹介する。

2017:2./ 267p

978-4-334-03971-4

本体 ¥820+税



朝日新聞 2017/04/09



刑事司法を考える<第1巻> 供述をめぐる問題

浜田 寿美男 編
岩波書店

変革期にある刑事司法に大胆にメスを入れるシリーズ。第1巻では、従来の法実務の到達点と限界を見据えたうえで、心理学の知見も取り入れながら、具体的なケースに則して「供述の問題」を考える。

2017:3./ 14p,291p

978-4-00-026501-0

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2017/04/09



時間のないホテル(創元海外 SF 叢書 13)

ウィル・ワイルズ 著
東京創元社

<ウェイ・イン>は、広大な空間と最新の設備をもち、完璧なサービスを提供するホテル。ビジネスマンのぼくは、ここで充実した3日間を過ごすはずだった。このホテルにまつわる奇妙な秘密を知るまでは-。巨大建築幻想 SF。

2017:3./ 389p

978-4-488-01462-9

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2017/04/09



なぜペニスはそんな形なのか〜ヒトについての不謹慎で真面目な科学〜

ジェシー・ベリング、鈴木 光太郎 著

化学同人

ペニスの形、陰?の隠れた役目、カニバリズム、小児性愛、女性のオルガスム、自殺の適応の意味…。性のさまざまな話題から、信仰、死、生きる意味まで、人間の本性を鋭く見つめる、軽快なサイエンスエッセイ集。

2017:3./ 317p,13p

978-4-7598-1926-7

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/04/09



インターネット文化人類学

セブ山 著

太田出版

パクツイ常習犯、ネット炎上経験者…気鋭の Web ライターが、インターネットに息する奇妙な人類を徹底調査!パソコン・スマホの画面の向こう側の世界で見つけた、新しい価値観・経済・人間関係を明らかにする。

2017:2./ 271p

978-4-7783-1558-0

本体 ¥1,450+税



朝日新聞 2017/04/09



消費税は下げられる!〜借金 1000 兆円の大?を暴く〜(角川新書 K-126)

森永 卓郎 著

KADOKAWA

日本の財政は世界一健全であり、財務省が繰り返し主張する日本の財政破綻危機は大?だ。日本財政の正しい状況を把握し、消費税を 5%に下げて日本経済の好転を図る策を提案する。

2017:3./ 181p

978-4-04-082124-5

本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/04/09



新たな“プロ”の育て方〜なぜ左官屋で若者と女性が活躍できるのか〜

原田 宗亮 著

インプレス

最初に仕事の面白さを体で覚えてもらう。そうすれば人材の定着率はアップし、若者と女性が続々と集まってくる。東京下町の前田左官工業所の取り組みと、あらゆる仕事で応用できる即戦力の育成法「モデリング」を紹介する。

2017:2./ 191p

978-4-295-40062-2

本体 ¥1,480+税



朝日新聞 2017/04/09



風の名前<1>(ハヤカワ文庫 FT 588)

パトリック・ロスファス 著

早川書房

宿屋の老主人コートは伝説の魔法使い「王殺しのクォート」の世を忍ぶ仮の姿であった。彼の語る美しく凄惨な子供時代の記憶とは!?

2017:3./ 287p

978-4-15-020588-1

本体 ¥820+税



朝日新聞 2017/04/09



哲学してもいいですか?〜文系学部不要論へのささやかな反論〜

三谷 尚澄 著

ナカニシヤ出版

“哲学”は“力”なり!いまアメリカの大学生が哲学講義に詰めかけるのはなぜか?哲学教育が養うアビリティとパワーを問う!

2017:3./ 217p

978-4-7795-1125-7

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/04/09



ウムヴェルト～五十嵐大介作品集～(アフタヌーン KC)

五十嵐 大介 著
講談社

『デザインズ』『リトル・フォレスト』『海獣の子供』などで絶対的な支持を獲得している五十嵐大介の作品集、待望の登場!

2017:3./ 196p
978-4-06-388247-6
本体 ¥600+税



朝日新聞 2017/04/09



デザインズ<2>(アフタヌーン KC)

五十嵐 大介 著
講談社

自然界を超越した異形の生物-HA(ヒューマナイズド・アニマル)。様々な陰謀さえもからみあう衝撃の第2巻、登場!

2017:3./ 224p
978-4-06-388246-9
本体 ¥620+税



朝日新聞 2017/04/09



大避難 何が生死を分けるのか～スーパー台風から南海トラフ地震まで～(NHK 出版新書 512)

島川 英介、NHK スペシャル取材班 著
NHK出版

徹底取材とシミュレーションが明かす、都市を襲う破局のシナリオとは!?巨大化する台風・地震・津波からの「大避難」の可能性を探る。NHK スペシャルの内容をもとに書籍化。

2017:3./ 243p
978-4-14-088512-3
本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/04/09



天体嗜好症～一千一秒物語～(河出文庫 い1-15)

稲垣 足穂 著
河出書房新社

ファンタジー、宇宙論、ヒコークへの憧憬など、足穂コスモスの精髓を一冊に。恩田陸、長野まゆみ、星野智幸各氏絶賛シリーズ第3弾。

2017:4./ 473p
978-4-309-41529-1
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/04/09



高校生と考える人生のすてきな大問題(桐光学園大学訪問授業)

桐光学園中学校・高等学校 編
左右社

田原総一郎、加藤典洋、内山節、荻野アンナをはじめとする幅広いジャンルにわたる一流講師陣が、中高生の好奇心を刺激した「大学訪問授業」の記録。2016年度「桐光学園特別授業」全20回を収録。

2017:3./ 414p
978-4-86528-161-3
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/04/09



大学1年生の歩き方～先輩たちが教える転ばぬ先の12のステップ～

トミヤマ ユキコ、清田 隆之 著
左右社

勉強、サークル、バイト、恋愛…。大学講師×人気ライター×現役学生による新生専用マニュアル。大学1年生の12か月を乗り切るための方法を語る。オススメの本・マンガ・映画等も紹介。『マイナビニュース』連載を書籍化。

2017:4./ 175p
978-4-86528-173-6
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/04/09

**資本論<1>(国民文庫 25)**

カール・マルクス、岡崎 次郎 著
大月書店
0

1972:3./ 415p
978-4-272-80251-7
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/04/16

**人類哲学序説(岩波新書 新赤版 1422)**

梅原 猛 著
岩波書店
日本には「草木国土悉皆成仏」という偉大な思想がある。デカルト、ニーチェらを
祖上に近代合理主義や人間中心主義が置き去りにしてきたものを吟味し、持続
可能な未来への可能性を日本の歴史のなかに見出す。

2013:4./ 5p,211p
978-4-00-431422-6
本体 ¥760+税



朝日新聞 2017/04/16

**恋愛小説集(講談社文庫 き 65-1)**

アリ・スミス 著
講談社
普通の恋愛小説の基準からはかなりはずれた、グロテスクだったり極端だったり変
てこだったりする物語の数々。現代の英米文学のなかから、アリ・スミス、レイ・ヴク
サヴィッチなどによる、愛にまつわる物語 11 篇を収録する。

2014:10./ 291p
978-4-06-277907-4
本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/04/16

**楽しい夜**

岸本 佐知子 著
講談社
美しい話も、ヒリヒリ苦い話もあります。名アンソロジスト・岸本佐知子の「網」にかか
った愛すべき海外小説の短編アンソロジー。「ノース・オブ」「火事」「赤いリボン」な
ど、全 11 編を収録。『群像』等に掲載を単行本化。

2016:2./ 243p
978-4-06-219951-3
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/04/16

**僕らが毎日やっている最強の読み方～新聞・雑誌・ネット・書籍から「知識と教養」を身につける 70 の極意～**

池上 彰、佐藤 優 著
東洋経済新報社
2 人の誰でもできる「インプットの技法」をまとめた読者待望の 1 冊。共通点と違い
とともに、「知の源泉」が初めて明らかに。

2016:12./ 329p 図版 9
枚
978-4-492-04591-6
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/04/16

**あしながおじさん(ポプラ世界名作童話 18)**

J.ウェブスター 著
ポプラ社
見知らぬ「あしながおじさん」に大学に進学させてもらうことになった孤児のジュデ
ィーは、日々の暮らしを手紙に綴り…。世界中で愛され読みつがれてきた名作を、
現代の児童文学作家が読みやすく再構成。

2016:11./ 165p
978-4-591-15184-6
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2017/04/16



超 AI 時代の生存戦略～<2040 年代>シンギュラリティに備える 34 のリスト～

落合 陽一 著
大和書房

AI 時代の「生き方」「働き方」「生活習慣」はどんな形なのか。気鋭の若手学者が「未来のキーワード」を示し、超 AI 時代を生き抜いていくために必要なスキルやマインドセットなどを解説する。

2017:3./ 197p
978-4-479-79561-2
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/04/16



新潟県知事選では、どうして大逆転がおこったのか。～原発再稼働の是非～

横田 一 著
七つ森書館

世界最大の原発「東京電力・柏崎刈羽原発」の再稼働を左右する新潟県知事選で、再稼働反対を鮮明にした米山隆一が当選した。泉田前知事、米山知事、小泉元首相の“変人トリオ”がいかに原子カムラと対峙したのかを紹介する。

2017:1./ 223p
978-4-8228-1766-4
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/04/16



小林カツ代伝～私が死んでもレシピは残る～

中原 一歩 著
文藝春秋

料理本 230 冊以上、考案したレシピは 1 万超。天性の舌を持つ不世出の料理研究家・小林カツ代。その波乱万丈の人生の光と影をレシピと共に描く。

2017:1./ 254p
978-4-16-390396-5
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/04/16



昭和天皇の戦争～「昭和天皇実録」に残されたこと・消されたこと～

山田 朗 著
岩波書店

日本を破滅の淵からすくった平和主義者-。多くの人が抱く昭和天皇のイメージは真実か。昭和天皇研究の第一人者が、「昭和天皇実録」を読み解き、「大元帥」としてアジア太平洋戦争を指導・推進した天皇の実像を明らかにする。

2017:1./ 19p,303p
978-4-00-061177-0
本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2017/04/16



誘拐されたオルタンス(創元推理文庫 M ル 5-2)

ジャック・ルーボー 著
東京創元社

聖ギュデュール教会で発生した殺害事件に挑むプロニャール警部。さらわれたオルタンスはどうなるのか? 行方不明の猫アレクサンドル・ウラディミロヴィッチはどこに? 詩人で数学者の著者が贈る珍妙かつミステリアスな物語。

2017:2./ 316p
978-4-488-18803-0
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2017/04/16



日本精神史～自然宗教の逆襲～

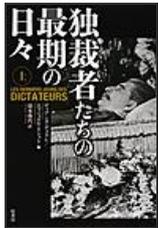
阿満 利磨 著
筑摩書房

権力や多数者に分別なくつき従うという国民的心性の根底には何があるか。日本人の原初的な神観念にまで立ち返り、歴史的由来を探る。

2017:2./ 306p
978-4-480-84746-1
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/04/16



独裁者たちの最期の日々<上>

エマニュエル・エシュト 編

清水 珠代 著

原書房

世界に惨禍をまきおこしたおもな独裁者たちの最期の日々に焦点をあて、信頼できる資料をもとに史実を追いながら、その今日的意味を問う。上は、ムッソリーニ、ヒトラー、スターリン、毛沢東、ポル・ポトら 12 人を取り上げる。

朝日新聞 2017/04/16

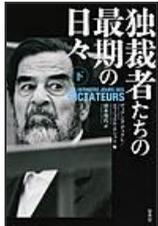
2017:3./ 4p,216p

978-4-562-05377-3

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 5 6 2 0 5 3 7 7 3 *



独裁者たちの最期の日々<下>

エマニュエル・エシュト 編

清水 珠代 著

原書房

世界に惨禍をまきおこしたおもな独裁者たちの最期の日々に焦点をあて、信頼できる資料をもとに史実を追いながら、その今日的意味を問う。下は、アミン、チャウシェスク、サダム・フセイン、金正日ら 12 人を取り上げる。

朝日新聞 2017/04/16

2017:3./ 4p,197p

978-4-562-05378-0

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 5 6 2 0 5 3 7 8 0 *



小さき生きものたちの国で

中村 桂子 著

青土社

加速する競争と効率の時代に、<生命の本質>はいま、見失われようとしている。生きものの誕生から現代までの歴史を一望する「生命誌」の第一人者が、日本社会に向けて、<生命論的世界観>へのパラダイム・シフトを示す。

朝日新聞 2017/04/16

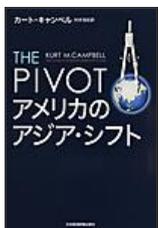
2017:2./ 182p

978-4-7917-6971-1

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 7 9 1 7 6 9 7 1 1 *



THE PIVOT アメリカのアジア・シフト

カート・キャンベル 著

日本経済新聞出版社

オバマ政権で東アジア・太平洋担当の国務次官補を務め、アジア重視の政策「ピボット」を主導した著者が、その背景、それを実現させ、成功させるためのプラン、将来への展望を語る。日本・アジア通の著者による包括的な戦略論。

朝日新聞 2017/04/16

2017:2./ 541p

978-4-532-17613-6

本体 ¥4,000+税



* 9 7 8 4 5 3 2 1 7 6 1 3 6 *



10歳かあさん(MFC)

小路 啓之 著

KADOKAWA

5歳のときに水難事故で母を失った和海(なごみ)。10年後、彼の前に謎の小学生・阿野まりさが現れる。彼女は自分が母親の生まれ変わりだと言って、和海と共同生活をはじめ。ふたりの新たな親子関係が築かれる!!

朝日新聞 2017/04/16

2017:3./ 164p

978-4-04-068581-6

本体 ¥750+税



* 9 7 8 4 0 4 0 6 8 5 8 1 6 *



世界文学としての夏目漱石〜生誕150年〜

フェリス学院大学日本文学国際会議実行委員会 編

岩波書店

世界文学の一読者・研究者であった夏目漱石の作品が、今や世界中の読者に読まれているという構図を可視化しようと試みた、国内外の研究者による白熱の議論を公開。2016年12月開催の国際シンポジウムの報告書。

朝日新聞 2017/04/16

2017:3./ 10p,170p,20p

978-4-00-061191-6

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 0 0 0 6 1 1 9 1 6 *



『レ・ミゼラブル』の世界(岩波新書 新赤版 1655)

西永 良成 著
岩波書店

「レ・ミゼラブル」がしばしば難解なところがあるにもかかわらず、「世界の名作」として読まれ続けている理由とは何か。作品の成立の過程を辿り、歴史的背景を参照しながら、作品に込められたユゴーの思想を読み解く。

2017:3./ 11p,204p,3p

978-4-00-431655-8

本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/04/16



植物はそこまで知っている～感覚に満ちた世界に生きる植物たち～(河出文庫 子 5-1)

ダニエル・チャモヴィッツ 著
河出書房新社

見てもいるし、覚えてもいる!科学の最前線が解き明かす驚異の能力!多くの感覚を駆使して生きる植物たちの「知られざる世界」。

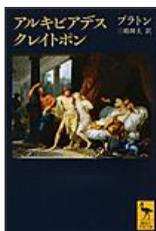
2017:3./ 199p

978-4-309-46438-1

本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/04/16



アルキビアデス クレイトポン(講談社学術文庫 2408)

プラトン 著
講談社

自己を認識することを通して人間一般の理解を試みるアルキビアデスとの対話、「徳」のありようを追究するとともに、それを修得する方法を問うクレイトポンとの対話。ソクラテス哲学の根本を伝える珠玉の2篇を収録する。

2017:3./ 221p

978-4-06-292408-5

本体 ¥820+税



朝日新聞 2017/04/16



メディチ家の至宝驚異の工芸コレクション

松本 典昭 著
勉誠出版

カメオ、メダル、聖遺物容器、象牙細工からペルシア、アステカ、中国の工芸品や、日本の武器・磁器・漆器にいたるまで。華麗なる一族・メディチ家の珠玉のコレクションを、豊富なエピソードとともにフルカラー図版で紹介する。

2017:3./ 313p

978-4-585-22169-2

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2017/04/16



宣教師と『太平記』(集英社新書 0872)

神田 千里 著
集英社

戦国時代、訪日宣教師はみな『太平記』を読んでいた。それは、この書物が当時の日本人の百科事典であり、絶大な人気を誇っていたためだった。『太平記』受容を通して時代を分析した、革新的一冊。

2017:3./ 187p

978-4-08-720872-6

本体 ¥700+税



朝日新聞 2017/04/16



雑草家族(ヤングジャンプコミックス)

小路 啓之 著
集英社

家族のカタチを問う、異才・小路啓之 未完の傑作!! 次女が暴行被害に遭った七草家。警察か? 泣き寝入りか? 緊急家族会議で決まった答えは—復讐!? クセモノ揃いの両親&一男五女、大家族の“冒険”が始まる!!

2017:3./ 192p

978-4-08-890608-9

本体 ¥630+税



朝日新聞 2017/04/16

**ブーゲンビリア～小路啓之短編集～(ヤングジャンプコミックス)**小路 啓之 著
集英社

愛するダーリンとの無人島婚前旅行。そこで知った彼の正体は.....ゾンビ!? 2002年、犬塚康生名義で発表された表題作『ブーゲンビリア』ほか単行本未収録&完全未発表作品で織り成す異才・小路啓之の追悼短編集!!

2017:3./ 208p
978-4-08-890659-1
本体 ¥630+税

朝日新聞 2017/04/16

**正社員消滅(朝日新書 610)**竹信 三恵子 著
朝日新聞出版

正社員はなくした方がいい。既得権益だ。そんな意見が飛び交うようになった。安心・安定の象徴だった「正社員」は今後、消滅するのか復権するのかを検証。働き方や生活を守るために何が必要なのかを示す。

2017:3./ 237p
978-4-02-273710-6
本体 ¥760+税

朝日新聞 2017/04/16

**「公益」資本主義～英米型資本主義の終焉～(文春新書 1104)**原 丈人 著
文藝春秋

「会社は株主のもの」という英米流「株主資本主義」では、株主だけが潤い、会社は資金と研究開発力を奪われ、従業員の賃金は下げられる。「会社は社会の公器」という資本主義の新たなあり方、「公益資本主義」を提唱する。

2017:3./ 246p
978-4-16-661104-1
本体 ¥820+税

朝日新聞 2017/04/16

**熱海温泉誌～市制施行八〇周年記念～**

出版文化社

静岡県熱海市の市制施行八〇周年を記念した書。日本を代表する温泉地・熱海の温泉史を、中世・近世・近代・戦後の時代区分に通史的なテーマを交えた5つの大区分のもと、多様なテーマや視点・切り口による項目別に記述する。

2017:4./ 383p
978-4-88338-614-7
本体 ¥3,000+税

朝日新聞 2017/04/16、読売新聞 2017/04/16

**スウィングしなけりや意味がない**佐藤 亜紀 著
KADOKAWA

1939年ナチス政権下のドイツ、ハンブルク。15歳のエディと仲間たちが熱狂しているのは頹廢音楽と呼ばれる”スウィング”だ。だが音楽と恋に彩られた彼らの青春にも、徐々に戦争が色濃く影を落としはじめる。

2017:3./ 337p
978-4-04-105076-7
本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2017/04/16、毎日新聞 2017/04/30

**長い時間をかけた人間の経験(講談社文芸文庫)**林 京子 著
講談社

生の意味を問う表題作のほか、1945年7月世界最初の核実験が行われた場所・ニューメキシコ州トリニティ。グランド・ゼロの地点に立ち《人間の原点》を見た著者の苦渋に満ちた想いを刻す「トリニティからトリニティへ」を併録。

2005:6./ 201p
978-4-06-198407-3
本体 ¥1,200+税

朝日新聞 2017/04/23



林京子全集<5> やすらかに今はねむり給え 青春
 林 京子、井上 ひさし、河野 多恵子、黒古 一夫 著
 日本図書センター

長崎での被爆体験と、今も終わらない核の悲劇を語り続ける作家、林京子の全集。第 5 巻は長編「やすらかに今はねむり給え」と「青春」、および 80 年代と 90 年代初めの単行本未収録短編作品を中心に収録。

2005:6./ 477p
 978-4-8205-9838-1
 本体 ¥5,800+税



朝日新聞 2017/04/23



李さん一家/海辺の叙景(ちくま文庫)

つげ 義春 著
 筑摩書房

マンガの歴史を変えたつげ義春と『ガロ』の結節点!後続の作家に大きな影響を与えた「沼」「李さん一家」など 18 篇を収録。

2008:12./ 359p
 978-4-480-42543-0
 本体 ¥760+税



朝日新聞 2017/04/23



フランケンシュタイン(光文社古典新訳文庫)

シェリー 著
 光文社

天才科学者フランケンシュタインは、ついに人造人間を生み出すことに成功する。しかし誕生した生物は、その醜悪な姿のためフランケンシュタインに見捨てられる。やがて「怪物」は、人間の理解と愛を求めが、拒絶され疎外されて...

2010:10./ 423p
 978-4-334-75216-3
 本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/04/23



祭りの場・ギヤマンビードロ(講談社文芸文庫)

林 京子 著
 講談社

如何なれば膝ありてわれを接(うけ)しやー長崎での原爆被爆の切実な体験を、叫ばず歌わず、強く抑制された内奥の祈りとして語り、痛切な衝撃と深甚な感銘をもたらす林京子の代表的作品。

1988:8./ 398p
 978-4-06-196023-7
 本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/04/23



夜ふけと梅の花・山椒魚(講談社文芸文庫)

井伏 鱒二 著
 講談社

内心の深い想いを岩屋に潜む小動物に托した短篇「山椒魚」。新興芸術派叢書の 1 冊として、昭和 5 年 4 月に刊行された『夜ふけと梅の花』収録 15 篇に、同人誌『世紀』掲載の「山椒魚」の原型でもあった著者の処女作「幽閉」を併録。

1997:11./ 309p
 978-4-06-197591-0
 本体 ¥1,050+税



朝日新聞 2017/04/23



江戸→TOKYO なりたちの教科書〜一冊でつかむ東京の都市形成史〜

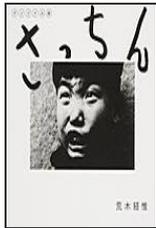
岡本 哲志 著
 淡交社

東京の地形となりたちを知り尽くした街歩き達人が、400 年以上の歳月をかけて築かれてきた江戸東京の様々な事象から 29 のテーマを取り上げ、浮世絵・地図・写真で読み解く。歴史ウンチクが満載。

2017:2./ 299p
 978-4-473-04170-8
 本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/04/23



さっちゃん〜オリジナル版〜

荒木 経惟 著

河出書房新社

天才荒木・伝説のデビュー作。1964年太陽賞受賞後ネガが紛失した幻のオリジナル版が初めて写真集に……昭和の子どもが甦る!

朝日新聞 2017/04/23

2017:2./ 1冊(ページ付なし)

978-4-309-27814-8

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 7 8 1 4 8 *



ザップル・レコード興亡記〜伝説のビートルズ・レーベルの真実〜

バリー・マイルズ、野間 けい子 著

河出書房新社

ポール・マッカートニーの盟友にして、伝説のレコード会社ザップル運営者である著者が半世紀の封印を解き、ついにその内実を語る。

朝日新聞 2017/04/23

2017:2./ 293p

978-4-309-27818-6

本体 ¥2,900+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 7 8 1 8 6 *



ロボットの歴史を作ったロボット100(NATIONAL GEOGRAPHIC)

アナ・マトロニック、片山 美佳子 著

日経ナショナルジオグラフィック社

神話時代の人造人間といった夢物語から、個性的なロボットが活躍するSF作品、そして各国が開発するロボットまで。フィクションが描き、科学が実現してきた古代から現代までのロボットをずらりと紹介する。

朝日新聞 2017/04/23

2017:1./ 223p

978-4-86313-362-4

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 8 6 3 1 3 3 6 2 4 *



財政から読みとく日本社会〜君たちの未来のために〜(岩波ジュニア新書 848)

井手 英策 著

岩波書店

弱者を生まず、誰もが安心して暮らせる社会をつくるためにできることは? 財政社会学を専門とする著者が、財政のできごとを手がかりとして日本社会の特徴や問題点をあぶりだす。

朝日新聞 2017/04/23

2017:3./ 11p,224p

978-4-00-500848-3

本体 ¥880+税



* 9 7 8 4 0 0 5 0 0 8 4 8 3 *



離陸(文春文庫 い62-3)

絲山 秋子 著

文藝春秋

時空を超えて足跡を残す〈女優〉とは何者か。大切な人を喪い、哀しみの果てに辿りつく場所とは。透徹した目で人生を描く感動長編。

朝日新聞 2017/04/23

2017:4./ 423p

978-4-16-790828-7

本体 ¥910+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 8 2 8 7 *



打ち切り漫画家(28歳)、パパになる。(ヤングアニマルコミックス)

富士屋 カツヒト 著

白泉社

新人漫画家のかっちゃんは今、週刊連載の打ち切りを食らった。そして、妻が妊娠した。低収入、若年層、不安定職業ながら、パパになります。新米パパの育児エッセイ!

朝日新聞 2017/04/23

2017:3./ 160p

978-4-592-14690-2

本体 ¥600+税



* 9 7 8 4 5 9 2 1 4 6 9 0 2 *

**長倉洋海写真集 Hiromi Nagakura**

未来社

世界の紛争地を精力的に取材しながら市井に生きる人びとの姿を活写し、第一線で活躍しつつけている写真家・長倉洋海の新たな一面を提示する愛蔵版 BOX セット。上製クロス装函入。

2017:4./ 300p

978-4-624-90030-4

本体 ¥14,000+税



朝日新聞 2017/04/23

**オネイログラフィア～夢、精神分析家、芸術家～**

ヴィクトル・マージン、斉藤 毅 著

書肆心水

ロシア人精神分析家・美術キュレーター、ソ連アンダーグラウンド芸術の証言者であるヴィクトル・マージンが発表してきた、精神分析、および芸術に関するテキストを「オネイログラフィア」という主題のもとにまとめる。

2017:2./ 286p

978-4-906917-64-8

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2017/04/23

**労基署は見ています。(日経プレミアシリーズ 335)**

原 論 著

日本経済新聞出版社

新入社員の自殺が労災認定された大手広告代理店問題で一躍注目を浴びる労働基準監督署。どんな組織で、どうやって情報収集・調査をするのか? どういう会社がターゲットになるのか? 元監督官が、知られざる全貌を明かす。

2017:3./ 217p

978-4-532-26335-5

本体 ¥850+税



朝日新聞 2017/04/23

**文系人間のための「AI」論(小学館新書 300)**

高橋 透 著

小学館

多大なリスクがあるかもしれないのに、なぜ人間はテクノロジー開発を止めないのか。早稲田大学文化構想学部教授が、AI のある未来を哲学的立場から考察。AI を通じて、人間の存在意義、これからの人類のあるべき道を考える。

2017:4./ 285p

978-4-09-825300-5

本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/04/23

**台湾世界遺産級案内～ユネスコ番外地～**

平野 久美子 著

中央公論新社

政治の事情で、台湾には世界遺産が一つもない。玉山国家公園、台鉄旧山線...。訪れるべき価値のある 18 か所の世界遺産候補地を、台湾を愛し、台湾事情に精通する日本の執筆陣が熱烈案内する。データ:2017年1月現在。

2017:3./ 125p

978-4-12-004959-0

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/04/23

**隠れ増税～なぜあなたの手取りは増えないのか～(青春新書 INTELLIGENCE PI-511)**

山田 順 著

青春出版社

すでに破綻している「年金」という税、住宅ローンと固定資産税のワナ...。日本がいかにか重税国家であるかを描き、税金とはなにか、本当にこんなに税金を払う必要があるのかを考える。サラリーマンの節税策も収録。

2017:4./ 237p

978-4-413-04511-7

本体 ¥880+税



朝日新聞 2017/04/23



バン・マリーへの手紙(中公文庫 ほ 16-8)

堀江 敏幸 著
中央公論新社

直接火にかけないことで逆に奥深くまで火を通しうる「湯煎」(バン・マリー)のようにゆっくりと、彼方に過ぎ去った思い出や、浮いては沈む想念をやわらかな筆捌きでつづる散文集。

朝日新聞 2017/04/23

2017:3./ 305p
978-4-12-206375-4
本体 ¥740+税



日本の自動車レース史～多摩川スピードウェイを中心として～

杉浦 孝彦 著
三樹書房

アジア地域最初の常設サーキット、多摩川スピードウェイ開設 80 周年を記念し、日本における草創期の自動車レースについて、当時の写真や新聞記事を主な史料として、時系列にわかりやすくまとめる。

朝日新聞 2017/04/23

2017:4./ 151p
978-4-89522-667-7
本体 ¥3,800+税



ふたつのしるし(幻冬舎文庫 み-31-1)

宮下 奈都 著
幻冬舎

“優等生”遙名と、“落ちこぼれ”ハル。生きることに不器用なふたりがやがて成長し…。何度もすれ違ったふたりを結びつけた「しるし」とは? 出会うべき人と出会う奇跡を描いた、心ふるえる愛の物語。

朝日新聞 2017/04/23

2017:4./ 226p
978-4-344-42599-6
本体 ¥500+税



アメリカ マイノリティの輝き～写真集～

鎌田 遵 著
論創社

大都会に生きる移民やホームレスの影、LGBT のパレードやハロウィンの叫喚…。少数派の多声が低く共鳴する多民族社会アメリカの相貌。25 年にわたってアメリカの「辺境」を歩いてきた研究者・鎌田遵の写真集成。

朝日新聞 2017/04/23

2017:4./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-8460-1593-0
本体 ¥3,600+税



われらの子ども～米国における機会格差の拡大～

ロバート・D.パットナム、柴内 康文 著
創元社

子どもたちの出自における貧富の差が、いかにして機会の格差につながっていくのか。社会関係資本論の第一人者が、<夢なき社会>を生んだ米国の貧困を、子どもたちの物語と社会調査で活写する。

朝日新聞 2017/04/23、読売新聞 2017/04/23、日本経済新聞 2017/04/30

2017:3./ 381p
978-4-422-36001-0
本体 ¥3,700+税



ガーディアン

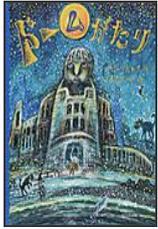
薬丸 岳 著
講談社

スマホや SNS が普及し、教師は生徒の悩みを把握しきれない。いじめ、不登校、夜間徘徊-荒れていた中学校は、匿名生徒による自警団「ガーディアン」によって落ち着いた。赴任したばかりの秋葉は単身、学校の謎に迫るが…。

朝日新聞 2017/04/28

2017:2./ 280p
978-4-06-220478-1
本体 ¥1,500+税





ドームがたり〜未来への記憶〜

アーサー・ピナード 著

玉川大学出版部

原爆ドームの側に立つと、遠い物もちっちゃい物も、みんな見えてくる。今日は、日が暮れる頃までずっと彼の物語に、耳をすまそう。アーサー・ピナードによるドームの語りと、スズキコージの絵が、未来へ記憶をつなぐ一冊。

朝日新聞 2017/04/29

2017:3./ 1冊(ページ付なし)

978-4-472-05991-9

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 4 7 2 0 5 9 9 1 9 *



僕は上手にしゃべれない(teens' best selections 43)

椎野 直弥 著

ポプラ社

吃音の悩みをかかえ、中学に入学した悠太。入学式の日には、当然自己紹介があるっていうのはわかっていたが…。著者自身の経験をもとに、吃音に苦しむ少年の葛藤と希望を描いた胸を打つ物語。

朝日新聞 2017/04/29

2017:2./ 328p

978-4-591-15323-9

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 5 9 1 1 5 3 2 3 9 *



いろいろいっぱい〜ちきゅうのさまざまないきもの〜

ゴ布林書房

地球には、何種類の生きものがいると思う?大きな生きもの、小さな生きもの、微生物…。地球には生きものがあふれていて、すべての生きものが、互いに複雑に結びついていることを伝える科学絵本。

朝日新聞 2017/04/29

2017:2./ 33p

978-4-902257-33-5

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 9 0 2 2 5 7 3 3 5 *



宝島(岩波少年文庫)

スティーヴンスン 著

岩波書店

ジムは、トレローニさんや医者のリヴシー先生とともに、プリント船長が埋めた財宝を探しに出帆した。だが、コックとして乗り組んだ一本足の海賊シルヴァーが恐ろしい陰謀を企んで…。海洋冒険小説の名作。(ソフトカバー)

朝日新聞 2017/04/30

2000:10./ 391p

978-4-00-114528-1

本体 ¥760+税



* 9 7 8 4 0 0 1 1 4 5 2 8 1 *



この日、集合。〜(独話)と(鼎談)〜

井上 ひさし、永 六輔、小沢 昭一、矢崎 泰久 著

金曜日

憲法制定から60年にあたる2006年5月3日、井上ひさし、永六輔、小沢昭一の3人が、東京・紀伊国屋ホールに集合した。そこでいったい何が語られたか。「憲法」をテーマに、3人それぞれの独話と、鼎談の様子を収録する。

朝日新聞 2017/04/30

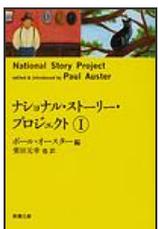
2006:8./ 100p

978-4-906605-16-3

本体 ¥1,000+税



* 9 7 8 4 9 0 6 6 0 5 1 6 3 *



ナショナル・ストーリー・プロジェクト<1>(新潮文庫)

ポール・オースター 著

新潮社

元はラジオ番組のためにオースターが全米から募り、精選した「普通の」人々の、ちょっと「普通でない」実話たち。彼の小説のように不思議で、切なく、ときにほろっとさせられ、ときに笑いがこみ上げる。

朝日新聞 2017/04/30

2008:12./ 366p

978-4-10-245111-3

本体 ¥630+税



* 9 7 8 4 1 0 2 4 5 1 1 1 3 *



ナショナル・ストーリー・プロジェクト<2>(新潮文庫)

ポール・オースター 著
新潮社

誰の身にも起こりえる、だが決して「普通」ではない瞬間。深刻だったり、たわいもなかったり—無名の人々が記憶のなかに温めていた「実話」だけが持つ確かな手触りを、編者オースターが丁寧に掬いとる。

2008:12./ 359p
978-4-10-245112-0
本体 ¥630+税



朝日新聞 2017/04/30



庄幸司郎 たたかう戦後精神～戦争難民から平和運動への道～

庄 幸司郎、松本 昌次 著
日本経済評論社

旧満洲に生れ敗戦と共に日本に上陸、たたき大工から建設会社を設立し、市民運動や映画製作に携わりながら平和憲法を守る運動に献身した庄幸司郎。彼の自伝的文章、市民運動へのかかわりにふれた文章・談話を収録。

2009:6./ 285p
978-4-8188-2059-3
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2017/04/30



痴人の愛 改版(新潮文庫)

谷崎 潤一郎 著
新潮社

きまじめなサラリーマンの河合譲治は、カフェでみそめて育てあげた美少女ナオミを妻にした。成熟するにつれて妖艶さを増すナオミの肉体に河合は悩まされ、ついには愛欲地獄の底へと落ちていく。

1987:1./ 339p
978-4-10-100501-0
本体 ¥670+税



朝日新聞 2017/04/30



ギルガメシュ叙事詩(ちくま学芸文庫)

矢島 文夫 著
筑摩書房
0

朝日新聞 2017/04/30

1998:2./ 266p
978-4-480-08409-5
本体 ¥900+税



プロ野球 12 球団ファンクラブ全部に 10 年間入会してみた!～涙と笑いの球界興亡クロニクル～

長谷川 晶一 著
集英社

2005 年から 2014 年まで、プロ野球 12 球団すべてのファンクラブに 10 年間入会し続けた著者が、年度別に 12 球団の特典を振り返り、その上で球団別の魅力や問題点をまとめる。『野球小僧』掲載を加筆修正。

2014:5./ 255p
978-4-08-780722-6
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/04/30



宮本常一の風景をあるく周防大島東和

周防大島文化交流センター 編
みずのわ出版

人生の多くを旅に費やした宮本常一は、眼前にある日常の風景から、人々の営みを読みとりながら写真に記録していった。生まれ育った三ヶ浦(長崎・西方・下田)など、昭和 30 年代～50 年代に撮影された写真を中心に収録する。

2014:11./ 142p
978-4-86426-028-2
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/04/30



宮本常一の風景をあるく周防大島久賀・橋・大島

宮本 常一、周防大島文化交流センター 編

宮本 常一、森本 孝 著

みずのわ出版

人生の多くを旅に費やした宮本常一は、眼前にある日常の風景から、人々の営みを読みとりながら写真に記録していった。故郷周防大島の久賀・橋・大島地区の生活変遷とその特色が窺われる写真を選定して収録する。

2016:2./ 134p

978-4-86426-029-9

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/04/30



戦後史で読む憲法判例

山田 隆司 著

日本評論社

憲法の重要判例を、戦後史のなかに落とし込み、時代背景と裁判の事実関係、地裁・高裁・最高裁の判決内容とその影響を詳しく解説。

2016:6./ 5p,181p

978-4-535-52186-5

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/04/30



あたらしい名前

ノヴァイオレット・ブラワヨ 著

早川書房

ジンバブエの少女ダーリンは、暴力的でもろい世界のなかで成長していく。ジュノ・ディアスが絶賛した新人作家のデビュー作がついに登場。ブッカー賞最終候補作、PEN/ヘミングウェイ賞受賞作

2016:7./ 317p

978-4-15-209624-1

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/04/30



米中もし戦わば～戦争の地政学～

ピーター・ナヴァロ、赤根 洋子 著

文藝春秋

トランプ政策顧問が、近年の中国の海洋進出にともなって変化する太平洋地域の戦力バランスを分析しながら、「米中戦争はあるのか」「あるとすれば、どのように防ぐことができるのか」をわかりやすく論じる。

2016:11./ 412p

978-4-16-390567-9

本体 ¥1,940+税



朝日新聞 2017/04/30



冬の日誌

ポール・オースター 著

新潮社

幼時の大けが。性の目覚め。パリでの貧乏暮らし。暮してきた家々。妻との出会い。母の死。「人生の冬」を迎えた作家の、肉体と感覚をめぐる回想録。

2017:2./ 216p

978-4-10-521718-1

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2017/04/30



アメリカ帝国の終焉～勃興するアジアと多極化世界～(講談社現代新書 2413)

進藤 榮一 著

講談社

アメリカ大衆の反逆、泥沼化する中東、勃興するアジア型資本主義…。変貌する国際関係を追跡してきた著者が、デトロイト、ジャカルタ、寧夏、北海道を歩きながら、日本がグローバリズムを生き抜くための知恵を描き出す。

2017:2./ 222p

978-4-06-288413-6

本体 ¥760+税



朝日新聞 2017/04/30



青い服の女(新・御宿かわせみ 7)

平岩 弓枝 著

文藝春秋

花世が誘拐された? 麻太郎と源太郎が、悪党相手に大立ち回り。大嵐の後、新装開店の「かわせみ」は、相も変わらず千客万来、奇妙な事件が起きる…。表題作ほか全6編を収録。『オール讀物』掲載を単行本化。

2017:3./ 244p

978-4-16-390619-5

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/04/30



金利と経済～高まるリスクと残された処方箋～

翁 邦雄 著

ダイヤモンド社

「金利操作と成長」の処方箋黒田日銀政策をあらためて検証する《日銀金融研究所長などを歴任した金融論の第一人者が語り尽くす》

2017:2./ 10p,262p

978-4-478-10168-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/04/30



ちいさい言語学者の冒険～子どもに学ぶことばの秘密～(岩波科学ライブラリー 259)

広瀬 友紀 著

岩波書店

「これ食べたら死ぬ?」 どうして多くの子どもが同じような「間違い」をするのだろうか? 言語獲得の冒険に立ち向かう子ども=ちいさい言語学者たちが見せる数々の珍プレーを通して、ことばの秘密に迫る。

2017:3./ 10p,109p,5p

978-4-00-029659-5

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/04/30



皿洗いするの、どっち?～目指せ、家庭内男女平等!～

山内 マリコ 著

マガジンハウス

男がいると家事は3倍、男手問題は同棲で解決せず! 結婚って、超ハッピー? それとも地獄? 男と女のラブ&バトルを30代女子の人気作家が痛快レポート。『アンアン』連載に書き下ろし「男のいいぶん」を加えて書籍化。

2017:2./ 207p

978-4-8387-2909-8

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/04/30



憲法が危ない!(祥伝社新書 499)

鈴木 邦男 著

祥伝社

国会議員の数の数の上では、いつでも憲法改正が可能になった。政府は改憲に前のめりだが、そこに陥穽はないか?かつて改憲運動に半生を捧げた著者が、改正を目論む真の目的を探り、改正に突き進むこの国の危うさを指摘する。

2017:3./ 220p

978-4-396-11499-2

本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/04/30



あま世へ～沖縄戦後史の自立にむけて～

戸邊 秀明 編

法政大学出版局

現在にいたる戦後沖縄社会運動史・思想史の異世代の当事者たちと、異郷からの聞き手・研究者たちによって織り上げた歴史の記録。インタビューや講演の記録、座談会などを収録。

2017:3./ 278p

978-4-588-32708-7

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2017/04/30



そろそろ、部活のこれからを話ませんか～未来のための部活講義～

中澤 篤史 著
大月書店

日本独特の文化である部活はなぜ成立しているのか。いつ始まったのか。なぜ拡大したのか。いまどうなっているのか。こうした不思議に向き合い、部活というものを丸ごと解説し、「部活のこれから」を考える。

朝日新聞 2017/04/30

2017:2./ 6p,266p
978-4-272-41229-7
本体 ¥1,800+税



内面からの報告書

ポール・オースター、柴田 元幸 著
新潮社

初めて書いた詩。心揺さぶられた映画。父の?。元妻リディア・デイヴィスへの熱い手紙。記憶をたぐり寄せ、心の地層を掘り起こして記す、「冬の日誌」と対を成す、精神をめぐる回想録。

朝日新聞 2017/04/30

2017:3./ 307p
978-4-10-521719-8
本体 ¥2,200+税



建築文学傑作選(講談社文芸文庫 あ W1)

講談社

文学と建築。異なるジャンルでありながら、文学を思わせる建築、そして建築を思わせる文学がある。開高健「流亡記」、芥川龍之介「蜃気楼」など、日本を代表する建築家・青木淳が選び抜いた建築文学全 10 篇を収録する。

朝日新聞 2017/04/30

2017:3./ 411p
978-4-06-290340-0
本体 ¥1,850+税



「週刊文春」編集長の仕事術

新谷 学 著
ダイヤモンド社

予定調和はおもしろさの敵、ヒットを生み続けるチームの作り方、「売れない」時代のマーケティング…。人脈・企画・交渉・組織・決断・戦略など、すごい結果を出す門外不出の奥義を、「週刊文春」現役編集長が明かす。

朝日新聞 2017/04/30

2017:3./ 255p
978-4-478-10209-1
本体 ¥1,400+税



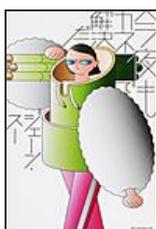
学校へ行けなかった私が「あの花」「ここさけ」を書くまで

岡田 麿里 著
文藝春秋

人気アニメ「あの花」の名前を僕達はまだ知らない。「心が叫びたがってるんだ。」の脚本家は、小学校高学年から高校時代まで、学校に行けなかった。母親との長い時間から外の世界へ出ていくまで、自身の半生を綴る。

朝日新聞 2017/04/30

2017:4./ 253p
978-4-16-390632-4
本体 ¥1,400+税



今夜もカネで解決だ

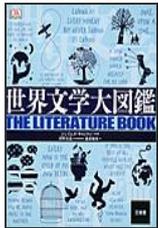
ジェーン・スー 著
朝日新聞出版

セレブサロンの美魔女に超絶技巧の姑娘。誰かに触れてもらうことで癒やされる体と心がある!癒やしのゴッドハンドを求めて彷徨う働く女のストレス解消放浪記。『AERA』連載に加筆し書籍化。

朝日新聞 2017/04/30

2017:3./ 223p
978-4-02-331578-5
本体 ¥1,300+税





世界文学大図鑑

ジェイムズ・キャントン、沼野 充義、越前 敏弥 著
三省堂

古今東西の「世界文学」の主な潮流を、オールカラーの図版を用いてわかりやすく解説。100冊余りを道しるべとして文学を年代順にたどり、200を超える著作をさらなる読書のために紹介する。

朝日新聞 2017/04/30

2017:4./ 352p
978-4-385-16233-1
本体 ¥4,200+税



オレたちのプロ野球ニュース～野球報道に革命を起こした者たち～(TOKYO NEWS BOOKS)

長谷川 晶一 著
東京ニュース通信社

後のスポーツニュースに多大な影響を与えたフジテレビ「プロ野球ニュース」。多くのプロ野球ファンに愛された理由、地上波撤退の真相…。歴代キャスターからスタッフまで、様々な証言をもとに、番組の誕生から終焉までを追う。

朝日新聞 2017/04/30

2017:3./ 335p
978-4-19-864373-7
本体 ¥2,000+税



捨てる女(朝日文庫 う22-2)

内澤 旬子 著
朝日新聞出版

突然、何もない部屋に住みたくなった。まだまだ使えそうなものもなんもかも、捨てまくることにした。3年以内に着手できないもの使わないものは、いらん。捨てまくる断捨離エッセイ。「身体(からだ)のいいなり」後日譚。

朝日新聞 2017/04/30

2017:4./ 263p
978-4-02-261899-3
本体 ¥640+税



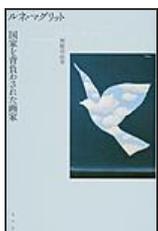
国のない男(中公文庫 ウ8-1)

カート・ヴォネガット 著
中央公論新社

人間への絶望と愛情、そしてとびきりのユーモと皮肉。鋭さと切実さに満ちた現代社会批判…。世界中の読者に愛された、戦後アメリカを代表する作家、ヴォネガットの遺作となったエッセイ集。

朝日新聞 2017/04/30

2017:3./ 198p
978-4-12-206374-7
本体 ¥720+税



ルネ・マグリット国家を背負わされた画家

利根川 由奈 著
水声社

シュルレアリスムを代表する画家は、現代美術や広告へ影響を与えながらも、詩と思考を絵画に求めて孤高に描き続けた、のだろうか?文化政策によって「ベルギー美術史」へと巻き込まれた、もう一人のマグリットを描く。

朝日新聞 2017/04/30

2017:3./ 273p
978-4-8010-0238-8
本体 ¥4,000+税



未中年～四十路から先、思い描いたことがなかったもので。(バンチコミックス)

ジェーン・スー 著
新潮社

恋や結婚だけではなく、アラフォー女性たちが現実には抱えている悩みや心の叫びを、諦めきれない女子のカリスマジェーン・スーが描く意欲作、ついに単行本化!!

朝日新聞 2017/04/30

2017:4./ 256p
978-4-10-771968-3
本体 ¥720+税





宮本常一の風景をあるく周防大島諸島

宮本 常一、周防大島文化交流センター 編
宮本 常一、森本 孝 著

みずのわ出版

人生の多くを旅に費やした宮本常一は、眼前にある日常の風景から、人々の営みを読みとりながら写真に記録していった。故郷周防大島周辺の島々の景観やそこに暮らす人たちの営みを記録した写真を選定して収録する。最終巻。

朝日新聞 2017/04/30

2017:3./ 118p
978-4-86426-030-5

本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 8 6 4 2 6 0 3 0 5 *



美しい日本の私(角川ソフィア文庫 L204-1)

川端 康成 著
KADOKAWA

ノーベル賞授賞式に羽織袴で登場した川端康成は、古典文学や芸術を紹介しながら日本の死生観を述べ、聴衆の深い感銘を誘った。その表題作を中心に、今、日本をとらえなおすための傑作随筆を厳選収録した。

東京・中日新聞 2017/04/02

2015:4./ 222p

978-4-04-409481-2

本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 0 4 4 0 9 4 8 1 2 *



相模原障害者殺傷事件～優生思想とヘイトクライム～

立岩 真也、杉田 俊介 著
青土社

障害者殺しとそれへの抵抗の歴史を召喚し、いちはやく事件のフレームを示してみせた社会学の第一人者と、若者たちの鬱屈の深層を見つめながら、等身大の言葉で語りかける在野の批評家。2人の論考と討議を収録する。

東京・中日新聞 2017/04/02

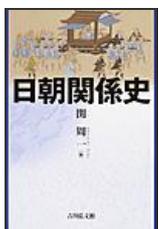
2016:12./ 258p

978-4-7917-6965-0

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 7 9 1 7 6 9 6 5 0 *



日朝関係史

関 周一 編
吉川弘文館

活発な通交、貿易、戦争、断絶…。古来、日本列島と朝鮮半島は、国境を史的境界としない多様・多元的な移動や交流があった。双方の関係を、東アジア内の広範な交流にも触れながら解明。広域史の視点から見つめ直す。

東京・中日新聞 2017/04/02

2017:2./ 11p,386p,15p

978-4-642-08308-9

本体 ¥3,500+税



* 9 7 8 4 6 4 2 0 8 3 0 8 9 *



江戸東京の聖地を歩く(ちくま新書 1244)

岡本 亮輔 著
筑摩書房

歴史と文化が聖地を生み出してきた江戸東京。神社仏閣から慰霊碑、墓、塔、スカイツリーまで、気鋭の宗教学者が聖地を自在に訪ね歩く。

東京・中日新聞 2017/04/02

2017:3./ 317p

978-4-480-06951-1

本体 ¥940+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 6 9 5 1 1 *



北斎まんだら

梶 よう子 著
講談社

葛飾北斎の弟子になるため江戸へやって来た三九郎。だが、娘のお栄に火事見物につき合わされたり、枕絵のモデルをやらされたり。そんな折、北斎の枕絵の贋作が出回っていることがわかり…。『小説現代』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2017/04/02、産経新聞 2017/04/16、日本経済新聞 2017/04/23

2017:2./ 290p

978-4-06-220474-3

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 0 6 2 2 0 4 7 4 3 *



ゆらぐ玉の緒

古井 由吉 著
新潮社

陽炎の立つ中で感じるのも、眠りの内のゆらめきの、余波のようなものか…。往還する時間のあわいに浮かぶ生の輝き、ひびき渡る永劫。一生を照らす、生涯の今を描く古井文学の集大成。全 8 篇を収録。『新潮』掲載を単行本化。

2017:2./ 216p
978-4-10-319211-4
本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2017/04/02、読売新聞 2017/04/02、日本経済新聞 2017/04/09



ねえ君、不思議だと思いませんか?

池内 了 著
而立書房

科学的思考のすすめリニア新幹線、STAP 細胞騒動、ドローンという怪物、電力自由化、宇宙の軍事化、町工場の技術 etc.いま日本に何が起きているのか?

2016:12./ 284p
978-4-88059-399-9
本体 ¥1,900+税



東京・中日新聞 2017/04/09



江戸城の全貌～世界的巨大城郭の秘密～

萩原 さちこ 著
さくら舎

世界最大都市・江戸のシンボルだった江戸城。築城の時代背景から設計、天守や御殿の構造や装飾、さらには江戸の町づくりや幕府の仕組みまで取り上げ、江戸城の秀逸な構造と築城秘話に迫る。

2017:3./ 271p
978-4-86581-087-5
本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2017/04/09



帝国日本と朝鮮野球～憧憧とナショナリズムの隘路～(中公叢書)

小野 容照 著
中央公論新社

中等学校の甲子園出場、都市対抗野球での優勝など、融和政策に“活用”された植民地時代の朝鮮野球。19 世紀末から「解放」される 1945 年まで、複雑な道程を辿った朝鮮野球について、2 つの“民族”を通して描く。

2017:1./ 345p
978-4-12-004936-1
本体 ¥1,650+税



東京・中日新聞 2017/04/09



クロカネの道～鉄道の父・井上勝～

江上 剛 著
PHP研究所

「長州ファイブ」の一人として伊藤博文らと海を渡り、日本に鉄道を敷くべく、ひたむきに生きた男・井上勝を感動的に描く長編小説。

2017:3./ 381p
978-4-569-83283-8
本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2017/04/09



ダーク・ドゥルーズ

アンドリュー・カルプ、大山 載吉 著
河出書房新社

ドゥルーズは世界を憎む破壊の哲学だ。既成のドゥルーズ像を壊しながら斬新な思考をうちたてる宣言。日本からの応答も収録。

2016:11./ 229p
978-4-309-24782-3
本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2017/04/16



ハイジが生まれた日～テレビアニメの金字塔を築いた人々～

ちば かおり 著
岩波書店

世界を魅了する日本のアニメのさきがけとなった「アルプスの少女ハイジ」はどのように作り出されたのか。関係者の証言から、「信じるに値する世界」を観せる仕事に懸けた人々のドラマに迫る。『東京新聞』等連載を単行本化。

2017:1./ 11p,158p
978-4-00-024482-4

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2017/04/16



「本をつくる」という仕事

稲泉 連 著
筑摩書房

ミス無くすための校閲。衣装を着せる装丁。むろん紙がなければ本はできない。印刷、製本、書体など本を支えるプロに話を聞きに行く。

2017:1./ 235p

978-4-480-81534-7

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2017/04/16



単身急増社会の希望～支え合う社会を構築するために～

藤森 克彦 著
日本経済新聞出版社

加速する未婚化と単身世帯化。家族機能が低下する中で、どのように支え合いの仕組みを作っていくのか。単身世帯の抱える実態を分析し、「支え合う社会の構築」をテーマに対策を考える。

2017:2./ 443p

978-4-532-35728-3

本体 ¥2,600+税



東京・中日新聞 2017/04/16、日本経済新聞 2017/04/30



盗まれた最高機密～原爆・スパイ戦の真実～(NHK スペシャル)

山崎 啓明 著
NHK出版

連鎖反応する恐怖が、この悪魔の兵器を生み出した。米・ソ・独・英・日などの間で繰り広げられた、原爆開発を巡る熾烈な情報戦の有様を描く。NHK スペシャルの内容をもとに書籍化。

2015:11./ 239p

978-4-14-081685-1

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2017/04/23



臨終の七不思議～医師が見つめた、その瞬間の謎と心構え～

志賀 貢 著
三五館

臨終とは、われわれが生きている限り避けることのできない現象。臨終を迎えた人が心と体にどのような変化を起こしながら天国へ召されていくのかを、医師歴 50年、数千の看取りに立ち会った著者が、その経験から分析する。

2017:1./ 214p

978-4-88320-691-9

本体 ¥1,200+税



東京・中日新聞 2017/04/23



「自白」はつくれる～冤罪事件に出会った心理学者～(叢書・知を究める 10)

浜田 寿美男 著
ミネルヴァ書房

帝銀事件、袴田事件と簡単には終わらない様々な事件との出会いを辿り、被疑者の渦中の視点から自白の意味を捉える重要性を解く。

2017:2./ 6p,280p

978-4-623-07994-0

本体 ¥3,000+税



東京・中日新聞 2017/04/23



毒々生物の奇妙な進化

クリスティー・ウィルコックス、垂水 雄二 著
文藝春秋

刺した獲物をゾンビにするハチ、無痛で人を殺すタコ…。彼らの遺伝子には何が刻まれているのか。毒に魅了された女性科学者が世界各地に生息する猛毒生物の遺伝子に迫る。

2017:2./ 278p
978-4-16-390601-0
本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2017/04/23、朝日新聞 2017/04/23、毎日新聞 2017/04/23



「復興」が奪う地域の未来～東日本大震災・原発事故の検証と提言～

山下 祐介 著
岩波書店

くらしを踏み潰す巨大すぎる防災施設、避難者を追いつめる早期帰還一辺倒の政策…。東日本大震災・福島原発事故の復興政策はなぜ隘路に陥ったのか。気鋭の社会学者が復興の推移と現状を検証し、人間のための復興を提言する。

2017:2./ 10p,275p
978-4-00-061185-5
本体 ¥2,600+税



東京・中日新聞 2017/04/30



ゴジラ幻論～日本産怪獣類の一般と個別の博物誌～

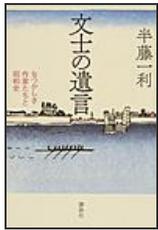
倉谷 滋 著
工作舎

2016年、東京に上陸し、活動を停止した巨大不明生物「ゴジラ」。従来の生物学の知見では単純に説明することのできない生態、機能、起源と発生プロセス等における多くの謎に、進化発生学者が挑む。

2017:2./ 293p
978-4-87502-482-8
本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2017/04/30



文士の遺言～なつかしき作家たちと昭和史～

半藤 一利 著
講談社

戦後を代表する作家たちは、「昭和」という時代をいかに見つめ、生き抜いたのか。彼らと接してきた著者が、大作家たちの素顔を生き生きと描きながら、その秘められた「遺言」を今に伝える、作家論・作品論のエッセイ集。

2017:3./ 250p
978-4-06-220520-7
本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2017/04/30



オニババ化する女たち～女性の身体性を取り戻す～(光文社新書)

三砂 ちづる 著
光文社
0

読売新聞 2017/04/02

2004:9./ 253p
978-4-334-03266-1
本体 ¥720+税



しゃぼん玉(新潮文庫)

乃南 アサ 著
新潮社

女性や老人だけを狙った通り魔や強盗傷害を繰り返し、自暴自棄な逃避行を続けていた伊豆見翔人は、宮崎県の山深い村で、老婆と出会った。翔人を彼女の孫と勘違いした村人たちは、あれこれと世話を焼き…

2008:1./ 326p
978-4-10-142546-7
本体 ¥520+税



読売新聞 2017/04/02

**春秋の檻(獄医立花登手控え 1)**藤沢周平 著
講談社

さまざまな暗い人間模様が江戸小伝馬町の牢屋に持ちこまれる。小さな罪の背後にうごめく大きな悪。心優しい青年獄医立花登が市井の人情も細やかに、柔術の妙技と推理の冴えを見せて事件を解く時代連作集。

1982:5./ 295p
978-4-06-131763-5
本体 ¥514+税

読売新聞 2017/04/02

**風雪の檻(獄医立花登手控え 2)**藤沢 周平 著
講談社

登と同じ鴨井道場の三羽鳥のひとり新谷弥助の身に、いったい何が起こったのか。道場に行くと言って家を出るが、実は深川の地回りの男たちと飲み回っているという。獄医立花登が人情味豊かに事件を解く好評シリーズ第2弾。

1983:11./ 272p
978-4-06-183130-8
本体 ¥495+税

読売新聞 2017/04/02

**愛憎の檻(獄医立花登手控え 3)**藤沢 周平 著
講談社

御存じ小伝馬町の青年獄医立花登シリーズ第3弾。娘の重病を治してもらったお礼にと、登に未解決の3年前の1家7人殺しの情報をもらした、入牢中の鑄かけ屋嘉吉が殺された。牢の中に兇悪な殺人者が.....

1984:11./ 294p
978-4-06-183386-9
本体 ¥514+税

読売新聞 2017/04/02

**人間の檻(獄医立花登手控え 4)**藤沢 周平 著
講談社

病気の亭主に代って、店を取り仕切る女房おむらに挑みかかった榎屋彦三郎の頸をしめた手代新助は、情状を汲まれて八丈遠島と決まった。新助の身を案ずるおむら。一件落着と見えた事件の裏には、匂うような女の性が.....

1985:11./ 333p
978-4-06-183626-6
本体 ¥571+税

読売新聞 2017/04/02

**筆箱採集帳 増補・新装版**ブング・ジャム 著
廣済堂出版

「銀座・伊東屋」社長、セレクトショップのオーナー、イラストレーター、建築家、ライター、アイドル...。職業・年齢・性別・こだわりが反映された、65人の筆箱を公開。

2014:9./ 103p
978-4-331-51877-9
本体 ¥1,500+税

読売新聞 2017/04/02

**文房具図鑑〜その文具のいい所から悪い所まで最強解説〜**山本 健太郎 著
いろは出版

文房具好きな小学6年生の健太郎くんが、夏休みの自由研究として学校へ提出した文房具の図鑑を書籍化。168アイテムを手描きのイラストで紹介し、いい所も悪い所も解説する。

2016:3./ 93p
978-4-86607-004-9
本体 ¥1,500+税

読売新聞 2017/04/02



古き良きアンティーク文房具の世界～明治・大正・昭和の文具デザインとその魅力～

たいみち 著

誠文堂新光社

目にする事のなくなった貴重な製品、遊び心あふれるユニークな道具、昭和レトロな学用品…。アンティーク文房具の魅力を豊富なビジュアルで紹介し、アンティーク文房具と出会えるショップ、イベント等の情報も掲載。

2016:5./ 191p

978-4-416-51686-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/04/02



がっかり行進曲(ちくまプリマー新書 271)

中島 たい子 著

筑摩書房

勉強も運動も不得意で目立たないし、学校にも馴染めない。こんな私にも未来はある?大人になるのが怖い全ての人に向けた青春小説。

2017:1./ 157p

978-4-480-68975-7

本体 ¥740+税



読売新聞 2017/04/02



ロシア革命～破局の8か月～(岩波新書 新赤版 1637)

池田 嘉郎 著

岩波書店

ロシア革命から100年。これまで革命の障害のように見なされてきた立憲主義者・自由主義者らの奮闘に光をあて、新たな社会を模索した人びとが当時に賭けていた思いや挫折を臨場感ある筆致で描き出す。

2017:1./ 14p,232p,4p

978-4-00-431637-4

本体 ¥840+税



読売新聞 2017/04/02



スパイクマン地政学～世界政治と米国の戦略～

ニコラス・スパイクマン、渡邊 公太 著

芙蓉書房出版

真珠湾攻撃の3か月後に出版され、戦後の米国国際政治学の原点となった古典的著作。世界地図と該博な地理の知識を駆使して戦後の世界情勢を予見する。現代の国際情勢を考えるための重要な示唆を与える書。

2017:1./ 242p

978-4-8295-0704-9

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2017/04/02



自閉症と感覚過敏～特異な世界はなぜ生まれ、どう支援すべきか?～

熊谷 高幸 著

新曜社

感覚過敏こそ自閉症の発生源ではないかという仮説から出発、その思考と検証の過程を紹介、当事者の感じ方に配慮した支援を探る。

2017:1./ 13p,185p,3p

978-4-7885-1507-9

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/04/02



イブン・バトゥータと境域への旅～『大旅行記』をめぐる新研究～

家島 彦一 著

名古屋大学出版会

海と陸、中国からアフリカまで、広大な世界を巡る「記録史料の宝庫」。完訳を成し上げた碩学による新たな到達点。

2017:2./ 13p,391p,73p

978-4-8158-0861-7

本体 ¥5,800+税



読売新聞 2017/04/02



宇宙には、だれかいますか?~科学者 18 人にお尋ねします。~

縣 秀彦 編

河出書房新社

地球外生命はどこにいる?生物学、化学、物理学、生命科学、天文学...各分野の
トップランナーが最新成果を元に究極の謎に答を出す。

読売新聞 2017/04/02

2017:2./ 221p

978-4-309-25361-9

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 5 3 6 1 9 *



春秋の檻(文春文庫 ふ 1-65)

藤沢 周平 著

文藝春秋

江戸小伝馬町の牢獄に勤める青年医師・立花登が起倒流柔術の妙技と鮮やかな
推理で、獄舎にもちこまれるさまざまな事件を解決する。

読売新聞 2017/04/02

2017:3./ 350p

978-4-16-790812-6

本体 ¥610+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 8 1 2 6 *



風雪の檻(文春文庫 ふ 1-66)

藤沢 周平 著

文藝春秋

登の柔術仲間、新谷弥助が姿を消す。行方を追う登の前に立ちはだかる悪の背
後に、意外や新谷の影があった。何が彼を変えたのかー。

読売新聞 2017/04/02

2017:3./ 302p

978-4-16-790813-3

本体 ¥570+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 8 1 3 3 *



地方都市の覚醒~大正昭和戦前史~ 博覧会篇

山路 勝彦 著

関西学院大学出版会

大正・昭和初期の地域的独自性を豊かに表現した地方都市博覧会の数々を、著
者が収集した図版とともに、その歴史的意義を論ずる。

読売新聞 2017/04/02

2017:2./ 13p,392p

978-4-86283-232-0

本体 ¥4,800+税



* 9 7 8 4 8 6 2 8 3 2 3 2 0 *



怪魚を釣る(インターナショナル新書 006)

小塚 拓矢 著

集英社インターナショナル

コンゴのムベンガや北海道のイトウなど、世界 40 ヶ国以上で 50 種超の怪魚を釣
り上げてきた著者が独自のノウハウを惜しみなく披露!怪魚を釣り、食し、研究する
楽しみが詰まった一冊。

読売新聞 2017/04/02

2017:2./ 218p

978-4-7976-8006-5

本体 ¥740+税



* 9 7 8 4 7 9 7 6 8 0 0 6 5 *



栗山魂(14歳の世渡り術)

栗山 英樹 著

河出書房新社

苦悩の連続を経て日本一の監督になるまでを綴った自叙伝!夢は見るものではな
くつかみとるもの。夢を叶えて熱く生きたい全ての人へ。

読売新聞 2017/04/02

2017:3./ 213p

978-4-309-61709-1

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 3 0 9 6 1 7 0 9 1 *



植物はなぜ薬を作るのか(文春新書 1119)

齊藤 和季 著
文藝春秋

ポリフェノール、解熱鎮痛薬、天然甘味料、抗がん薬…。なぜ、どのように植物は薬を作るのか。植物メタボロミクスの専門家が、最先端の研究を紹介しつつ、植物と薬の奥深い関係を探る。

2017:2./ 239p
978-4-16-661119-5
本体 ¥880+税



読売新聞 2017/04/02



紙つなげ!彼らが本の紙を造っている~再生・日本製紙石巻工場~(ハヤカワ文庫 NF 486)

佐々 涼子 著
早川書房

地元のため、そして本を待つ読者のために!津波で壊滅的被害を受けた製紙工場の復興の軌跡を徹底取材した、傑作ノンフィクション

2017:2./ 319p
978-4-15-050486-1
本体 ¥740+税



読売新聞 2017/04/02



院内刑事(でか)(講談社+α 文庫 G301-1)

濱 嘉之 著
講談社

廣瀬知剛は、政治家も利用する大病院で働く警視庁公安総務課 OB。ある日、脳梗塞で倒れた財務大臣が ICU に運ばれてきた。どうやら何者かに一服盛られたらしい。院内刑事の秘密捜査がはじまる!

2017:2./ 293p
978-4-06-281700-4
本体 ¥630+税



読売新聞 2017/04/02



子供の死を祈る親たち(新潮文庫 お-89-2)

押川 剛 著
新潮社

自室に籠り、自殺すると脅して親を操る息子。母親の不用意な一言から人生を狂わせ、覚醒剤から抜け出せなくなった娘…。数々の実例から、どのような子育てが子供の心を潰すのかを徹底的に探り、現代日本の抱える病巣を抉る。

2017:3./ 445p
978-4-10-126762-3
本体 ¥670+税



読売新聞 2017/04/02



毎日が楽しくなるきらめき文房具

菅 未里 著
KADOKAWA

モテ文具、見栄文具、贈り物文具、自己満足文具、不思議文具…。文具ソムリエールが、「会話のきっかけになる」「贈り物にすると喜ばれそう」といった切り口から、可愛くて心地よい文具たちを紹介します。

2017:2./ 125p
978-4-04-104949-5
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/04/02



日本全国合成地名の事典

浅井 建爾 著
東京堂出版

合併や土地区画整理などで行政区分が再編成された際に、複数の地名から文字の一部を取り、組み合わせで作った合成地名が多く生まれた。日本全国の合成地名の由来や変遷を、地域ごとに紹介する。

2017:3./ 284p
978-4-490-10889-7
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/04/02



蘇我の娘の古事記

周防 柳 著

角川春樹事務所

栄華絶頂の蘇我氏が討たれた乙巳の変から数年。日本の黎明に揺れる政争が、盲目の少女を数奇な運命へと導く。許されぬ恋、王位継承の争い…。壬申の乱を舞台に、「古事記」の作者は誰かという古代史最大の謎に挑む長篇小説。

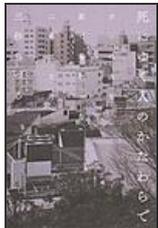
2017:2./ 418p

978-4-7584-1301-5

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/04/02



死にゆく人のかたわらで〜ガンの夫を家で看取った二年二カ月〜

三砂 ちづる 著

幻冬舎

「末期ガン。余命半年」の宣告。「最後まで家で過ごしたい」と願った夫と、それをかなえたいと思った妻。満ち足りて逝き、励まされて看取った2年2カ月の記録。『PONTOON』連載を書籍化。

2017:3./ 211p

978-4-344-03084-8

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/04/02



吉祥寺のほん〜この街から物語がはじまる〜(新潮 MOOK)

「新潮45」編集部 編

新潮社

22人の街フリークが徹底紹介する、吉祥寺の魅力、風景、記憶、物語!!

2017:3./ 112p

978-4-10-790246-7

本体 ¥890+税



読売新聞 2017/04/02



眼の奥の森

目取真 俊 著

影書房

せめぎあう記憶、ひびきあう言葉…。米軍に占領された小さな島で事件は起こった。少年は独り復讐に立ち上がる一。60年の時を超えて交錯する記憶の物語。

2009:5./ 221p

978-4-87714-393-0

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/04/09



ローベルト・ヴァルザー作品集<1> タンナー兄弟姉妹

ローベルト・ヴァルザー、新本 史奇、F. ヒンターエーダー=エムデ 著

鳥影社

今日のヨーロッパ文学において古典的存在とされるスイスの散文作家、ローベルト・ヴァルザーの長編小説と散文小品を集成。1には、「タンナー兄弟姉妹」を収録。

2010:8./ 381p

978-4-86265-251-5

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2017/04/09



地球全史〜写真が語る46億年の奇跡〜

白尾 元理、清川 昌一 著

岩波書店

世界60カ所以上で撮影した写真で、誕生から現在まで46億年の地球史をたどり、各時代の特徴とおもな出来事について、最新の研究成果をもとに解説する。撮影地情報も掲載。表紙見返しに地質年代表付き。

2012:1./ 190p

978-4-00-006246-6

本体 ¥4,400+税



読売新聞 2017/04/09



地球全史の歩き方

白尾 元理 著

岩波書店

大陸移動、恐竜絶滅、生命の誕生…。地球の重大事件が刻まれた「記念碑的な地層」を訪れた旅の記録。多数の写真ほか、撮影方法や現地に行くときに役立つ情報なども掲載する。地質年代表・取材地マップ付き。

2013:4./ 6p,199p

978-4-00-006248-0

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2017/04/09



蟹工船(海王社文庫)

小林 多喜二、細谷 佳正 著

海王社

オホーツクの海で行われている蟹漁。国策の名の元に、劣悪な環境下で労働者たちは非人道的酷使を強いられていた。やがて過労による死者が出て…。プロレタリア文学の金字塔。声優・細谷佳正が紡ぐ名場面抜粋の朗読 CD 付き。

2015:6./ 155p

978-4-7964-0735-9

本体 ¥972+税



読売新聞 2017/04/09



戦争は女の顔をしていない(岩波現代文庫 社会 295)

スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ 著

岩波書店

ソ連では第二次世界大戦で百万人をこえる女性が従軍し、看護婦や軍医としてのみならず兵士として武器を手にして戦った。五百人以上の従軍女性から聞き取りをおこない戦争の真実を明らかにした、ノーベル文学賞作家の名著。

2016:2./ 6p,498p

978-4-00-603295-1

本体 ¥1,340+税



読売新聞 2017/04/09



昭和史講義<2> 専門研究者が見る戦争への道(ちくま新書 1194)

筒井 清忠 編

筑摩書房

なぜ戦前の日本は破綻への道を行んだのか。20名の研究者がその謎に挑むべく、最新研究成果を結集。好評の昭和史講義シリーズ第2弾。

2016:7./ 350p

978-4-480-06906-1

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2017/04/09



多田駿伝〜「日中平和」を模索し続けた陸軍大将の無念〜

岩井 秀一郎 著

小学館

「弱者いじめ」を忌み嫌い、驕った日本人の優越感を戒め、若い兵士らの身命を案じつつ、良寛和尚の生き方に倣う。涙ながらに「戦線不拡大」を訴え続けた“良識派”軍人・多田駿の知られざる軌跡を辿る。

2017:3./ 317p

978-4-09-379876-1

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/04/09



狩りの時代

津島 佑子 著

文藝春秋

逝去直前まで推敲を重ねた津島文学の到達点 顔も知らぬ父、15歳で早世した兄。絵美子と母を気遣う、大勢のおじ・おばたち。大家族の物語はこの国の未来を照射する。遺作長篇。

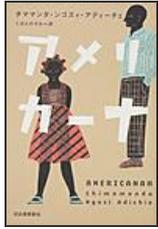
2016:8./ 285p

978-4-16-390501-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/04/09



アメリカーナ

チママンダ・ソゴズィ・アディーチェ、くぼた のぞみ 著

河出書房新社

国境に引き裂かれた恋人達が母国で再会する。人種、アイデンティティ、国家といった問題を絡めて描く壮大なスケールの移民の物語。

読売新聞 2017/04/09

2016:10./ 538p

978-4-309-20718-6

本体 ¥4,600+税



ぼく的美術ノート

原田 治 著

亜紀書房

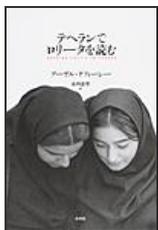
青空の下、行雲を眺めるように、ひとり「美術」を楽しみながら歳を重ねてきました。オサムグッズで知られるイラストレーター・原田治が、美術をテーマに「美しいものたち」について綴る。『芸術新潮』連載を単行本化。

読売新聞 2017/04/09

2016:12./ 180p

978-4-7505-1493-2

本体 ¥2,000+税



テヘランでロリータを読む

アーザル・ナフィーシー、市川 恵里 著

白水社

イスラム革命後のイラン、弾圧のため職を失った女性教授は、密かに禁じられた小説を読む読書会をひらく。衝撃の回想録。

読売新聞 2017/04/09

2017:1./ 485p

978-4-560-09537-9

本体 ¥2,400+税



中国のマンガ<連環画>の世界

武田 雅哉 著

平凡社

中国の多彩な図像学の系譜を受け継ぐ中国のマンガ<連環画>。20 世紀中国社会を如実に映す連環画を巡る、本邦初の本格的な紹介。

読売新聞 2017/04/09

2017:2./ 370p 図版

24p

978-4-582-48222-5

本体 ¥3,500+税



美しい家(講談社文庫 し 67-4)

新野 剛志 著

講談社

高校時代に姿を消した姉の行方を探しつづける作家の中谷。「あたしが関わるひと、みんな死んでいく」という 26 歳の亜樹。黄金の里に行きたいと願う友幸…。喪われた「家族」を描くミステリー。

読売新聞 2017/04/09

2017:1./ 481p

978-4-06-293581-4

本体 ¥840+税



あやつられる難民〜政府、国連、NGO のはざままで〜(ちくま新書 1240)

米川 正子 著

筑摩書房

国連と各国政府、NGO の間で翻弄される難民。彼ら本位の支援はなぜ実現しないのか。アフリカでの支援経験を踏まえ批判的に報告する。

読売新聞 2017/04/09

2017:2./ 318p

978-4-480-06947-4

本体 ¥940+税





理性の起源～賢すぎる、愚かすぎる、それが人間だ～(河出ブックス 101)

網谷 祐一 著
河出書房新社

理性があることは進化で有利か。どのような理性が進化したか。最新の諸科学の成果からヒトらしさの根源に迫る知的エンタテインメント。

読売新聞 2017/04/09

2017:2./ 232p
978-4-309-62501-0
本体 ¥1,700+税



魂でもいいから、そばにいて～3・11 後の霊体験を聞く～

奥野 修司 著
新潮社

「誰にも話せませんでした。死んだ家族と“再会”したなんて-」 未曾有の大震災で愛する者を喪った人びとの奇跡の体験と再生の記録。『新潮』『G2』掲載を改稿して書籍化。

読売新聞 2017/04/09

2017:2./ 254p
978-4-10-404902-8
本体 ¥1,400+税



青鉛筆の女(創元推理文庫 M マ 27-1)

ゴードン・マカルパイン 著
東京創元社

開戦で反日感情が高まるなか、作家デビューを望んだ日系青年と、編集者のあいだに何が起きたのか? 書籍・手紙・原稿で構成される、三重構造の超絶技巧ミステリ。

読売新聞 2017/04/09

2017:2./ 294p
978-4-488-25609-8
本体 ¥1,000+税



アプリで学ぶくずし字～くずし字学習支援アプリ KuLA の使い方～

飯倉 洋一 編
笠間書院

スマートフォンやタブレットで、くずし字を手軽に学べる、くずし字学習支援アプリ「KuLA」のガイドブック。アプリの内容や使い方を解説するほか、KuLA 以外の学習方法や、アプリ活用法などを紹介します。

読売新聞 2017/04/09

2017:2./ 91p
978-4-305-70826-7
本体 ¥800+税



貧困と闘う知～教育、医療、金融、ガバナンス～

エステル・デュフロ 著
みずず書房

開発経済学の最前線を紹介。インド、マラウィ、ケニア…。ワクチン接種キャンペーンを効果的にするには? 低コストで子どもたちの教育を改善するには? ランダム化比較実験を駆使した実証により、貧困削減の政策を提示する。

読売新聞 2017/04/09

2017:2./ 197p,11p
978-4-622-07983-5
本体 ¥2,700+税



鮭立の海

熊谷 達也 著
文藝春秋

三陸の入り江の港町、仙河海。この北の海から、遙か遠方へ——。父や兄とともに漁に一生をかけ、その栄枯盛衰を見た男の一代記。

読売新聞 2017/04/09

2017:3./ 407p
978-4-16-390626-3
本体 ¥1,950+税





愛国とノーサイド〜松任谷家と頭山家〜

延江 浩 著
講談社

日本の右翼運動の一大源流を作った頭山満。その孫・尋子と結婚した農林省高級官僚の松任谷健太郎…。頭山家の尊皇精神と、松任谷家のプロデュース能力。両家をめぐる魅惑的な才人たちと、そのハイブリッドな軌跡を描く。

読売新聞 2017/04/09

2017:3./ 348p
978-4-06-219693-2
本体 ¥1,700+税



イノセント・デイズ(新潮文庫 は-68-1)

早見 和真 著
新潮社

放火によって奪われたのは、元恋人の妻とまだ1歳の双子の命。確定死刑囚・田中幸乃の人生に関わった人々の追想から浮かび上がるあまりにも哀しい真実。幼なじみの弁護士たちが再審を求めて奔走するが…。

読売新聞 2017/04/09

2017:3./ 467p
978-4-10-120691-2
本体 ¥710+税



セブン-イレブン1号店繁盛する商い(PHP新書 1084)

山本 憲司 著
PHP研究所

「私にやらせてください」——山本酒店のオーナーが送った手紙からコンビニ1号店が豊洲に誕生する。流通と物流革命、新商品開発のドラマ。

読売新聞 2017/04/09

2017:3./ 197p
978-4-569-83285-2
本体 ¥800+税



禅画でみる禅画入門〜白隠・仙厓を中心に〜

浅井 京子 著
淡交社

「ゆるくてかわいい」だけじゃない、多種多様で自由な禅画ワールドにご案内。「達磨」「釈迦」「観音」など、白隠と仙厓の描いたものを江戸時代の絵画史のなかで考える、「禅画」の入門書。禅画関連本の手引きも収録。

読売新聞 2017/04/09

2017:3./ 239p
978-4-473-04174-6
本体 ¥1,600+税



クマムシ博士のクマムシへんてこ最強伝説(NATIONAL GEOGRAPHIC)

堀川 大樹 著
日経ナショナルジオグラフィック社

極限状態でも生きていられる、驚くべき生物クマムシ。その信じがたい生態から愛すべき弱点まで、クマムシ博士の研究室の成果をイラストとともに紹介。『Web ナショナルジオ』連載「クマムシ観察絵日記」を大幅加筆。シール付き。

読売新聞 2017/04/09

2017:2./ 191p
978-4-86313-380-8
本体 ¥1,400+税



死を告げられた女(ハヤカワ文庫 NV 1408)

イングリッド・デジュール 著
早川書房

心に傷を抱えたボディガードは暗殺の脅威に晒される女性活動家を守るか？テロへの恐怖に揺れるパリの街に吹き荒れる暴力の嵐

読売新聞 2017/04/09

2017:3./ 567p
978-4-15-041408-5
本体 ¥1,100+税





フィリピン〜急成長する若き「大国」〜(中公新書 2420)

井出 穰治 著
中央公論新社

近年、サービス業主導で急成長するフィリピン。人口は 1 億人を突破し、国民の平均年齢は 25 歳と若い。「アジアの希望の星」との声さえ聞かれる島国の魅力と課題に、IMF でフィリピン担当を務めたエコノミストが迫る。

2017:2./ 7p,220p
978-4-12-102420-6
本体 ¥800+税



読売新聞 2017/04/09、日本経済新聞 2017/04/09



六番目の小夜子(新潮文庫)

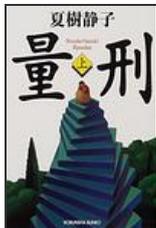
恩田 陸 著
新潮社

津村沙世子ーとある地方の高校にやってきた、美しく謎めいた転校生。高校には十数年間にわたり、奇妙なゲームが受け継がれていた。三年に一度、サヨコと呼ばれる生徒が、見えざる手によって選ばれるのだ。

2001:1./ 339p
978-4-10-123413-7
本体 ¥550+税



読売新聞 2017/04/16

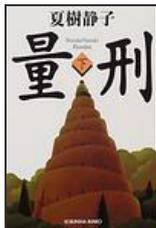


量刑<上>(光文社文庫)

夏樹 静子 著
光文社
0

読売新聞 2017/04/16

2004:10./ 450p
978-4-334-73759-7
本体 ¥705+税



量刑<下>(光文社文庫)

夏樹 静子 著
光文社
0

読売新聞 2017/04/16

2004:10./ 481p
978-4-334-73760-3
本体 ¥705+税



背の眼

道尾 秀介 著
幻冬舎

ホラー作家の道尾が耳にした霊の声と、自殺者の背中に写る眼。すべてが繋がったとき、血塗られた過去に根差した悲愴な事件の真実が明らかになる。第 5 回ホラーサスペンス大賞特別賞受賞作。

2005:1./ 397p
978-4-344-00731-4
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/04/16



玄鳥(文春文庫)

藤沢 周平 著
文芸春秋

武家の妻の淡い恋心をかえらぬ燕に託してえがく「玄鳥」をはじめ、円熟期の最上の果実と称賛された名品集である。他に「浦島」「三月の鮠」「闇討ち」「鷓鴣」を収める。

1994:3./ 232p
978-4-16-719228-0
本体 ¥480+税



読売新聞 2017/04/16



海鳴り<上> 新装版(文春文庫 ふ 1-57)

藤沢 周平 著
文藝春秋

四十の坂を越え、老いを意識し始めた紙商・小野屋新兵衛は、漠然とした焦りから逃れるように身を粉にして働き、商いを広げる。だが家は闇のように冷えていた。やがて薄幸の人妻おこうに、果たせぬ想いを寄せていき...

2013:7./ 363p
978-4-16-719258-7
本体 ¥630+税



読売新聞 2017/04/16



海鳴り<下> 新装版(文春文庫 ふ 1-58)

藤沢 周平 著
文藝春秋

家にはびこる不和の空気、翳りを見せ始めた商売、店を狙い撃ちにするかのような悪意...。心労が重なる新兵衛は、おこうとの危険な逢瀬にこの世の仄かな光を見いだす。しかし闇は更に広く、そして深くて...

2013:7./ 338p
978-4-16-719259-4
本体 ¥560+税



読売新聞 2017/04/16



保春院義姫~伊達政宗の母~

高橋 義夫 著
中央公論新社

群雄割拠する戦国時代の東北。最上義守の娘・義姫に、伊達輝宗との縁談が持ち込まれた。嫁いだ義姫は政宗はじめ三子を生すが、伊達家の勢力拡大とともに両家間に暗雲が立ちこめ...。義姫の覚悟と真実を描く歴史長篇。

2015:1./ 261p
978-4-12-004692-6
本体 ¥1,900+税



読売新聞 2017/04/16



雪の鉄樹(光文社文庫 と 22-2)

遠田 潤子 著
光文社

母は失踪。祖父と父に育てられた庭師の雅雪は、両親を失った少年・遼平の世話をしてきた。しかし遼平の祖母は雅雪に冷たく当たり...。耐え続ける男と少年の交流を軸に、「償いと報い」を正面からとらえたサスペンス。

2016:4./ 461p
978-4-334-77273-4
本体 ¥820+税



読売新聞 2017/04/16



蜜蜂と遠雷

恩田 陸 著
幻冬舎

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン...。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。『星星峡』『ポンツーン』連載を単行本化。

2016:9./ 507p
978-4-344-03003-9
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/04/16



宮沢賢治コレクション<2> 注文の多い料理店

宮沢 賢治 著
筑摩書房

宮沢賢治生誕 120 年記念企画。賢治の世界を広く深く味わう作品集。第 2 巻は生前唯一の童話集『注文の多い料理店』に加え、生前雑誌等発表の童話・劇を収録。

2017:1./ 335p
978-4-480-70622-5
本体 ¥2,500+税



読売新聞 2017/04/16



i
西 加奈子 著
ポプラ社
「この世界にアイは存在しません」入学式の翌日、数学教師は言った。ひとりだけ、え、と声を出した。ワイルド曾田アイ。その言葉は、アイに衝撃を与え、彼女の胸に居座り続けることになる。ある「奇跡」が起こるまでは…。

2016:11./ 298p
978-4-591-15309-3
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/04/16



現代感動詞用法辞典
浅田 秀子 著
東京堂出版
現代日本語の「感動詞」420 語の用法を懇切に解説。人間の口から発せられる感動詞・呼びかけ・挨拶・応答・掛け声、マンガの背景等に用いられる音声表現など幅広く収録。著者考案の「三線譜」により音調を正確に記述する。

2017:1./ 20p,342p
978-4-490-10888-0
本体 ¥4,700+税



読売新聞 2017/04/16



教師宮沢賢治のしごと(小学館文庫 は 16-1)
畑山 博 著
小学館
故郷・花巻の農学校で教鞭をとった宮沢賢治。生徒たちを競わせた英語のスペリング競争、生まれたばかりの作品を生徒たちに朗読して聞かせた国語の授業…。入念な取材で、知られざる宮沢賢治の教室を再現する。

2017:2./ 253p
978-4-09-406397-4
本体 ¥570+税



読売新聞 2017/04/16



土偶のリアル～発見・発掘から蒐集・国宝誕生まで～
譽田 亜紀子、武藤 康弘、スソ アキコ 著
山川出版社
発見、発掘、修復、復元、蒐集など、思わず唸る 18 の物語で土偶の魅力と謎に迫り、さらにカラー図版やイラストで紹介する。

2017:2./ 198p
978-4-634-15112-3
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/04/16



孤独論～逃げよ、生きよ～
田中 慎弥 著
徳間書店
相手の要望に応え続ける“畏”に陥ってはいないか。群れのなかで奴隷のような日々耐え続けるより、四の五の言わず、まずは逃げてみろ。孤高の芥川賞作家が、孤独であることの必要性を語る。

2017:2./ 181p
978-4-19-864349-2
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2017/04/16



「未知」という選択～世界のレオ創造の軌跡～(わが人生 12)
江崎 玲於奈 著
神奈川新聞社
エサキダイオードで世界のひのき舞台へ上がったノーベル物理学者・江崎玲於奈。挫折と栄光、偶然と必然、そして日本とアメリカが巧みに交差する、これまでの人生を振り返る。『神奈川新聞』連載を加筆修正して書籍化。

2017:1./ 198p 図版 8
枚
978-4-87645-561-4
本体 ¥1,389+税



読売新聞 2017/04/16



外来種のウソ・ホントを科学する

ケン・トムソン 著

築地書館

外来種の侵入によって間違いなく損失があるのか? 駆除のターゲットは正しかったのか? 英国の生物学者が、世界で脅威とされている外来種を例に、在来種と外来種にまつわる問題を、文献やデータをもとに多角的に検証する。

読売新聞 2017/04/16

2017:3./ 316p

978-4-8067-1533-7

本体 ¥2,400+税



遙かなる他者のためのデザイン〜久保田晃弘の思索と実装〜

久保田 晃弘 著

ビーエヌエヌ新社

真に新しいものをつくりだすということは、どういうことなのか。芸術と工学を行き来し、脱中心を志向する久保田晃弘の20年分のデザイン論を精選収録。テクノロジーとともに更新されゆく人間と社会の未来を照らし出す一冊。

読売新聞 2017/04/16

2017:2./ 447p

978-4-8025-1050-9

本体 ¥2,600+税



ウルトラ怪獣幻画館(ちくま文庫 し5-6)

実相寺 昭雄 著

筑摩書房

ジャミラ、ガヴァドン、メロン星人など、ウルトラシリーズで人気怪獣を送り出した実相寺監督が書き残した怪獣画集。オールカラー。解説 樋口尚文

読売新聞 2017/04/16

2017:3./ 111p

978-4-480-43436-4

本体 ¥900+税



出会いなおし

森 絵都 著

文藝春秋

出会い、別れ、再会し、また別れ——。人は会うたびに知らない顔を見せ、立体的になる。人生の大切な場面が詰まった六つの物語。

読売新聞 2017/04/16

2017:3./ 230p

978-4-16-390620-1

本体 ¥1,400+税



山登り語辞典〜登山にまつわる言葉をイラストと豆知識でヤッホーと読み解く〜

鈴木 みき 著

誠文堂新光社

専門用語が多い山登りの世界。自然を表現した美しい言葉、ユーモアあふれる隠語…。イラストレーター・漫画家の鈴木みきが、登山にまつわる言葉をイラストを交えて楽しく解説。山登りの基礎知識も紹介する。

読売新聞 2017/04/16

2017:3./ 173p

978-4-416-51718-5

本体 ¥1,400+税



いい人生は、最期の5年で決まる(SB新書 386)

樋野 興夫 著

SBクリエイティブ

死ぬ瞬間に「いい人生だった」と最期を迎えるために、今日できることをする。それだけで人生が輝きだす。「がん哲学外来」の創始者が、絶対に人生を後悔しない生き方を教える。

読売新聞 2017/04/16

2017:3./ 174p

978-4-7973-8961-6

本体 ¥800+税





山岡鉄舟修養訓～ポケット～(活学新書 005)

平井 正修 著
致知出版社

人を変えようと思うならまず自分から。清く静かな心をやしなう。やるべきことに徹する。何事にも心を込める。剣・禅・書の達人・山岡鉄舟の人物修養法を解説する。

2017:2./ 171p
978-4-8009-1138-4

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2017/04/16



夢のなかの魚屋の地図(集英社文庫 い59-4)

井上 荒野 著
集英社

28歳で作家デビューしてから、24年。小説家の父のこと、書き続けることへの決意など……。著者が様々な媒体で発表してきた、ほぼ全てのエッセイを集めた直木賞作家・井上荒野の集大成的作品。

2017:3./ 250p

978-4-08-745556-4

本体 ¥560+税



読売新聞 2017/04/16



さむらい道<上> 最上義光表の合戦・奥の合戦

高橋 義夫 著
中央公論新社

最上義光は、父義守一族や天童・白鳥氏、そして伊達氏らとの峻烈な内憂外患をいかに乗り越え、山形に君臨することができたのか!? 義光の「負けまい、勝つまいの戦」を描く長編歴史小説。『山形新聞』連載を単行本化。

2017:3./ 380p

978-4-12-004963-7

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2017/04/16



さむらい道<下> 最上義光もうひとつの関ヶ原

高橋 義夫 著
中央公論新社

伊達政宗との抗争から上杉軍と激闘を繰り広げた、1600年9月の“北の天下分け目の戦い”まで、義光の「負けまい、勝つまいの戦」を描く長編歴史小説。『山形新聞』連載を単行本化。

2017:3./ 392p

978-4-12-004964-4

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2017/04/16



ことばのしっぽ～「こどもの詩」50周年精選集～

中央公論新社

『読売新聞』家庭面の人気コーナー「こどもの詩」の50周年を記念した精選集。1967年5月～2016年11月に掲載された詩の中から、選りすぐりの200篇を収録する。子どもにしか見えない風景が胸を打つ一冊。

2017:3./ 248p

978-4-12-004965-1

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/04/16



匣の中の失楽 新装版(講談社文庫 た27-4)

竹本 健治 著
講談社

推理小説マニアの大学生・曳間が、密室で殺害された。しかも仲間が書いている小説の予言通りに。現実と虚構の狭間に出現する5つの<さかさまの密室>とは…。サイドストーリー「匣の中の失楽」も収録。

2015:12./ 829p

978-4-06-293279-0

本体 ¥1,450+税



読売新聞 2017/04/16、読売新聞 2017/04/30



涙香迷宮

竹本 健治 著
講談社

それは、天才しかなし得ない「日本語」の奇蹟-。明治の傑物・黒岩涙香が残した最高難度の暗号に、IQ208 の天才囲碁棋士・牧場智久が挑む! 『メフィスト』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2016:3./ 364p
978-4-06-219954-4
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2017/04/16、読売新聞 2017/04/30



囲碁殺人事件(講談社文庫 た27-5)

竹本 健治 著
講談社

囲碁タイトル戦・第7期棋幽戦第2局2日目、<碁の鬼>楨野九段が、首無し屍体で発見された。天才少年棋士・牧場と大脳生理学者・須藤は事件に挑むが、牧場少年にも犯人の魔の手が…。短編「チェス殺人事件」も収録。

2017:2./ 327p
978-4-06-293593-7
本体 ¥680+税



読売新聞 2017/04/16、読売新聞 2017/04/30



飛躍への挑戦～東海道新幹線から超電導リニアへ～

葛西 敬之 著
ワック

JR 東海の代表取締役名誉会長が、自身が関わった東海道新幹線の進歩と飛躍を中心に、国鉄分割民営化、三正面作戦の到達点、超電導リニアへの挑戦など、JR 東海発展の歩みを振り返る。

2017:3./ 379p
978-4-89831-454-8
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/04/16、日本経済新聞 2017/04/30



その声はいまも

高良 留美子 著
思潮社

戦争、災害、そしていま-。語りえないさまざまな声のひびく流れの底に身をひたし、時代を越えて生のかたちを自他に問い、歩いてゆく。東日本大震災から生まれた表題作ほか、『詩と思想』等に掲載の作品を収録した第10詩集。

2017:3./ 98p
978-4-7837-3561-8
本体 ¥2,500+税



読売新聞 2017/04/18



コンビニ・ララバイ

池永 陽 著
集英社

お人好しで商売気のない店長と、訳ありの店員にお客さん。みんな何かを抱えて生きている、何かを求めてやって来る。それぞれのはぐれた愛が切なく、まぶしくて-。小さなコンビニの7つの物語。

2002:6./ 286p
978-4-08-774586-3
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/04/23



超・殺人事件～推理作家の苦悩～(新潮文庫)

東野 圭吾 著
新潮社

発表時、現実の出版界を震撼させた「超読書機械殺人事件」をはじめ、推理小説誕生の舞台裏をブラックに描いた危ない小説 8 連発。意表を衝くトリック、冴え渡るギャグ、そして怖すぎる結末。激辛クール作品集。

2004:4./ 301p
978-4-10-139522-7
本体 ¥520+税



読売新聞 2017/04/23



武田信玄<風の巻>(文春文庫)

新田 次郎 著
文芸春秋
0

読売新聞 2017/04/23

2005:4./ 546p
978-4-16-711230-1
本体 ¥810+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 1 2 3 0 1 *



武田信玄<林の巻>(文春文庫)

新田 次郎 著
文芸春秋
0

読売新聞 2017/04/23

2005:4./ 463p
978-4-16-711231-8
本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 1 2 3 1 8 *



武田信玄<火の巻>(文春文庫)

新田 次郎 著
文芸春秋
0

読売新聞 2017/04/23

2005:5./ 426p
978-4-16-711232-5
本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 1 2 3 2 5 *



武田信玄<山の巻>(文春文庫)

新田 次郎 著
文芸春秋
0

読売新聞 2017/04/23

2005:5./ 543p
978-4-16-711233-2
本体 ¥810+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 1 2 3 3 2 *



源氏物語<巻1>(講談社文庫)

紫式部、瀬戸内 寂聴 著
講談社
0

読売新聞 2017/04/23

2007:1./ 362p
978-4-06-275633-4
本体 ¥640+税



* 9 7 8 4 0 6 2 7 5 6 3 3 4 *



八甲田山 死の彷徨 改版(新潮文庫)

新田 次郎 著
新潮社
白露戦争前夜、厳寒の八甲田山中で過酷な人体実験が強いられた。自然と人間の闘いを迫真の筆で描く長編小説。

読売新聞 2017/04/23

2002:3./ 331p
978-4-10-112214-4
本体 ¥590+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 2 2 1 4 4 *



虹色のトロツキー<第1集>(希望コミックス)

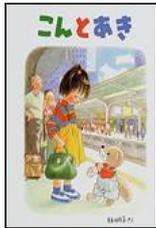
安彦良和 著
潮出版社
0

読売新聞 2017/04/23

1992:6.
978-4-267-90235-2
本体 ¥876+税



* 9 7 8 4 2 6 7 9 0 2 3 5 2 *



こんとあき(日本傑作絵本シリーズ)

林 明子 著
福音館書店

こんは、あきのおばあちゃんが作ったキツネのぬいぐるみです。あきが成長するにつれ、こんは古びて、腕がほころびてしまいました。あきはこんを治してもらうため、こんと一緒におばあちゃんの家にてかけます。

1989:6./ 39p
978-4-8340-0830-2
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2017/04/23



ベトナム戦記(朝日文庫)

開高健、秋元啓一 著
朝日新聞出版

戦場の真っ只中に飛び込み、裸形の人間たちを凝視しながらルポルタージュしたサイゴン通信。

1990:10./ 300p
978-4-02-260607-5
本体 ¥620+税



読売新聞 2017/04/23



人はなぜ笑うのか～笑いの精神生理学～(ブルーバックス)

志水彰 著
講談社

私たちはおかしくて笑ったりする一方で、欲しくもないプレゼントをもらっても笑顔でお礼をいいます。本書は新たに医学、生理学、心理学をあわせた総合的な立場から笑いにせまり、その謎を解き明かしていきます。

1994:6./ 194p
978-4-06-257021-3
本体 ¥820+税



読売新聞 2017/04/23



日本三文オペラ 改版(新潮文庫)

開高 健 著
新潮社

一見徒労なエネルギーの発散のなかに宿命的な人間存在の悲しい性を発見し、ギラギラと脂ぎった描写のなかに哀愁をただよわせた快作。

1993:7./ 289p
978-4-10-112802-3
本体 ¥514+税



読売新聞 2017/04/23



聖職の碑 新装版(講談社文庫 くに4-13)

新田 次郎 著
講談社

信濃教育界の白樺派理想主義教育と実践主義教育との軋轢、そして山の稜線上に立つ碑は、なぜ「慰霊碑」ではなく「遭難記念碑」なのか。悲劇の全体像を真摯に描き出す。

2011:6./ 456p
978-4-06-276991-4
本体 ¥730+税



読売新聞 2017/04/23



ジブリの哲学～変わるものと変わらないもの～

鈴木 敏夫 著
岩波書店

世界中で愛されているアニメーション映画はどのように作られてきたのか。人との出会い、大好きな映画、宮崎駿監督との何気ない会話…。伝説の名プロデューサーが、ものづくりの楽しさと熱い思いを語る。

2011:8./ 15p,287p
978-4-00-023495-5
本体 ¥1,900+税



読売新聞 2017/04/23



王道の狗<2>(中公文庫 C や 3-31)

安彦 良和 著
中央公論新社

不平等条約改正を目指す陸奥宗光にとって、加納の護衛する朝鮮の志士金玉均は邪魔な存在だった。謀略渦巻く明治日本を活写した歴史長篇第二弾!

読売新聞 2017/04/23

2014:10./ 319p
978-4-12-206018-0
本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 6 0 1 8 0 *



王道の狗<3>(中公文庫 C や 3-32)

安彦 良和 著
中央公論新社

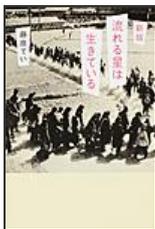
富国強兵、海外進出政策に舵を切る明治日本。王道を目指す加納と覇道を歩む風間の運命が再び交錯する!壮大なスケールで描く歴史巨篇第三弾。

読売新聞 2017/04/23

2014:11./ 332p
978-4-12-206042-5
本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 6 0 4 2 5 *



流れる星は生きている 新版(偕成社文庫 4082)

藤原 てい 著
偕成社

1945年の敗戦とともに満州(現、中国東北部)から日本まで、3人の子をかかえて引き揚げた、著者の魂の記録。

読売新聞 2017/04/23

2015:7./ 279p
978-4-03-850820-2
本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 0 3 8 5 0 8 2 0 2 *



機動戦士ガンダム The Origin<1> 始動編

安彦 良和、矢立 肇、富野 由悠季 著
KADOKAWA

連邦軍の技術将校を父に持つアムロ・レイ。彼は人工の大地「サイド7」でジオン軍の襲撃に遭い、父の開発したガンダムで応戦する。そして避難民としてWBに乗るが、次第に戦争に巻き込まれていく。

読売新聞 2017/04/23

2016:3./ 448p
978-4-04-104144-4
本体 ¥600+税



* 9 7 8 4 0 4 1 0 4 1 4 4 4 *



笑い(ちくま学芸文庫 へ 5-5)

アンリ・ベルクソン 著
筑摩書房

「おかしみ」の根底には何があるのか。主要 4 著作に続き、多くの読者に読みつがれてきた本著作の最新訳。主要著作との関連も俯瞰した充実の解説付。

読売新聞 2017/04/23

2016:9./ 238p
978-4-480-09747-7
本体 ¥950+税



* 9 7 8 4 4 8 0 9 7 4 7 7 *



天国ポスト~もう会えないあの人に想いを届けます。~(TWJ BOOKS)

寺井 広樹、志茂田 景樹 著
トランスワールドジャパン

もう会えなくなった人に手紙を届けてくれるという天国ポスト。今日も誰かがやってきました。想いを伝えるために。ポストに投函された心にしみる 73 通の手紙を紹介します。志茂田景樹による書き下ろしエッセイも収録。

読売新聞 2017/04/23

2016:8./ 159p
978-4-86256-183-1
本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 8 6 2 5 6 1 8 3 1 *



徹底調査子供の貧困が日本を減ぼす～社会的損失 40兆円の衝撃～(文春新書 1092)

日本財団子ども貧困対策チーム 著
文藝春秋

6人に1人いるとされる「子供の貧困」を放置すると、年間約40兆円の社会的損失が生まれる。日本の最重要課題を、データ分析、当事者インタビュー、学術研究の紹介から国内外の先進的な取組みまで、包括的に論じる。

2016:9./ 227p
978-4-16-661092-1
本体 ¥780+税



読売新聞 2017/04/23



泣いたの、バレた?(講談社文庫 さ-66-15)

酒井 順子 著
講談社

朝ドラヒロインにみる「女の武器」、「半沢直樹」は現代の仇討ち物語、被災地の書店員たちの熱気に触れる、女の涙の見極め方…。涙と笑いのエッセイ全48篇を収録。

2016:10./ 251p
978-4-06-293521-0
本体 ¥600+税



読売新聞 2017/04/23



渡辺淳一恋愛小説セレクション<9> 失楽園

渡辺 淳一 著
集英社

出版社の敏腕編集者九木祥一郎は書道講師松原凜子と運命的な出会いを果たす。共に不倫であるがゆえにかえって愛の炎を燃え上がらせる二人だが、次第に社会から孤立していく……。解説は桐野夏生。

2016:12./ 699p
978-4-08-781594-8
本体 ¥3,200+税



読売新聞 2017/04/23



勁草の人中山素平(文春文庫 た72-4)

高杉 良 著
文藝春秋

日本興業銀行頭取・会長、経済同友会代表幹事を歴任し、「財界鞍馬天狗」と呼ばれた中山素平。新日鐵発足、NTT 民営化、東京ディズニーランド開園…彼の行動は企業を超えて国を支えた。勁く温かいリーダーの実像を描く。

2017:3./ 439p
978-4-16-790806-5
本体 ¥770+税



読売新聞 2017/04/23



フェミニストたちの政治史～参政権、リブ、平等法～

大嶽 秀夫 著
東京大学出版会

そもそもフェミニズムとは日本を含む先進諸国の政治においていったいなんだったのか。19世紀から、1960年代アメリカの「リブ」、日本におけるバックラッシュまで、フェミニズムの展開を政治史のなかに位置づける。

2017:2./ 8p,276p,8p
978-4-13-033106-7
本体 ¥3,200+税



読売新聞 2017/04/23



出版禁止(新潮文庫 な-96-1)

長江 俊和 著
新潮社

社会の暗部を暴き続けるドキュメンタリー作家が不倫中の女と心中し、女だけが生き残る。本当は誰かに殺されたのではないかと7年後、ひとりのルポライターが女のインタビューに成功するが、そのルポは封印され…。

2017:3./ 339p
978-4-10-120741-4
本体 ¥590+税



読売新聞 2017/04/23



特派員直伝とらべる英会話

読売新聞国際部、The Japan News 著
研究社

読売新聞国際部の海外特派員たちが、現地を飛び回る中で知った、旅に役立つ英会話フレーズを臨場感あふれるエピソードとともに紹介します。日曜付『読売新聞』連載コラムを書籍化。

2017:3./ 193p
978-4-327-44114-2
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2017/04/23



哲学者と下女～日々を生きていくマイノリティの哲学～

高 秉権、今津 有梨 著
インパクト出版会

偉大なタレスをからかった聡明な下女がある晩、窓を開けて夜空の星を見たならば、一体どのようなことが起こったのだろうか…。わたしたちの生に気づきと勇気を贈る、静かな「哲学」への招待。

2017:3./ 214p
978-4-7554-0276-0
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2017/04/23



春画で学ぶ江戸かな入門

車 浮代、吉田 豊 著
幻冬舎

書入れがわかれば春画鑑賞の楽しみ倍増! 北斎、歌麿、國芳らの美しいカラー春画でくずし字を学べる書。しおり型の八文字呪文つき。書き込みページあり。本体は背表紙なし糸綴じ。

2017:3./ 191p
978-4-344-03086-2
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/04/23



小辞譚～辞書をめぐる10の掌編小説～

加藤 ジャンプ、木村 衣有子、小林 紀晴、小林 恭二、澤西 祐典、三遊亭 白鳥、中川 大地、藤谷 文子、藤谷 治、文月 悠光 著
猿江商會

詩人、小説家、女優、落語家、写真家、批評家……。異なる10の才能が描いた「辞書と言葉と想い」の小さな物語。

2017:4./ 168p
978-4-908260-07-0
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/04/23



日本ノンフィクション史～ルポルタージュからアカデミック・ジャーナリズムまで～ (中公新書 2427)

武田 徹 著
中央公論新社

「非」フィクションとして出発したノンフィクション。70年代に沢木耕太郎の登場で自立した日本のノンフィクション史を通観し、アカデミシヤンの活躍をも追って、「物語るジャーナリズム」のゆくえと可能性をさぐる。

2017:3./ 19p,290p
978-4-12-102427-5
本体 ¥880+税



読売新聞 2017/04/23、東京・中日新聞 2017/04/30



別れの挨拶(集英社文庫 ま1-4)

丸谷 才一 著
集英社

批評、追悼、書評。日本の文化を支えた知の巨人が残した知識の数々がここにある。音楽について文学について芸術について、亡くなる直前まで、著者が語り記した最期の一冊。(解説/川本三郎)

2017:3./ 381p
978-4-08-745560-1
本体 ¥730+税



読売新聞 2017/04/23、日本経済新聞 2017/04/30



中動態の世界～意志と責任の考古学～(シリーズケアをひらく)

國分 功一郎 著
医学書院

中動態とは何か。若き哲学者がバンヴェニスト、アレントに学び、デリダ、ハイデッガー、ドゥルーズを訪ね直し、アガンベンに教えられ、そして新たなスピノザと出会うことで中動態の世界に迫る。『精神看護』連載を書籍化。

2017:3./ 335p
978-4-260-03157-8
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/04/24、日本経済新聞 2017/04/30



戦場の博物誌～開高健短篇集～(講談社文芸文庫)

開高 健 著
講談社

戦争下の人間の姿を感動的に描いた名作集。ベトナム、中近東、アフリカでの苛酷な戦場体験の中から生み出された「戦場の博物誌」など、戦争小説 5 篇に、川端賞受賞作「玉、砕ける」を併録した珠玉の 1 冊。

2009:6./ 265p
978-4-06-290051-5
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/04/30



5(角川文庫)

佐藤 正午 著
角川書店

結婚 8 年目の記念にバリ島を訪れた志郎と真智子。旅行中に起こったある出来事がきっかけで、志郎の中に埋もれていたかつての愛の記憶が蘇る。洗練された筆致で交錯した人間模様を描く、会心の恋愛小説。

2010:1./ 669p
978-4-04-359304-0
本体 ¥857+税



読売新聞 2017/04/30



身の上話(光文社文庫 さ11-11)

佐藤 正午 著
光文社

不倫相手と逃避行の後、宝くじが高額当選。巻き込まれ、流され続ける女が出合う災厄と恐怖とは。

2011:11./ 471p
978-4-334-76320-6
本体 ¥743+税



読売新聞 2017/04/30



フランス組曲

イレヌ・ネミロフスキー 著
白水社

1940 年、ナチスの進軍を控えての大脱出―極限状態で剥き出しとなる市井の人々の性(さが)を透徹した筆で描いた一大絵巻。

2012:10./ 565p
978-4-560-08245-4
本体 ¥3,600+税



読売新聞 2017/04/30



想像ラジオ

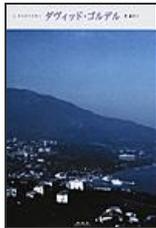
いとう せいこう 著
河出書房新社

想像すれば、聴こえるはずー。文学にしかできないことがある。著者 16 年の沈黙を経て執筆された、鎮魂と再生の物語。

2013:3./ 193p
978-4-309-02172-0
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/04/30



ダヴィッド・ゴルド

イレーヌ・ネミロフスキー、芝 盛行 著
未知谷

ユダヤ人実業家、ダヴィッド・ゴルド。生涯憎まれ、恐れられ、害を及ぼす人間を片っ端から叩き潰してきたユダヤの古強者の凄まじい晩年を非情なリアリズムで描く。

読売新聞 2017/04/30

2014:4./ 185p
978-4-89642-438-6

本体 ¥2,000+税



鳩の撃退法<上>

佐藤 正午 著
小学館

かつての売れっ子作家・津田は、古書店を営んでいた老人の形見の鞆を受け取った。中には、数冊の絵本と古本のピーターパン、そして 3 千万円を超える現金が。しかし思いもよらぬ事実が判明し…。『きらら』連載を単行本化。

読売新聞 2017/04/30

2014:11./ 476p

978-4-09-386388-9

本体 ¥1,850+税



鳩の撃退法<下>

佐藤 正午 著
小学館

津田にいよいよ決断の機会が訪れる。忽然と姿を消した家族、郵便局員の失踪、裏社会の蠢き、疑惑つきの大金…。たった 1 日の交錯が多くのひとの人生を思わぬ方向へと導いてゆく。『きらら』連載を単行本化。

読売新聞 2017/04/30

2014:11./ 477p

978-4-09-386389-6

本体 ¥1,850+税



何がちがう?どうちがう?似ている日本語

佐々木 瑞枝 著
東京堂出版

「あがる」と「のぼる」、「返す」と「戻す」、「不在」と「留守」…。似ている日本語のビミョーなニュアンス、教えます! 日本人が意外と知らない似ていることばの使い分けを、日本語教育の第一人者である著者が解説します。

読売新聞 2017/04/30

2017:2./ 163p

978-4-490-20959-4

本体 ¥1,200+税



グローバル・ジャーナリズム～国際スクープの舞台裏～(岩波新書 新赤版 1653)

澤 康臣 著
岩波書店

世界一斉に報じられた「パナマ文書」の裏には各国記者たちの「史上最大の作戦」があった。ビジネスも犯罪も国境を越える時代、記者たちは一匹狼から国際協力で舵を切り、デジタル技術で武装する。国際調査報道の可能性を報告。

読売新聞 2017/04/30

2017:3./ 13p,251p,3p

978-4-00-431653-4

本体 ¥860+税



ユーラシア帝国の興亡～世界史四〇〇〇年の震源地～

クリストファー・ベックウィズ、斎藤 純男 著
筑摩書房

中央ユーラシアが求めたのは侵略ではなく交易だった。古代から現代まで、世界の経済・文化・学問を担った最重要地域の歴史を描く。

読売新聞 2017/04/30

2017:3./ 622p,45p

978-4-480-85808-5

本体 ¥4,200+税





将棋殺人事件(講談社文庫 た27-6)

竹本 健治 著

講談社

静岡で大地震が発生し、土砂崩れの中から 2 つの屍体が発見される。屍体と六本木界隈で広まっていた怪談との類似点に注目、調査を始めた天才少年棋士・牧場智久が到達する驚愕の真相とは? 短編「オセロ殺人事件」も収録。

2017:3./ 362p

978-4-06-293616-3

本体 ¥720+税



読売新聞 2017/04/30



現代アート 10 講

田中 正之 編

田中 正之、松井 勝正、沢山 遼、橋本 梓、天野 知香、畠中 実、土屋 誠一、岡山 理香、木田 拓也、蔵屋 美香 著

武蔵野美術大学出版局

デュシャンから、3.11 以降の日本の美術まで、10 のアプローチにより現代アートを読み解く。武蔵野美術大学通信教育課程の科目「現代芸術論」のための教科書として編纂。

2017:3./ 227p

978-4-86463-057-3

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/04/30



作家の山旅〜紀行とエッセーで読む〜(ヤマケイ文庫)

山と溪谷社 編

山と溪谷社

文学を取り巻く時代背景と、登山の移り変わりの中で、作家たちは山をどのように見て、歩き、魅了されたのか。明治、大正、昭和の文学者 48 人が遺した山にかかわるエッセー、紀行文、詩歌を集めたアンソロジー。

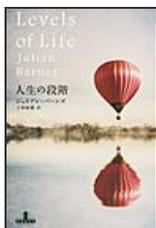
2017:3./ 357p

978-4-635-04828-6

本体 ¥930+税



読売新聞 2017/04/30



人生の段階(CREST BOOKS)

ジュリアン・バーンズ 著

新潮社

最愛の人にして最大の文学的理解者であった妻を突然喪った作家の痛みに満ちた日々。その思索と回想を、勃興期のヨーロッパ気球事情を語る歴史的エピソード、女優と軍人の恋物語を描いたフィクションを導入にして綴る。

2017:3./ 151p

978-4-10-590136-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/04/30



江戸の長者番付〜殿様から商人、歌舞伎役者に庶民まで〜(青春新書 INTELLIGENCE PI-509)

菅野 俊輔 著

青春出版社

年収“億”を超えるお金持ちたちがズラリ! 江戸時代の人びとは、どのくらいの給料・収入を得て、どのように豊かな生活を送っていたのか。将軍・大名から下級武士、町人、歌舞伎役者、豪商まで、フコロ事情を丹念に探る。

2017:3./ 187p

978-4-413-04509-4

本体 ¥890+税



読売新聞 2017/04/30



遊牧夫婦〜はじまりの日々〜(角川文庫 こ48-1)

近藤 雄生 著

KADOKAWA

無職、結婚、そのまま海外! イルカ三昧の日々、時速 80 キロの果てしないドライブ、東ティモール、捕鯨の村...。「旅の中を生き続けたい」と旅に出た夫婦の 5 年間におよんだ遊牧の日々の、最初の 1 年の記録。

2017:3./ 314p

978-4-04-400179-7

本体 ¥920+税



読売新聞 2017/04/30



屈折する星屑(ハヤカワ文庫 JA 1267)

江波 光則 著

早川書房

廃棄予定のコロニーでの鬱屈した時間、人工太陽に無意味にダイブする度胸試し.....そんな毎日でもよかった。彼女さえいてくれたら

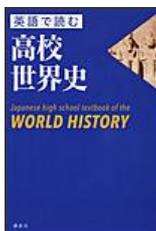
2017:3./ 318p

978-4-15-031267-1

本体 ¥740+税



読売新聞 2017/04/30



英語で読む高校世界史

尾形 勇 著

講談社

2013 年 2 月発行の高等学校用教科書「世界史 B」(東京書籍株式会社刊)を英訳。底本にある側註、コラム類、写真・図版類のキャプションは割愛し、人名、歴史事項等には日本語のルビを施す。英語索引・日本語索引付き。

2017:3./ 383p

978-4-06-220557-3

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/04/30



月の満ち欠け

佐藤 正午 著

岩波書店

自分が命を落とすようなことがあったら、もういちど生まれ変わる-。この娘が、いまは亡き我が子? いまは亡き妻? いまは亡き恋人? そうでないなら、はたしてこの子は何者なのか。さまよえる魂と数奇なる愛の物語。

2017:4./ 322p

978-4-00-001408-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/04/30



トランプ殺人事件(講談社文庫 た27-7)

竹本 健治 著

講談社

トランプゲームの最中、女性が鍵のかかった部屋から消失。別の場所で屍体で見つかった。天才少年囲碁棋士・牧場智久は、彼女が誰かに送った暗号を発見し...。ゲーム 3 部作完結編。書き下ろし短編「麻雀殺人事件」も収録。

2017:4./ 360p

978-4-06-293633-0

本体 ¥720+税



読売新聞 2017/04/30



電卓四兄弟〜カシオ「創造」の 60 年〜

樫尾 幸雄、佐々木 達也 著

中央公論新社

計算機開発の試行錯誤、ゴルフ三昧による経営危機、そして、電卓を家庭に普及させた大ヒット...。カシオの基礎を築いた樫尾家の 4 人の兄弟の波乱万丈の歩みを、四男である著者が振り返る。『読売新聞』連載に加筆し単行本化。

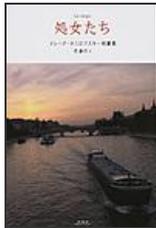
2017:3./ 187p

978-4-12-004969-9

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2017/04/30



処女たち(イレーヌ・ネミロフスキー 短篇集)

イレーヌ・ネミロフスキー 著

未知谷

大戦に向かって閉ざされていく、20世紀ヨーロッパ。その中で明かされる人々の呻き、嘆き、叫び。アウシュビッツで非業の死を遂げた作家イレーヌ・ネミロフスキーの、1930年代後半～40年代前半の作品を収録した短篇集。

2017:4./ 251p

978-4-89642-522-2

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2017/04/30



ファット・キャット・アート～デブ猫、名画を語る～

スヴェトラナ・ペトロヴァ&ツアラトゥストラ、喜多 直子 著

エクスマレッジ

巨大なデブ猫が、アートの世界を案内します。ミケランジェロ「アダムの創造」、フェルメール「牛乳を注ぐ女」、クリムト「接吻」...。古今東西の絵画に、茶トラの猫「ツアラトゥストラ」の画像を貼りつけた楽しい作品集。

2017:3./ 302p

978-4-7678-2299-0

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/04/30



持続可能な資本主義～「いい会社」に投資し日本一をとった鎌倉投信がみつけた信頼と共感で成り立つ経済のしくみ～

新井 和宏 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

「短期・分断」の資本主義から「長期・つながり」の資本主義へ!国内投資信託日本一に輝いた鎌倉投信ファンドマネージャーが提示する、人と社会を犠牲にする「効率至上主義経済」の代案。

2017:3./ 213p

978-4-7993-2049-5

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/04/30



みみずくは黄昏に飛びたつ～Haruki Murakami A Long,Long Interview～

川上 未映子、村上 春樹 著

新潮社

「騎士団長殺し」誕生秘話、創作の極意、少年期の記憶、名声と日常、そして死後のこと...。村上春樹が、自身の最深部を鮮烈な言葉で語る。少女時代からの熱心な愛読者・川上未映子が、村上春樹のすべてを訊き尽くした記録。

2017:4./ 345p

978-4-10-353434-1

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/04/30



ほんとの自分にもどる 115 のヒント

デイヴィッド・クンツ 著

主婦の友社

人生の意味は、何かを学んだり実践したりして獲得できるものではなく、日々の生活の中に「静かな時間、ひとりの時間」をもつことによって得ることができます。「充実感のある生活」を送るための方法を具体的に説明。

2000:7./ 287p

978-4-07-227672-3

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2017/04/02



試験にでる英単語～耳から覚える～

森 一郎 著

青春出版社

受験生のバイブル、「でる単」が CD になりました!受験勉強は最少の時間で最大の効果を生みだすことが、ライバルに勝つ鉄則です。大学入試にでる順に、耳から英単語を覚えていこう!

2003:1./ 283p

978-4-413-00301-8

本体 ¥950+税



日本経済新聞 2017/04/02



会社はだれのものか

岩井 克人、小林 陽太郎、原 丈人、糸井 重里 著
平凡社

おカネより人間、個人よりチーム。株主主権論は間違っている!「会社はだれのものか」という問いに対する答えを考察した、2003 年刊「会社はこれからどうなるのか」の続編。小林陽太郎、原丈人、糸井重里との対談も収録。

日本経済新聞 2017/04/02

2005:6./ 183p
978-4-582-83270-9
本体 ¥1,400+税



コンスタンティノープルの陥落 改版(新潮文庫)

塩野 七生 著
新潮社
0

日本経済新聞 2017/04/02

2009:1./ 291p
978-4-10-118103-5
本体 ¥476+税



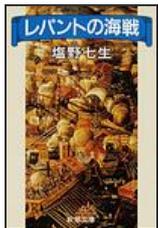
ロードス島攻防記 改版(新潮文庫)

塩野 七生 著
新潮社

1522 年、大帝スレイマン一世はついに自ら陣頭指揮を取ってロードス島攻略戦を開始した。島を守る聖ヨハネ騎士団との五ヶ月にわたる壮烈な攻防を描く歴史絵巻第二弾。

日本経済新聞 2017/04/02

2009:2./ 280p
978-4-10-118104-2
本体 ¥438+税



レバントの海戦 改版(新潮文庫)

塩野 七生 著
新潮社

西暦 1571 年、スペイン王フェリペ二世率いる西欧連合艦隊は、無敵トルコをついに破った。文明の交代期に生きた男たちを壮大に描く三部作、ここに完結!

日本経済新聞 2017/04/02

2009:2./ 310p
978-4-10-118105-9
本体 ¥476+税



博物誌

ジュール・ルナール 著
白水社
0

日本経済新聞 2017/04/02

1990:3./ 278p
978-4-560-04018-8
本体 ¥1,942+税



ソフト・エネルギー・パス～永続的平和への道～

エイモリー・B.ロヴィンズ 著
時事通信社
0

日本経済新聞 2017/04/02

1979:6./ 410p
978-4-7887-7914-3
本体 ¥1,800+税





ひとりぼっちの叛乱～とうちゃん、巻機山に生きる～

豊田和弘 著
山と溪谷社

日本百名山のひとつ、上越国境にある巻機山にスキー場開発計画が浮上した。地元で唯一開発に反対した民宿「雲天」のとうちゃん。村八分やヤクザの脅しにも負けずに貴重な自然と故郷の暮らしを守り抜く。

1996:10./ 221p
978-4-635-17097-0
本体 ¥1,553+税



日本経済新聞 2017/04/02



孤独な散歩者の夢想(光文社古典新訳文庫 KB ル 1-3)

ルソー 著
光文社

「思索」ではなく、「夢想」に身をゆだねたその真意は?晩年、孤独を強いられたルソーが、日々の散歩のなかで浮かび上がる想念や印象をもとに、自らの生涯を省みながら自己との対話を綴る。中山元による詳細な解説付き。

2012:9./ 325p
978-4-334-75257-6
本体 ¥990+税



日本経済新聞 2017/04/02



蔡英文自伝～台湾初の女性総統が歩んだ道～

蔡 英文 著
白水社

政治と無縁の家庭に生まれ、日本式の教育を受けた厳格な父親に育てられた物静かな少女が、台湾総統になるまでの秘められた信念と道程を明かす。

2017:1./ 270p
978-4-560-09524-9
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/04/02



俳句の海に潜る

中沢 新一、小澤 實 著
KADOKAWA

俳句は自然認識の最前線であり、古代と前衛のふたつの回路から世界の本質に迫ろうとしている――。深川・甲州・諏訪を漂い、縄文の古層へ。詩とアニミズムの新たな地平が浮かび上がる、人類学者と俳人の異色対談！

2016:12./ 268p
978-4-04-400155-1
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/04/02



自作の小屋で暮らそう～B ライフの愉しみ～(ちくま文庫 た 83-1)

高村 友也 著
筑摩書房

好きなだけ読書したり寝たりできる。誰にも文句を言われず、最低限の生活ができる。そんな場所の作り方。

2017:2./ 234p
978-4-480-43433-3
本体 ¥780+税



日本経済新聞 2017/04/02



「働く青年」と教養の戦後史～「人生雑誌」と読者のゆくえ～(筑摩選書 0141)

福間 良明 著
筑摩書房

経済的な理由で進学を断念し仕事に就いた若者たち。知的世界への憧れと反発。そんな彼らを支えた「人生雑誌」。その盛衰を描き出す！

2017:2./ 347p
978-4-480-01648-5
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/04/02



切腹考

伊藤 比呂美 著
文藝春秋

『外を読むことが、生きる死ぬるにつながるのである。切腹のエロスに魅せられた詩人が綴る、「阿部一族」を自らの声で語りなおしながら伴侶を看取るまで。『文学界』掲載に加筆し単行本化。

日本経済新聞 2017/04/02

2017:2./ 280p
978-4-16-390603-4
本体 ¥1,700+税



医療制度改革の比較政治～一九九〇～二〇〇〇年代の日・米・英における診療ガイドライン政策～

石垣 千秋 著
春風社

米・英・日の3か国を比較し、1990年代の医療制度改革における「診療ガイドライン」をめぐる政策の成否の要因を明らかにする。

日本経済新聞 2017/04/02

2017:3./ 363p,20p
978-4-86110-534-0
本体 ¥5,400+税



世界でもっとも美しい量子物理の物語～量子のモーメント～

ロバート・P.クリース、アルフレッド・シャーフ・ゴールドハーバー、吉田 三知世 著
日経BP社

量子物理を巡る科学史・カルチャー史ストーリー。確率や統計で解釈される量子物理学のイメージを、小説や漫画、詩、彫刻などで表現されたものをベースに、ほとんど数式なしで概説する。著者らの講座をもとに書籍化。

日本経済新聞 2017/04/02

2017:2./ 491p
978-4-8222-8547-0
本体 ¥2,800+税



石油の呪い～国家の発展経路はいかに決定されるか～

マイケル・L.ロス、松尾 昌樹、浜中 新吾 著
吉田書店

中東地域ではなぜ民主化が進まないのか。石油は政治、経済、社会にいかなる影響を及ぼすのか。その深刻さを「石油の呪い」という普遍的な現象として分析可能であることを示し、処方箋を提示する。

日本経済新聞 2017/04/02

2017:2./ 343p
978-4-905497-49-3
本体 ¥3,600+税



総合商社～その「強さ」と、日本企業の「次」を探る～(祥伝社新書 498)

田中 隆之 著
祥伝社

なぜ日本にだけ存在するのか。なぜ生き残ることができたのか。そして、どこへ向かうのか。総合商社の近年の大変化、歴史、特殊性を解説し、その行方を論じる。経済の大きな流れを捉え、ビジネス環境の変化への対処を探る書。

日本経済新聞 2017/04/02

2017:3./ 273p
978-4-396-11498-5
本体 ¥820+税



へるん先生の汽車旅行～小泉八雲と不思議の国・日本～(集英社文庫 あ 79-1)

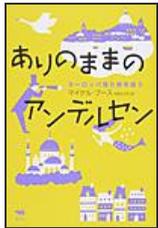
芦原 伸 著
集英社

『怪談』で知られる小泉八雲こと、ラフカディオ・ハーン。貧しく、職を求めてイギリスからアメリカ、そして日本へ。ハーンの軌跡をたどりながら、彼が魅了された日本精神の根源を探る。(解説/池内紀)

日本経済新聞 2017/04/02

2017:3./ 286p
978-4-08-745558-8
本体 ¥600+税





ありのままのアンデルセン～ヨーロッパ独り旅を追う～

マイケル・ブース、寺西 のぶ子 著

晶文社

アンデルセンの生き方に興味を持った著者は、日記や手紙を手がかりにして、アンデルセンを追体験するヨーロッパ縦断の旅に出る…。世界で最も愛される童話作家の知られざる心情を丹念に追った旅行記。

2017:3./ 501p

978-4-7949-6950-7

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2017/04/02



ぼくの死体をよろしくたのむ

川上 弘美 著

小学館

彼の筋肉の美しさに恋をした<わたし>、魔法を使う子供、猫にさらわれた<小さい人>…。恋愛小説から SF まで、ジャンル分け不能な、奇妙で愛しい物語全 18 篇を収録。『クウネル』『つるとはな』等掲載を書籍化。

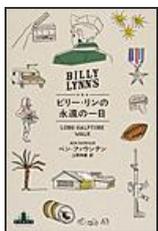
2017:2./ 251p

978-4-09-386455-8

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2017/04/02、産経新聞 2017/04/16、読売新聞 2017/04/23



ビリー・リンの永遠の一日 (CREST BOOKS)

ベン・ファウンテン、上岡 伸雄 著

新潮社

イラクから帰還した 8 人の兵士。彼らは戦意昂揚のショーに駆り出され、スポットライトを浴びる。時折甦る戦場での記憶と愚かな狂騒の、その途方もない隔絶-。21 世紀アメリカの姿を 19 歳の兵士の視点でダイナミックに描く。

2017:1./ 411p

978-4-10-590134-9

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2017/04/02、産経新聞 2017/04/23



サイコパス (文春新書 1094)

中野 信子 著

文藝春秋

とんでもない犯罪を平然と遂行する、ウソがバレても、むしろ自分が被害者であるかのようにふるまう…。そんなサイコパスの脳の謎が脳科学の急速な進歩で明らかになってきた。脳と人類の進化に隠されたミステリーに迫る。

2016:11./ 232p

978-4-16-661094-5

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2017/04/02、朝日新聞 2017/04/23



「原因と結果」の経済学～データから真実を見抜く思考法～

中室 牧子、津川 友介 著

ダイヤモンド社

因果推論を知れば、根拠のない通説にだまされなくなる! 「因果推論」の根底にある考えかたをわかりやすく説明。また、因果推論とデータを用いた経済学の研究結果を紹介し、その解釈=読み解きかたについても解説する。

2017:2./ 204p

978-4-478-03947-2

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/04/02、毎日新聞 2017/04/16



僕たちが何者でもなかった頃の話をして (文春新書 1118)

山中 伸弥、羽生 善治、是枝 裕和、山極 壽一、永田 和宏 著

文藝春秋

どんな偉大な人にも、悩み、失敗を重ねた挫折の時があった。彼らの背中を押してチャレンジさせたものは何だったのか。山中伸弥、羽生善治らの講演と対談を収録する。京都産業大学の講演会を書籍化。

2017:2./ 204p

978-4-16-661118-8

本体 ¥700+税



日本経済新聞 2017/04/02、毎日新聞 2017/04/23



当世書生気質 改版(岩波文庫 緑 4-2)

坪内 逍遙 著
岩波書店

学生小町田繁爾と芸妓田の次とのロマンス、吉原の遊廓、牛鍋屋—明治 10 年代の東京の学生生活と社会風俗を描いた日本近代文学の先駆的作品。

日本経済新聞 2017/04/09

2006:4./ 321p
978-4-00-310042-4

本体 ¥700+税



* 9 7 8 4 0 0 3 1 0 0 4 2 4 *



日本の行政～活動型官僚制の変貌～(中公新書)

村松 岐夫 著
中央公論新社
0

日本経済新聞 2017/04/09

1999:5./ 258p

978-4-12-101179-4

本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 1 2 1 0 1 1 7 9 4 *



吉野葛・蘆刈 改版(岩波文庫 緑 55-3)

谷崎潤一郎 著
岩波書店

終生のテーマである母性思慕の情感が、吉野の風物や伝説と溶けあい、清冽な抒情性をたたえた名作「吉野葛」は、谷崎の「第二の出发点」となったもので、谷崎中期の傑作である。

日本経済新聞 2017/04/09

1986:6./ 172p

978-4-00-310553-5

本体 ¥460+税



* 9 7 8 4 0 0 3 1 0 5 5 3 5 *



市民を雇わない国家～日本が公務員の少ない国へと至った道～

前田 健太郎 著
東京大学出版会

なぜ日本の公務員数は他の先進国に比べて少ないのか。日本の公務員制度、特に人事院勧告を中心とする給与制度に注目しつつ、経済発展の早い段階で行政改革を開始し、その増加に歯止めをかけた結果であることを明らかにする。

日本経済新聞 2017/04/09

2014:9./ 4p,306p

978-4-13-030160-2

本体 ¥5,800+税



* 9 7 8 4 1 3 0 3 0 1 6 0 2 *



流しの公務員の冒険～霞が関から現場への旅～

山田 朝夫 著
時事通信出版局

「流しの公務員」になることを目指して現場に飛び出した元官僚の「仕事をめぐる冒険」の旅の記録。「死人病院」と陰口をたたかれた市民病院の再生、霞が関での日々などを綴り、「仕事とは何か?」について考える。

日本経済新聞 2017/04/09

2016:11./ 292p

978-4-7887-1492-2

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 7 8 8 7 1 4 9 2 2 *



カリスマフード～肉・乳・米と日本人～

畑中 三応子 著
春秋社

明治維新から 150 年の間に、日本の食生活は激変した。ときに奇跡の妙薬として特別なパワーを付与され、国の政策とも深くかかわってきた、肉・牛乳・米といった「カリスマフード」の受容のドラマから、近現代史をたどる。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:1./ 294p

978-4-393-75124-4

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 3 9 3 7 5 1 2 4 4 *



同一労働同一賃金の衝撃～「働き方改革」のカギを握る新ルール～

山田 久 著

日本経済新聞出版社

「同一労働同一賃金」というルールにかかわる諸問題を、歴史的な経緯や欧州諸国での実態を踏まえ、多角的な視点から解説する。「同一労働同一賃金ガイドライン案」についても説明し、日本企業が取り組むべき課題を示す。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:2./ 8p,237p

978-4-532-32129-1

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 5 3 2 3 2 1 2 9 1 *



「月給 100 円サラリーマン」の時代～戦前日本の<普通>の生活～(ちくま文庫 い91-1)

岩瀬 彰 著

筑摩書房

物価・学歴・女性の立場―。豊富な資料と具体的なイメージを通して戦前日本の「普通の人」の生活感覚を明らかにする。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:2./ 297p

978-4-480-43426-5

本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 4 2 6 5 *



ミャンマー権力闘争～アウンサンスーチー、新政権の攻防～

藤川 大樹、大橋 洋一郎 著

KADOKAWA

ミャンマーで、ノーベル平和賞受賞者のアウンサンスーチーが実権を握る新政権が誕生した。日本、英国、ミャンマーで彼女の知人や友人を訪ね、知られざる素顔に迫り、国軍との「権力闘争」の行方を占う。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:2./ 219p

978-4-04-104832-0

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 0 4 1 0 4 8 3 2 0 *



二つの政権交代～政策は変わったのか～

竹中 治堅 編

勁草書房

2009年と2012年の二つの政権交代は、政策の内容やその決定過程にどんな影響を及ぼしたのか? 農業、電力・エネルギー、税制、防衛など8つの政策を精査し、民主党政権の意外な成果や日本政治の大きな変貌を明かす。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:2./ 6p,292p,2p

978-4-326-35170-1

本体 ¥3,300+税



* 9 7 8 4 3 2 6 3 5 1 7 0 1 *



戦国武将のカルテ(角川ソフィア文庫 I140-1)

篠田 達明 著

KADOKAWA

ADHDの信長、消化器系の癌だった秀吉、メタボ体型で健康オタクの家康…。健康状態や精神状態を中心に、戦国武将を現代医学で診断。病歴・死因・死生観等を、盛りだくさんのエピソードを交えて綴る。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:2./ 268p

978-4-04-400221-3

本体 ¥880+税



* 9 7 8 4 0 4 4 0 0 2 2 1 3 *



コンスタンツェ・モーツァルト～「悪妻」伝説の虚実～(講談社選書メチエ 644)

小宮 正安 著

講談社

なぜ彼女はヨーロッパからみれば遙か東の島国においてさえ「悪妻」というレッテルを貼られるようになったのか。モーツァルトの妻コンスタンツェに関する受容史を探り、人間の抱える複雑な羨望と嫉妬を解き明かす。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:3./ 318p

978-4-06-258647-4

本体 ¥1,850+税



* 9 7 8 4 0 6 2 5 8 6 4 7 4 *



世界まるごとギョーザの旅(かもめの本棚)

久保 えーじ 著
東海大学出版部

旅先で出会った感動の味を再現した“旅のメニュー”を提供する「旅の食堂とら亭」。店を営む久保さん夫婦による、個性豊かな世界のギョーザをめぐる旅と食をまとめる。WEB マガジン『かもめの本棚』連載を加筆。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:2./ 252p
978-4-486-03902-0
本体 ¥1,800+税



フジタの白鳥～画家藤田嗣治の舞台美術～

佐野 勝也 著
新宿書房

画家・藤田嗣治の知られざる舞台美術の世界-。日本人による初めての「白鳥の湖」全幕上演で藤田が手掛けた舞台美術を中心に、1947年「王朝」など、彼の舞台美術9作品に関する調査研究結果を紹介する。図版も多数収録。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:1./ 427p
978-4-88008-465-7
本体 ¥3,000+税



珍奇な昆虫～オールカラー版～(光文社新書 867)

山口 進 著
光文社

「ジャポニカ学習帳」の表紙写真を40年以上撮り続けてきたカメラマンが、世界中で出会った昆虫のお宝写真を一挙披露。一生を巣の中で過ごすチョウ、潜水して獲物を狩るアリなど、奇妙で面白い昆虫たちをオールカラーで紹介。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:2./ 290p
978-4-334-03970-7
本体 ¥1,000+税



愛之助日和

片岡 愛之助、坂東 亜矢子 編
片岡 愛之助 著
光文社

フツの小学生が歌舞伎の座頭を勤めるまで、「金融庁・黒崎駿一」のエピソード、そして結婚…。全国的な知名度を得て、「歌舞伎界の次代を担う一人」と言われる存在となった六代目片岡愛之助。その素顔に迫る自伝エッセイ。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:2./ 175p
978-4-334-97849-5
本体 ¥1,400+税



文芸翻訳入門～言葉を紡ぎ直す人たち、世界を紡ぎ直す言葉たち～(Next Creator Book)

藤井 光 編
フィルムアート社

「翻訳がうまい」ってどういうこと?翻訳を始めたばかりの人、海外文学をもっと楽しみたい人に向けた文芸翻訳の入門書。翻訳を心から愛する人たちの、翻訳のことばと向き合う真剣な言葉が満載。翻訳家への12の質問も収録。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:3./ 276p
978-4-8459-1618-4
本体 ¥1,800+税



ROE 経営と見えない価値～高付加価値経営をめざして～

柳 良平、兵庫 真一郎、本多 克行 著
中央経済社

ROE による経済的価値創造と、企業の社会的責任を認識した社会的価値創造は、これからの経営の両輪。TOTO、オリエンタルランド、旭化成などのケースを掘り下げ、高付加価値経営の具体的なすがたを描き出す。

日本経済新聞 2017/04/09

2017:3./ 5p,5p,222p
978-4-502-21871-2
本体 ¥2,600+税





独りじゃダメなの～中国女性 26 人の言い分～

呉 淑平 著
論創社

「結婚しない女は半人前」「結婚しない娘は親不孝者」そんな風潮のなかで生きる中国の独身女性 26 人へのインタビュー集。現代中国社会の心理や家庭問題、社会問題もクローズアップした鮮烈なドキュメンタリー。

2017:3./ 285p
978-4-8460-1588-6
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2017/04/09



系外惑星と太陽系(岩波新書 新赤版 1648)

井田 茂 著
岩波書店

天文学の革命的な進展により、いまや太陽系外に数千個もの惑星が発見されている。その姿は、太陽系とは何か、地球とは何かという根本的な問いへとわれわれを誘う。系外惑星研究の現在と、その面白さを伝える。

2017:2./ 17p,200p
978-4-00-431648-0
本体 ¥820+税



日本経済新聞 2017/04/09、朝日新聞 2017/04/23



神田神保町書肆街考～世界遺産的“本の街”の誕生から現在まで～

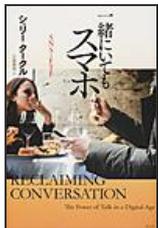
鹿島 茂 著
筑摩書房

世界でも類例のない古書店街・神田神保町。その誕生から現在までの栄枯盛衰を、地理と歴史を縦横無尽に遊歩して鮮やかに描き出す。

2017:2./ 556p,6p
978-4-480-81532-3
本体 ¥4,200+税



日本経済新聞 2017/04/09、読売新聞 2017/04/16



一緒にいてもスマホ～SNS と FTF～

シェリー・タークル、日暮 雅通 著
青土社

親子、友人、恋人同士の関係性に大きな変化をもたらしつつあるスマートフォン。家庭・学校・職場で起きている問題をインタビューをもとに分析し、便利さと引き換えに失ったもの、それを取り戻す方法を提言する。

2017:2./ 515p
978-4-7917-6969-8
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2017/04/15



虹色のトロツキー<1>(中公文庫)

安彦 良和 著
中央公論新社

日本軍の政治的陰謀うずまく昭和十年代の旧満州。日蒙二世の若者が、日本人と蒙古人の間に立ち、煩悶しながら激動の地、中国大陸を生き抜いていく。

2000:3./ 251p
978-4-12-203624-6
本体 ¥629+税



日本経済新聞 2017/04/16



虹色のトロツキー<3>(中公文庫)

安彦 良和 著
中央公論新社

「ソ連反主流派の哲人トロツキーを満州に招く」という石原らの計画を阻止するため、ソ連と結託した在満ユダヤ人民会は、女スパイに密命を下した。

2000:4./ 252p
978-4-12-203640-6
本体 ¥629+税



日本経済新聞 2017/04/16

**虹色のトロツキー<4>(中公文庫)**安彦 良和 著
中央公論新社

「満州国を独立した国家に造り変えたい」という理想を追い、抗日聯軍の小隊を率いるウムボルト。日本人でも蒙古人でもない満州国人確立を目指す。

日本経済新聞 2017/04/16

2000:5./ 249p
978-4-12-203657-4

本体 ¥629+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 3 6 5 7 4 *

**虹色のトロツキー<5>(中公文庫)**安彦 良和 著
中央公論新社

大連特務機関長で、ユダヤ人問題の専門家、安江仙弘大佐の世話で、ウムボルトは満州国軍の中でも特異な蒙古人だけの部隊、興安軍の将校となる。

日本経済新聞 2017/04/16

2000:6./ 246p
978-4-12-203674-1

本体 ¥629+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 3 6 7 4 1 *

**虹色のトロツキー<6>(中公文庫)**安彦 良和 著
中央公論新社

安江大佐の密命を帯び、麻薬やギャンブルなどで賑わう魔都、上海に上陸するウムボルト。昭和十年代を生きた要人・怪人が続々と登場!

日本経済新聞 2017/04/16

2000:7./ 251p
978-4-12-203689-5

本体 ¥629+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 3 6 8 9 5 *

**虹色のトロツキー<7>(中公文庫)**安彦 良和 著
中央公論新社

満蒙の国境紛争「ノモンハン事件」に、満軍ウムボルト少尉指揮下の蒙古少年隊は、日本軍の盾として最前線に送られソ連軍最新兵器の前に苦戦する。

日本経済新聞 2017/04/16

2000:8./ 244p
978-4-12-203706-9

本体 ¥629+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 3 7 0 6 9 *

**虹色のトロツキー<8>(中公文庫)**安彦 良和 著
中央公論新社

ウムボルトはノモンハンで麗花と再会を果たし、前線にとどまることを決意するが、両親の死の真相を知らされ……。アドベンチャーロマン、堂々完結!

日本経済新聞 2017/04/16

2000:9./ 284p
978-4-12-203722-9

本体 ¥629+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 3 7 2 2 9 *

**マネジメント～基本と原則～ エッセンシャル版**P.F.ドラッカー 著
ダイヤモンド社

ドラッカー経営学の集大成を凝縮。指針とすべき役割・責任・行動を示し、新しい目的意識と使命感を与える書。1975年刊「抄訳マネジメント」を改訂改題して新たに論文を加えたエッセンシャル版。

日本経済新聞 2017/04/16

2001:12./ 302p
978-4-478-41023-3

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 4 7 8 4 1 0 2 3 3 *



運を天に任すなんて～人間・中山素平～(新潮文庫)

城山 三郎 著
新潮社
0

日本経済新聞 2017/04/16

2003:3./ 236p
978-4-10-113327-0
本体 ¥400+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 3 3 2 7 0 *



王陽明～知識偏重を拒絶した人生と学問～(PHP 文庫)

安岡 正篤 著
PHP研究所
東洋思想史に大きな影響を与えた王陽明とその哲学を、わが国における陽明学研究の第一人者であった著者が容易に語ったシリーズ最終巻。

日本経済新聞 2017/04/16

2006:1./ 204p
978-4-569-66566-5
本体 ¥571+税



* 9 7 8 4 5 6 9 6 6 5 6 6 5 *



原子炉の蟹(講談社文庫)

長井彬 著
講談社
巨大な密室、原子力発電所で起こる連続殺人原子炉で多量の放射能を被曝した死体が、ドラム缶詰めで処分されたという噂を新聞記者たちは追うが事件は不気味な「サルカニ合戦」の筋立てで進む。乱歩賞受賞作。

日本経済新聞 2017/04/16

1984:8./ 375p
978-4-06-183310-4
本体 ¥524+税



* 9 7 8 4 0 6 1 8 3 3 1 0 4 *



落日燃ゆ(新潮文庫)

城山 三郎 著
新潮社
東京裁判で絞首刑を宣告された 7 人の A 級戦犯のうち、ただ 1 人の文官であった元総理、外相広田弘毅。刑を従容として受け入れ一切の弁解をしなかった広田の生涯を、激動の昭和史と重ねながら抑制した筆致で克明にたどる。

日本経済新聞 2017/04/16

1986:11./ 392p
978-4-10-113318-8
本体 ¥710+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 3 3 1 8 8 *



粗にして野だが卑ではない～石田礼助の生涯～(文春文庫)

城山 三郎 著
文芸春秋
三井物産に 35 年在職し、78 歳で財界から初めて国鉄総裁になった“ヤング・ソルジャー”。明治の硬骨漢の堂々たる人生を描く。

日本経済新聞 2017/04/16

1992:6./ 254p
978-4-16-713918-6
本体 ¥510+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 3 9 1 8 6 *



経営の行動指針～土光語録～ 新訂

土光敏夫、本郷孝信 著
産業能率大学出版部
40 万部(昭和 45 年刊)突破の超ロングセラーで不朽の名著の改訂新版。著者の側近くにあった編著が、秘蔵されていた新語録の公開と、語録解説の改訂を実施。混迷の現代に血肉となる名言の数々。

日本経済新聞 2017/04/16

1996:3./ 201p
978-4-382-05337-3
本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 3 8 2 0 5 3 3 7 3 *



ビッグボーイの生涯～五島昇その人～(講談社文庫)

城山 三郎 著
講談社

昇ほど「休戦の価値」「休戦の美学」を知った男は少なかったのではないでしょう
か。彼は人生に4期ありとしましたが、大いに休んだおかげで、人生を4倍に生き
たともいえます。大きく休み、大きく生きた男の人生評伝。

1997:5./ 243p
978-4-06-263511-0
本体 ¥429+税



日本経済新聞 2017/04/16



もう、きみには頼まない～石坂泰三の世界～(文春文庫)

城山 三郎 著
文芸春秋

第一生命、東芝社長を歴任、昭和31年～43年、経団連会長を務め、高度成長
期の経済界をリードした“財政総理”石坂泰三を描く長篇。

1998:6./ 333p
978-4-16-713923-0
本体 ¥550+税



日本経済新聞 2017/04/16



竜馬がゆく<1>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1998:9./ 446p
978-4-16-710567-9
本体 ¥650+税



竜馬がゆく<2>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1998:9./ 441p
978-4-16-710568-6
本体 ¥650+税



竜馬がゆく<3>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1998:9./ 430p
978-4-16-710569-3
本体 ¥650+税



竜馬がゆく<4>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1998:9./ 425p
978-4-16-710570-9
本体 ¥650+税



竜馬がゆく<5>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1998:10./ 430p
978-4-16-710571-6
本体 ¥650+税



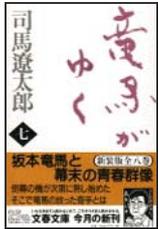


竜馬がゆく<6>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1998:10./ 437p
978-4-16-710572-3
本体 ¥650+税

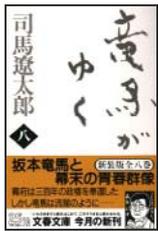


竜馬がゆく<7>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1998:10./ 426p
978-4-16-710573-0
本体 ¥650+税

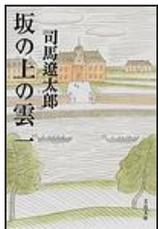


竜馬がゆく<8>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1998:10./ 441p
978-4-16-710574-7
本体 ¥650+税



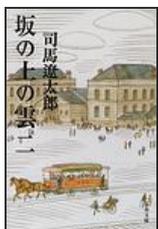
坂の上の雲<1> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋

松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。

日本経済新聞 2017/04/16

1999:1./ 350p
978-4-16-710576-1
本体 ¥650+税



坂の上の雲<2> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋

0

日本経済新聞 2017/04/16

1999:1./ 413p
978-4-16-710577-8
本体 ¥650+税



坂の上の雲<3> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋

0

日本経済新聞 2017/04/16

1999:1./ 361p
978-4-16-710578-5
本体 ¥650+税



坂の上の雲<4> 新装版(文春文庫)

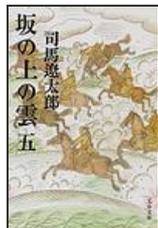
司馬 遼太郎 著
文芸春秋

0

日本経済新聞 2017/04/16

1999:1./ 414p
978-4-16-710579-2
本体 ¥700+税





坂の上の雲<5> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1999:2./ 413p
978-4-16-710580-8
本体 ¥700+税



坂の上の雲<6> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1999:2./ 375p
978-4-16-710581-5
本体 ¥650+税



坂の上の雲<7> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1999:2./ 365p
978-4-16-710582-2
本体 ¥650+税



坂の上の雲<8> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
0

日本経済新聞 2017/04/16

1999:2./ 397p
978-4-16-710583-9
本体 ¥700+税



指導者とは(文春学藝ライブラリー)

リチャード・ニクソン、徳岡 孝夫 著
文芸春秋

栄光と挫折を体現した米大統領だから洞察しえたリーダーの本質。チャーチル、マッカーサーに吉田茂...20世紀の巨星達の実像に迫る。

日本経済新聞 2017/04/16

2013:12./ 473p
978-4-16-813009-0
本体 ¥1,660+税



東京の下町 新装版(文春文庫 よ1-55)

吉村 昭 著
文芸春秋

昭和2年生まれ、著者が幼少年期を過ごした大都会の中、ふるさと、東京・日暮里。食べ物、遊び、そして空襲...。戦前の庶民の姿を生き活きと描き、生活史の貴重な記録ともなった名エッセイ集。

日本経済新聞 2017/04/16

2017:3./ 298p
978-4-16-790823-2
本体 ¥770+税



1984年の歌謡曲(イースト新書 080)

スージー鈴木 著
イースト・プレス

<東京化>する日本の大衆音楽=シティ・ポップが誕生した1984年。この年に発売された楽曲を紹介し、音楽シーンの特殊性と魅力に迫る。「1979年の歌謡曲」の続編。『水道橋博士のメルマ旬報』連載を単行本化。

日本経済新聞 2017/04/16

2017:2./ 279p
978-4-7816-5080-7
本体 ¥907+税





国ゆたかにして義を忘れ(河出文庫 い28-4)

井上 ひさし、つか こうへい 著
河出書房新社

劇作家、作家など、社会に疑問を投げかけ続けてきた 2 人が、演劇、国家、金、家族など、さまざまなテーマを大いに語った対談集。

日本経済新聞 2017/04/16

2017:4./ 216p
978-4-309-41516-1
本体 ¥640+税



王道の狗<1>(中公文庫 Cや3-30)

安彦 良和 著
中央公論新社

明治時代中期、北海道開拓に使役させられていた若い囚人二人は脱獄し、それぞれの道を歩み始めた……。壮大なスケールで描く歴史長篇!

日本経済新聞 2017/04/16、読売新聞 2017/04/23

2014:9./ 321p
978-4-12-206016-6
本体 ¥720+税



あきれた紳士の国イギリス~ロンドンで専業主夫をやってみた~(平凡社新書840)

加藤 雅之 著
平凡社

著者が妻のロンドン転勤に伴い通信社を辞め、家事と小学生の娘の世話に専念することに。そこで見えてきた「紳士の国」の素顔とは。

日本経済新聞 2017/04/16、読売新聞 2017/04/23

2017:3./ 239p
978-4-582-85840-2
本体 ¥800+税



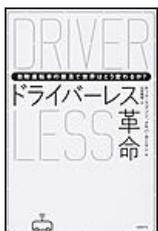
原点~戦争を描く、人間を描く~

安彦 良和、斉藤 光政 著
岩波書店

学生運動に投じた青年期、アニメ作家としての出発とマンガ家への転身...。「アリオン」「機動戦士ガンダム」など、独自の世界を切り拓いた安彦良和の軌跡を辿り、作品を貫く思想の原点に迫る。『東奥日報』連載を基に単行本化。

日本経済新聞 2017/04/16、読売新聞 2017/04/23

2017:3./ 18p,343p,4p
978-4-00-061192-3
本体 ¥1,800+税



ドライバーレス革命~自動運転車の普及で世界はどう変わるか?~

ホッド・リップソン、メルバ・カーマン 著
日経BP社

自動運転車が走り始めるのはいつ? 実用化を阻んでいるのは何? 車が知能を持つ輸送ロボットにどのように変わっていくかを解説。過去 60 年近くに及ぶ自動運転の失敗の歴史や、最新のテクノロジーについても論じる。

日本経済新聞 2017/04/16、読売新聞 2017/04/23

2017:2./ 449p
978-4-8222-5195-6
本体 ¥2,000+税



おくのほそ道(三弥井古典文庫)

松尾 芭蕉、鈴木 健一、櫻片 真王、倉島 利仁 著
三弥井書店

「おくのほそ道」を鑑賞する際の助けとなる情報を提供。本文、頭注、通釈、鑑賞について記し、附録として解説、参考文献一覧、発句索引(季語一覧)、景物一覧、人名・地名・寺社名索引、旅程図を掲載。

日本経済新聞 2017/04/23

2007:6./ 189p
978-4-8382-7057-6
本体 ¥1,600+税





音楽紀行(中公文庫)

吉田秀和 著
中央公論新社
0

日本経済新聞 2017/04/23

1993:4./ 412p
978-4-12-201990-4
本体 ¥718+税



梨の花(岩波文庫 緑 83-3)

中野重治 著
岩波書店
誰しも幼い時の記憶はある。が作者のそれは格別のものだ。読者はその克明な描写と温もりある越前の言葉づかいによって、良平少年とともに北陸の田舎にいることに気づく。

日本経済新聞 2017/04/23

1985:4./ 479p
978-4-00-310833-8
本体 ¥940+税



現代アート経済学(光文社新書 701)

宮津 大輔 著
光文社
アートフェアやオークションに代表される経済活動や、大規模国際展を始めとする地域の文化振興策といった様々な事象を通して、アートの存在意義や社会に対する影響力を、経済的、政治的な視点で紐解く。

日本経済新聞 2017/04/23

2014:6./ 245p
978-4-334-03805-2
本体 ¥800+税



現代語訳東海道中膝栗毛<上>(岩波現代文庫)

十返舎 一九 著
岩波書店
遊び人弥次郎兵衛と、その食客北八の江戸っ子 2 人組が、借金取りから逃れるため、東海道を辿る旅に出る。江戸期のベストセラーを原作のリズムを伝える現代語訳で収録。上は、江戸から桑名までの旅路を収める。

日本経済新聞 2017/04/23

2014:7./ 11p,284p
978-4-00-602242-6
本体 ¥980+税



現代語訳東海道中膝栗毛<下>(岩波現代文庫)

十返舎 一九 著
岩波書店
遊び人弥次郎兵衛と、その食客北八の江戸っ子 2 人組が、借金取りから逃れるため、東海道を辿る旅に出る。江戸期のベストセラーを原作のリズムを伝える現代語訳で収録。下は、桑名から京都までの旅路を収める。

日本経済新聞 2017/04/23

2014:8./ 9p,287p
978-4-00-602243-3
本体 ¥980+税



海底軍艦～海島冒険奇譚～(リプリント日本近代文学 249)

押川春浪 著
平凡社
0

日本経済新聞 2017/04/23

2015:1./ 414p
978-4-256-90249-3
本体 ¥4,900+税





巨大化する現代アートビジネス

ダニエル・グラネ、カトリーヌ・ラムール 著

紀伊國屋書店出版部

現代アートの落札額は高値を更新し続けている。アート市場の経済的成り立ちや、見えざる“システム”を、関係者への取材を重ねて丁寧に繙き、“アートの現場”に果敢に斬りこむノンフィクション。

日本経済新聞 2017/04/23

2015:7./ 319p

978-4-314-01130-3

本体 ¥2,100+税



ヨイ豊

梶 よう子 著

講談社

黒船来航から 12 年。豊国が亡くなって、歌川を誰が率いるのか。ひと回り歳が違う兄弟弟子の清太郎と八十八は、尊王攘夷の波が押し寄せせる不穏な江戸で、一門を、浮世絵を守り抜こうとする。浮世絵の終焉を描く歴史長編。

日本経済新聞 2017/04/23

2015:10./ 363p

978-4-06-219776-2

本体 ¥1,800+税



メガロポリス～空から宇宙人がやってきた!～

クレア・デュドネ 著

NHK出版

旅人みんなのあこがれの大都市・メガロポリスに宇宙人がやってきた!ページを下にめくると物語が現れる、楽しくおかしなファンタジーストーリー。フランス発 3.7メートルの絵巻風しかけ絵本。

日本経済新聞 2017/04/23

2016:2./ 32p

978-4-14-036122-1

本体 ¥2,000+税



巨大アートビジネスの裏側～誰がムンクの「叫び」を 96 億円で落札したのか～ (文春新書 1079)

石坂 泰章 著

文藝春秋

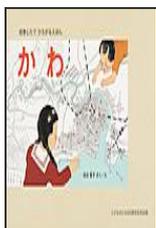
巨大化し続けるアート市場、大型コレクションを巡る熾烈な競争-。価格が高騰する作品は何が違うのか? 華麗なるセレブたちがしのぎを削る虚々実々の舞台裏を、サザビーズジャパン前社長が明かす。

日本経済新聞 2017/04/23

2016:5./ 251p

978-4-16-661079-2

本体 ¥830+税



かわ～絵巻じたてひろがるえほん～

福音館書店

折りたたまれたページを広げると約 7m。源流から海までの川の旅が一望できる、背表紙のない折本仕立ての絵本。表面は色々な発見ができるよう文字なし、裏面は川の流れの変化がきわだつ黒と水色の 2 色印刷で二通り楽しめる。

日本経済新聞 2017/04/23

2016:9./ 58p

978-4-8340-8271-5

本体 ¥3,000+税



おおきななぶ～ロシアのむかしばなし～(Big Book 02)

青幻舎

本の中に存在するものたちがどんなに大きくて、おもしろく、不思議なのか、物語のスケールを感じることでできるまったく新しい体験型の絵本です。

日本経済新聞 2017/04/23

2016:11./ 1 枚

978-4-86152-583-4

本体 ¥1,800+税





うらしまたろう～にほんのおとぎばなし～(Big Book 01)

青幻舎

本の中に存在するものたちがどんなに大きくて、おもしろく、不思議なのか、物語のスケールを感じることでできるまったく新しい体験型の絵本です。

日本経済新聞 2017/04/23

2016:11./ 1枚

978-4-86152-582-7

本体 ¥1,800+税



挑発する写真史

金村 修、タカザワ ケンジ 著

平凡社

写真や写真家の歴史とその意義、そして現代写真のこれからについて、最前線で活躍する写真家と批評家が余すところなく語り尽くす。

日本経済新聞 2017/04/23

2017:2./ 365p

978-4-582-23127-4

本体 ¥2,300+税



ルポ トランプ王国～もう一つのアメリカに行く～(岩波新書 新赤版 1644)

金成 隆一 著

岩波書店

アパラチア山脈を越えると状況が一変した。トランプを支持する人々がいた。山あいのバー、ダイナー、床屋、時には自宅に上がり込んで聴いた、将来を案ずる勤勉な人たちの声を通して、もう一つのアメリカを紹介する。

日本経済新聞 2017/04/23

2017:2./ 11p,265p

978-4-00-431644-2

本体 ¥860+税



皇室がなくなる日～「生前退位」が突きつける皇位継承の危機～(新潮選書)

笠原 英彦 著

新潮社

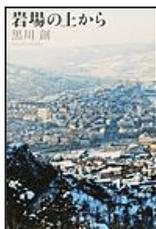
陛下が投げかけた「生前退位」の意向。何が本当に問題なのか? 有識者会議のヒアリング対象者である著者が、神話の時代から近世、現代まで歴史をひもとき、今一度、原点に立ち返って、その存在意義を徹底的に問う。

日本経済新聞 2017/04/23

2017:2./ 286p

978-4-10-603796-2

本体 ¥1,300+税



岩場の上から

黒川 創 著

新潮社

2045年、核燃料最終処分場造成が噂される町。そこに聳える伝説の奇岩。17歳の少年と町の人びとを中心に、<戦後百年>の視点から日本の現在と未来を射抜く壮大な長篇小説。『新潮』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2017/04/23

2017:2./ 428p

978-4-10-444408-3

本体 ¥2,500+税



<ポスト・トゥルース>アメリカの誕生～ウェブにハックされた大統領選～

池田 純一 著

青土社

今や世界に浸透したウェブは、政権奪取や内政干渉のあり方まで示してしまった。2016年アメリカ大統領戦という世界を揺るがす大事件の推移を追った記録。『WIRED.jp』連載を加筆、修正。

日本経済新聞 2017/04/23

2017:2./ 347p

978-4-7917-6972-8

本体 ¥1,800+税





その他の外国語エトセトラ(ちくま文庫 く26-2)

黒田 龍之助 著
筑摩書房

英語、独語などメジャーな言語ではないけれど、世界のどこかで使われている外国語。それにまつわる面白いけど役に立たないエッセイ集。解説 菊池良生

日本経済新聞 2017/04/23

2017:3./ 398p
978-4-480-43402-9
本体 ¥880+税



日本人のシンガポール体験～幕末明治から日本占領下・戦後まで～

西原 大輔 著
人文書院

日本人はどう南洋都市シンガポールをみつめ表象してきたのか。幕末から明治、戦後まで、日本人が旅行記に記録し、絵画に描き、文学の舞台とし、音楽や映画の題材としたシンガポールのイメージを論じる。

日本経済新聞 2017/04/23

2017:3./ 310p
978-4-409-51074-2
本体 ¥3,800+税



ギリシャ危機と揺らぐ欧州民主主義～緊縮政策がもたらす EU の亀裂～

尾上 修悟 著
明石書店

「民主主義的な欧州建設」を取り戻すための道とは。反緊縮と反権力の運動が吹き荒れる欧州情勢を予告していたかのようなギリシャの経済・社会・政治危機を精緻に分析し、欧州の統合と民主主義の真のあり方を問う。

日本経済新聞 2017/04/23

2017:3./ 352p
978-4-7503-4483-6
本体 ¥2,800+税



グローバル・イスラーム金融論

吉田 悦章 著
ナカニシヤ出版

グローバル化・高度化を続けるイスラーム金融を実証的に分析。発展史から地域的特性、金融商品の内容、イスラーム法との関係まで。

日本経済新聞 2017/04/23

2017:2./ 4p,214p
978-4-7795-1119-6
本体 ¥4,200+税



演奏史譚 1954/55～クラシック音楽の黄金の日々～

山崎 浩太郎 著
アルファベータブックス

ステレオ・レコード黄金時代前夜の 1954 年?55 年。冷戦下の欧米や共産圏を旅した音楽評論家の吉田秀和、山根銀二は何をみて、きいたのか。音楽界が最も熱かった激動の 2 年間を描く。ディスク・ガイドも掲載。

日本経済新聞 2017/04/23

2017:3./ 422p
978-4-86598-029-5
本体 ¥3,200+税



恋するディズニー 別れるディズニー(新潮文庫 ほ-20-6)

堀井 憲一郎 著
新潮社

「ディズニーランドでデートすると別れる」という、若者の間でささやかれている噂は本当なのか。長期間にわたる某大某サークル内カップルの観察結果、すいている時期や曜日、乗りものやショーの仲よくなるまわり方等を大公開。

日本経済新聞 2017/04/23

2017:4./ 206p
978-4-10-134676-2
本体 ¥460+税





「お金」で読み解く世界史(SB新書 388)

関 眞興 著
SBクリエイティブ

人類は「お金」を原因に道徳的・政治的・宗教的な争いを引き起こしてきた。これまで政治や戦争を軸に語られがちだった世界史を「お金の流れ」から解説。資本主義社会の始まりまでを俯瞰する。

2017:4./ 239p
978-4-7973-8866-4
本体 ¥800+税



日本経済新聞 2017/04/23



日本経済論講義～ビジネスパーソンへの「たしなみ」としての～

小峰 隆夫 著
日経BP社

景気の読み方から働き方改革、経済政策、財政再建と社会保障、人口減少社会の未来まで、日本経済の正しい知識を図版を用いてわかりやすく解説する。2016年9月に行われた著者の早朝連続セミナーを書籍化。

2017:3./ 237p
978-4-8222-3688-5
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2017/04/23



父と私(B&T ブックス)

田中 眞紀子 著
日刊工業新聞社

娘から見た、政治家・田中角栄とは?田中眞紀子が、父とともに歩んだ 47 年間の濃密な日々を、研ぎ澄まされた感性とクリアな視点でユーモアを交えて活写する。

2017:3./ 305p
978-4-526-07676-3
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/04/23



帝国大学～近代日本のエリート育成装置～(中公新書 2424)

天野 郁夫 著
中央公論新社

今なお大きな存在感を持つ旧七帝大。建学から戦後、国立総合大学に生まれ変わるまでの 70 年間の追い、帝大生の学生生活や、教授たちの研究と組織の体制、予科教育の実情などを豊富なデータに基づき活写する。

2017:3./ 278p
978-4-12-102424-4
本体 ¥860+税



日本経済新聞 2017/04/23



絵(エツ)、6億円が100億円に～美術品の経済的価値を問う～

R・MIURA 著
ギャラリーステーション

東京都現代美術館が6億円で購入したリキテンスタインの代表作は、20年で100億円以上の資産価値になった。経済的な価値に焦点を絞り、美術品、美術館運営、美術業界の在り方を問う。

2017:3./ 181p
978-4-86047-260-3
本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2017/04/23



現代語訳南総里見八犬伝<上>(河出文庫)

曲亭 馬琴、白井 喬二 著
河出書房新社

わが国の伝奇小説中の「白眉」と称される江戸読本の代表作を、やはり伝奇小説家として名高い白井喬二が最も読みやすい名訳で忠実に再現した名著。長大な原文でしか入手できない名作を読める上下巻。

2004:2./ 604p
978-4-309-40709-8
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2017/04/30



現代語訳南総里見八犬伝<下>(河出文庫)

曲亭 馬琴、白井 喬二 著
河出書房新社

わが国の伝奇小説中の「白眉」と称される江戸読本の代表作を、やはり伝奇小説家として名高い白井喬二が最も読みやすい名訳で忠実に再現した名著。長大な原文でしか入手できない名作を読める上下巻。

2004:2./ 609p
978-4-309-40710-4
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2017/04/30



雨月物語〜現代語訳付き〜 改訂版(角川ソフィア文庫)

上田 秋成、鶴月 洋 著
角川学芸出版
0

日本経済新聞 2017/04/30

2006:7./ 366p
978-4-04-401102-4
本体 ¥800+税



完訳水滸伝<1>(岩波文庫 赤 16-1)

吉川 幸次郎、清水 茂 著
岩波書店

武芸十八般の達人や妖術使い等々、108 人の愛すべき豪傑たちが湖水の中の要塞「梁山泊」に拠って、驚天動地の活劇を演じる武勇譚。後半は一転して悲壮な英雄悲劇に一。

日本経済新聞 2017/04/30

1998:10./ 395p
978-4-00-320161-9
本体 ¥800+税



論語(岩波文庫 青 202-1)

孔子、金谷 治 著
岩波書店

古代中国の大古典「四書」のひとつで、孔子とその弟子たちの言行を集録したもの。長年にわたって親しまれてきた岩波文庫版『論語』がさらに読みやすくなった改訂新版。

日本経済新聞 2017/04/30

1999:11./ 406p
978-4-00-332021-1
本体 ¥960+税



不可能

松浦 寿輝 著
講談社

「現在」が亡霊として揺らめいているだけの、時間のない世界。そこに舞い戻ったのは、咽喉元に二筋の癍痕を持つ男。やがて物語は、恍惚の極致へ向かい…。短編連作集。『群像』『新潮』掲載に加筆・訂正して単行本化。

日本経済新聞 2017/04/30

2011:6./ 251p
978-4-06-217028-4
本体 ¥1,800+税



三国志演義<1>(講談社学術文庫 2257)

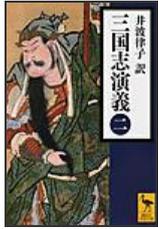
羅 貫中、井波 律子 著
講談社

魏・蜀・呉。戦乱の「三国時代」を描く、中国文学の最高傑作。史実と虚構を巧緻に交錯させ、驚異の物語世界を現出する。1 は、「黄巾の乱」から「官渡の戦い」まで 30 回分を収録。

日本経済新聞 2017/04/30

2014:9./ 700p
978-4-06-292257-9
本体 ¥1,750+税





三国志演義<2>(講談社学術文庫 2258)

羅貫中、井波律子 著
講談社

魏・蜀・呉。戦乱の「三国時代」を描く、中国文学の最高傑作。史実と虚構を巧緻に交錯させ、驚異の物語世界を現出する。2 は、諸葛亮が登場し、物語は佳境へ。「長坂の戦い」「赤壁の戦い」など 30 回分を収録。

日本経済新聞 2017/04/30

2014:10./ 666p
978-4-06-292258-6
本体 ¥1,700+税



三国志演義<3>(講談社学術文庫 2259)

羅貫中、井波律子 著
講談社

魏・蜀・呉。戦乱の「三国時代」を描く、中国文学の最高傑作。史実と虚構を巧緻に交錯させ、驚異の物語世界を現出する。3 は、「関羽戦死」「張飛暗殺」「劉備率いる蜀の大敗」など 30 回分を収録。

日本経済新聞 2017/04/30

2014:11./ 660p
978-4-06-292259-3
本体 ¥1,700+税



三国志演義<4>(講談社学術文庫 2260)

羅貫中 著
講談社

魏・蜀・呉。戦乱の「三国時代」を描く、中国文学の最高傑作。史実と虚構を巧緻に交錯させ、驚異の物語世界を現出する。4 は、諸葛亮の「出師の表」奏上、6 度にわたる魏攻略戦など 30 回分を収録。完結。

日本経済新聞 2017/04/30

2014:12./ 668p
978-4-06-292260-9
本体 ¥1,700+税



佐藤隆三著作集<1> 文化・社会の日米比較

佐藤 隆三 著
日本評論社

国際的な経済学者である氏の代表的な著作を網羅する著作集の第1巻。日米両国を行き来した体験をもとにした日米経済事情を収録。

日本経済新聞 2017/04/30

2016:7./ 11p,654p
978-4-535-06751-6
本体 ¥13,000+税



ルポ希望の人びと～ここまできた認知症の当事者発信～(朝日選書 955)

生井 久美子 著
朝日新聞出版

認知症の本人同士が出会い、つながり、発信する。認知症の常識を変える「当事者の力」! 初の当事者団体誕生の軌跡と最先端の「いま」を伝える、渾身のルポ。『朝日新聞』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

日本経済新聞 2017/04/30

2017:2./ 283p,11p
978-4-02-263055-1
本体 ¥1,500+税



ポスト・ケインズ派経済学～マクロ経済学の革新を求めて～

鍋島 直樹 著
名古屋大学出版会

ミンスキーの金融不安定性仮説など、近年あらためて注目を集めるポスト・ケインズ派。その全体像を描き出す力作。

日本経済新聞 2017/04/30

2017:3./ 6p,344p
978-4-8158-0862-4
本体 ¥5,400+税





存在者 金子兜太

金子 兜太、黒田 杏子 著
藤原書店

俳句界の最長老・金子兜太の作品を、近作を中心に収録するほか、第12回「みなづき賞」受賞記念ライブトークや俳句人生を語ったインタビューなどを集成。金子兜太の俳句に伊東乾が曲を付けた特別CD付き。

日本経済新聞 2017/04/30

2017:3./ 301p 図版
32p

978-4-86578-119-9

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 1 1 9 9 *



評伝森格～日中対立の焦点～

小山 俊樹 著
ウェッジ

「東洋のセシル・ローズ」と称された、政治家・実業家、森格。「東方会議」を主宰し、「満洲国」の建国を支えた森は、中国を舞台に、また政界の闇中に何を見聞きし、何を行ったのか？ その知られざる生涯に迫る。

日本経済新聞 2017/04/30

2017:2./ 451p

978-4-86310-175-3

本体 ¥2,700+税



* 9 7 8 4 8 6 3 1 0 1 7 5 3 *



夢の住家～Sing My Life～

森山 良子 著
世界文化社

自身のルーツ、歌と歩む日々、家族の絆…。2016年にデビュー50周年を迎えた森山良子が、歌い続けてきた「半世紀」とこれからの夢を綴る。森山直太郎との対談、50周年記念のザルツブルクツアーの様子なども収録。

日本経済新聞 2017/04/30

2017:3./ 167p

978-4-418-17503-1

本体 ¥1,667+税



* 9 7 8 4 4 1 8 1 7 5 0 3 1 *



法のデザイン～創造性とイノベーションは法によって加速する～

水野 祐 著
フィルムアート社

音楽、出版、アート、写真、二次創作から不動産、金融、家族、政治まで。クリエイターの自由を守り、表現を加速させる気鋭の弁護士が、アフターインターネット時代の文化を駆動する「リーガルデザイン」という概念を考察する。

日本経済新聞 2017/04/30

2017:2./ 341p

978-4-8459-1605-4

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 8 4 5 9 1 6 0 5 4 *



「誘う」ブランド～脳が無意識に選択する。心に入り込むブランド構築法～

ダリル・ウェーバー 著
ビーエヌエヌ新社

心に入り込むブランド構築法とは。ブランドの本質、そして私たちの心の中におけるブランドのあり方を脳科学の視点から掘り下げ、想像力を必要とするマーケティング担当者がどのようにブランドを育てていくべきかを論じる。

日本経済新聞 2017/04/30

2017:3./ 287p

978-4-8025-1045-5

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 8 0 2 5 1 0 4 5 5 *



日本犬の誕生～純血と選別の日本近代史～

志村 真幸 著
勉誠出版

近代化、国民国家形成、動物保護、戦争…。博物学者・南方熊楠と「日本犬保存会」を設立した平岩米吉との対話を起点に、時代に翻弄され、淵源と純血を求められ続けた犬たちをめぐる言説を辿り、日本近代史の裏側を照らし出す。

日本経済新聞 2017/04/30

2017:3./ 5p,230p,7p

978-4-585-22172-2

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 5 8 5 2 2 1 7 2 2 *



育児は仕事の役に立つ～「ワンオペ育児」から「チーム育児」へ～(光文社新書 874)

浜屋 祐子、中原 淳 著

光文社

残業大国・日本の働き方は、共働き世帯が変えていく。「育児経験がリーダーシップ促進など、ビジネスパーソンに良い影響を与える」という研究を元に、未来の働き方を考える。家庭・仕事・子育てがうまく回るノウハウも満載。

2017:3./ 258p
978-4-334-03977-6

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2017/04/30



中央線をゆく、大人の町歩き～鉄道、地形、歴史、食～(河出文庫 す 12-4)

鈴木 伸子 著

河出書房新社

東京駅から高尾駅まで、街の歴史や鉄道名所、不思議な地形などをめぐりながら、大人ならではのぶらぶら散歩を楽しむ、町歩き案内。

2017:4./ 203p

978-4-309-41528-4

本体 ¥660+税



日本経済新聞 2017/04/30



家訓で読む戦国～組織論から人生哲学まで～(NHK 出版新書 515)

小和田 哲男 著

NHK出版

武将たちが遺した家訓(戦国家法・武辺咄・遺言状)には、乱世を生きるための組織論、リーダー論、勝負論が詰まっている。名将・猛将・知将の言葉から、戦国時代に新たな光を当てると共に、現代人にも通じる成功の秘訣を探る。

2017:4./ 205p

978-4-14-088515-4

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2017/04/30



隠す～アンソロジー～

大崎 梢、加納 朋子、近藤 史恵、篠田 真由美、柴田 よしき、永嶋 恵美、新津 きよみ、福田 和代、松尾 由美、松村 比呂美、光原 百合 著

文藝春秋

恐怖、因縁、苛め、恋愛と老い、引きこもり探偵に芸能人の犯罪。人気作家 11 人が「隠す」をテーマに書き下ろした豪華短編集。

2017:2./ 342p

978-4-16-390597-6

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/04/01



果鋭

黒川 博行 著

幻冬舎

右も左も腐れ狸や-。元刑事の名コンビがマトにかけたのは、パチンコ業界。出玉の遠隔操作、極道顔負けの集金力、警察との癒着…。我欲にまみれた 20 兆円産業の闇を突く。『函館新聞』等掲載を加筆修正。

2017:3./ 450p

978-4-344-03088-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/04/01、東京・中日新聞 2017/04/23



すべて王の臣

ロバート・ペン・ウォーレン 著

白水社

知事に上りつめた政治家と新聞記者の人生が交錯する。「ロスト・ジェネレーション」の陰に隠れたアメリカ南部の実力派作家が描く、「弱さと不完全さ」からの再生。2007 年 4 月公開の映画「オール・ザ・キングスマン」原作。

2007:3./ 542p

978-4-560-02762-2

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/04/02



20世紀英米文学案内<13> シンクレア・ルイス

齋藤 光 編
研究社
0

1990:4./ 250p
978-4-327-13413-6
本体 ¥3,495+税

* 9 7 8 4 3 2 7 1 3 4 1 3 6 *

毎日新聞 2017/04/02



醜い日本の私(角川文庫 な 35-11)

中島 義道 著
KADOKAWA

頭上には電線がとぐろを巻き、街ではスピーカーががなりたてる。美に敏感なはずの国民が、なぜ町中の醜さに鈍感なのか？ 日本の美徳の裏に潜むグロテスクな感情、押し付けがましい「優しさ」に断固として立ち向う。

2016:10./ 186p
978-4-04-104449-0
本体 ¥920+税

* 9 7 8 4 0 4 1 0 4 4 4 9 0 *

毎日新聞 2017/04/02



ワールドシネマ・スタディーズ～世界の「いま」を映画から考えよう～

旦 匡子 編
勉誠出版

21世紀に世界各地で制作された映画から、国境問題、移民の増加と排斥、家族間のコミュニケーション、支援と共生、ジェンダー・ギャップなど、現代社会の抱える問題を考察。公開年・監督・出演者など映画に関する情報も掲載。

2016:9./ 296p
978-4-585-27030-0
本体 ¥2,200+税

* 9 7 8 4 5 8 5 2 7 0 3 0 0 *

毎日新聞 2017/04/02



岩波茂雄文集<1> 1898-1935年

植田 康夫、紅野 謙介、十重田 裕一 編
岩波 茂雄 著
岩波書店

生涯にわたり理想を追い求めた出版人・岩波茂雄の軌跡をたどる。1 は、出版事業の道を歩み始めてのち、夏目漱石との出会い、関東大震災の被害による経営難、岩波文庫の発刊など、創業からおおよそ 20 年間に記された文章を収録。

2017:1./ 15p,420p
978-4-00-027088-5
本体 ¥4,200+税

* 9 7 8 4 0 0 0 2 7 0 8 8 5 *

毎日新聞 2017/04/02



メイン・ストリートのならず者～ザ・ローリング・ストーンズ～(ロックの名盤!)

ビル・ヤノヴィッツ、石本 哲子 著
水声社

「ダイスをころがせ」「ロックス・オフ」を収録し、ストーンズの神話を打ち立てたアルバム「メイン・ストリートのならず者」。ジャケット、歌詞、関係者の証言を手がかりに、その奇跡の足跡をたどる。

2016:12./ 218p
978-4-89176-943-7
本体 ¥1,800+税

* 9 7 8 4 8 9 1 7 6 9 4 3 7 *

毎日新聞 2017/04/02



シューベルトの「冬の旅」

イアン・ポストリッジ 著
アルテスパブリッシング

英国の誇る世界的リート歌手が、1000 回を超える演奏経験と、文学・歴史・政治・自然科学におよぶ広大な知見と洞察にもとづき、シューベルトの「冬の旅」の成立史を跡づける。カラー図版も多数掲載。

2017:2./ 437p
978-4-86559-150-7
本体 ¥5,800+税

* 9 7 8 4 8 6 5 5 9 1 5 0 7 *

毎日新聞 2017/04/02



大英自然史博物館の《至宝(トレジャーズ)》250

大英自然史博物館 編
国立科学博物館、武井 摩利 著
創元社

恐竜から鳥への進化をつなぐ始祖鳥の化石、地球外生命の存在の可能性を示す火星隕石、最後のニホンオオカミ…。世界有数の自然史に関する博物館、大英自然史博物館が所有する選りすぐりの標本を紹介する。

2017:3./ 267p
978-4-422-44008-8
本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2017/04/02



岩波茂雄文集<2> 1936-1941年

岩波 茂雄、十重田 裕一 編
岩波 茂雄 著
岩波書店

生涯にわたり理想を追い求めた出版人・岩波茂雄の軌跡をたどる。2 は、日中戦争開戦の翌年に創刊した岩波新書、言論弾圧の風潮など、1936年?1941年に記された文章を収録。

2017:2./ 15p,347p
978-4-00-027089-2
本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2017/04/02



健康診断は受けてはいけない(文春新書 1117)

近藤 誠 著
文藝春秋

米国は前立腺がん検診を受けないことを推奨。スイスは乳がんマンモ検診の廃止を勧告…。健康診断は過剰な医療介入のきっかけとなり、日本人の寿命を縮めている! 健康診断のデメリットと、健やかに生きるための秘訣を明かす。

2017:2./ 213p
978-4-16-661117-1
本体 ¥740+税



毎日新聞 2017/04/02



裸足で逃げる～沖縄の夜の街の少女たち～(at プラス叢書 16)

上間 陽子 著
太田出版

沖縄の風俗業界で働く女性たちの調査の記録。家族や恋人や知らない男たちから暴力を受けて育った少女たちが、そこから逃げて、自分の居場所をつくりあげるまでを綴る。『at プラス』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2017:2./ 260p
978-4-7783-1560-3
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/04/02



岩波茂雄文集<3> 1942-1946年

岩波 茂雄、十重田 裕一 編
岩波 茂雄 著
岩波書店

生涯にわたり理想を追い求めた出版人・岩波茂雄の軌跡をたどる。3 は、アジア太平洋戦争下の 1942 年からアメリカ軍の占領下で岩波茂雄が没する 1946 年までの文章を収録。年代不詳のものや座談会等も掲載。完結巻。

2017:3./ 13p,334p,12p
978-4-00-027090-8
本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2017/04/02



成功者 K

羽田 圭介 著
河出書房新社

ある朝目覚めると K は有名人になっていた。K は寄ってくる女性たちと次々に...
これは実話かフィクションか!? 芥川賞作家の超話題作。

毎日新聞 2017/04/02

2017:3./ 324p
978-4-309-02551-3
本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 5 5 1 3 *



寺山修司論〜バロックの大世界劇場〜

守安 敏久 著
国書刊行会

寺山修司によるラジオ・テレビ・映画・演劇に、誇張・過剰・不規則の「バロック常数」を見出しながら、作品創造の秘儀を解説した寺山修司研究の集大成。著者自身による寺山修司インタビューも収録する。

毎日新聞 2017/04/02

2017:3./ 563p,14p
978-4-336-06135-5
本体 ¥5,400+税



* 9 7 8 4 3 3 6 0 6 1 3 5 5 *



つまり、読書は冒険だ。(対話で学ぶ<世界文学>連続講義 5)

沼野 充義 著
光文社

川上弘美、小野正嗣、張競、ツベタナ・クリステワらに対談ゲストに迎え、文学について様々な角度から話し合う。イベント「世界は文学でできている-10代から出会う翻訳文学案内」などの講演をもとに再構成。シリーズ完結。

毎日新聞 2017/04/02

2017:3./ 381p
978-4-334-97921-8
本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 3 3 4 9 7 9 2 1 8 *



日本とフランス「官僚国家」の戦後史(NHK ブックス 1245)

大嶽 秀夫 著
NHK出版

イデオロギー対立の終焉と左派の没落。「民主化」の終わりと「自由化」の始まり。エリートイズムへの反発とポピュリズムの台頭...。日本とフランス、二つの「官僚国家」の70年から民主主義の未来を見通す。

毎日新聞 2017/04/02

2017:3./ 219p
978-4-14-091245-4
本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 1 4 0 9 1 2 4 5 4 *



舞台をまわす、舞台がまわる〜山崎正和オーラルヒストリー〜

山崎 正和、牧原 出 編
山崎 正和 著
中央公論新社

満洲における終戦体験、多彩な劇作・評論活動の展開、そして政治との関わり-。ロングインタビューの記録によって、日本を代表する知識人・山崎正和の歩んだ道と戦後史の一断面を明らかにする。

毎日新聞 2017/04/02

2017:3./ 363p
978-4-12-004883-8
本体 ¥3,000+税



* 9 7 8 4 1 2 0 0 4 8 8 3 8 *



一九八四年 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 53)

ジョージ・オーウェル 著
早川書房

〈ビッグ・ブラザー〉率いる党が支配する超全体主義的の近未来。ウィンストン・スミスは真理省記録局に勤務する党员。ある時、奔放な美女ジュリアと出会ったことを契機に、反政府地下活動に惹かれるようになるが...

毎日新聞 2017/04/02、朝日新聞 2017/04/09

2009:6./ 511p
978-4-15-120053-3
本体 ¥860+税



* 9 7 8 4 1 5 1 2 0 0 5 3 3 *



セメント樽の中の手紙ほか プロレタリア文学～教科書で読む名作～(ちくま文庫 41-6)

葉山 嘉樹 著

筑摩書房

表題作のほか、二銭銅貨(黒島伝治)/蟹工船(小林多喜二)など収録。高校国語教科書に準じた傍注や図版付き。併せて読みたい名対談も収めた。

2017:3./ 287p
978-4-480-43417-3

本体 ¥740+税



毎日新聞 2017/04/02、読売新聞 2017/04/09



なかなか暮れない夏の夕暮れ

江國 香織 著

角川春樹事務所

本ばかり読んでいる稔、姉の雀、元恋人の渚、娘の波十、友だちの大竹と淳子…。切実で愛しい小さな冒険の日々と、頁をめくる官能を描く長篇小説。『ランティエ』連載に加筆・訂正して単行本化。

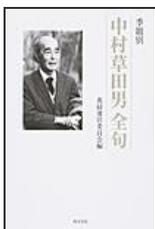
2017:2./ 334p

978-4-7584-1300-8

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/04/02、読売新聞 2017/04/23



季題別中村草田男全句

萬緑運営委員会 編

中村 草田男 著

KADOKAWA

昭和俳句史の中心にいた中村草田男。約 50 年に詠んだ全 11,614 句を季題別に収録。草田男による「季題断章」「自句自解」ほか、句碑一覧、略年譜、初句・季題索引を付した草田男の文学精神を総覧する決定版！

2017:3./ 619p

978-4-04-876389-9

本体 ¥10,000+税



毎日新聞 2017/04/03



八十日間世界一周 改版(角川文庫)

ジュール・ヴェルヌ、江口 清 著

角川書店

0

2004:10./ 364p

978-4-04-202209-1

本体 ¥552+税



毎日新聞 2017/04/09



新幹線殺人事件 改版(角川文庫)

森村 誠一 著

角川書店

ひかり 66 号のグリーン車で男性死体が発見された。事件の背後には万博の巨大な利権と芸能プロの暗闘が……捜査本部は犯人の密室トリックと鉄壁のアリバイに挑む!名作ミステリ。

2008:5./ 367p

978-4-04-175380-4

本体 ¥590+税



毎日新聞 2017/04/09



海底二万里 改訂新版(集英社文庫)

ジュール・ヴェルヌ、江口 清 著

集英社

0

2009:4./ 598p

978-4-08-760570-9

本体 ¥857+税



毎日新聞 2017/04/09



終着駅(ターミナル)殺人事件～長編推理小説～(光文社文庫)

西村 京太郎 著
光文社

青森県 F 高校の男女 7 人の同窓生は、上野発の寝台特急「ゆうづる 7 号」で、卒業後 7 年ぶりに郷里に向かおうとしていた。しかし、上野駅構内で第一の殺人。その後、次々に仲間が殺されていく。

2009:10./ 449p
978-4-334-74675-9
本体 ¥705+税



毎日新聞 2017/04/09



ひたくれなみ～歌集～(短歌新聞社文庫)

斎藤史 著
短歌新聞社
0

1993:10./ 126p
978-4-8039-0709-4
本体 ¥667+税



毎日新聞 2017/04/09



点と線 改版(新潮文庫)

松本 清張 著
新潮社

列車時刻表を駆使したリアリスティックな状況設定で推理小説界に“社会派”の新風を吹きこみ、空前の推理小説ブームを呼んだ秀作。

2003:5./ 262p
978-4-10-110918-3
本体 ¥520+税



毎日新聞 2017/04/09



ブラザー・ウルフ～われらが兄弟、オオカミ～

ジム・ブランデンバーグ 著
講談社

世界でも第一級の、森林オオカミの生態写真。動物写真家として数々の名誉ある賞に輝くブランデンバーグによる、森林オオカミのすばらしい写真集。ニューヨーク・タイムズも絶賛したできばえである。

1995:3./ 160p
978-4-06-154221-1
本体 ¥5,631+税



毎日新聞 2017/04/09



マッチ売りの少女 改版(新潮文庫)

アンデルセン 著
新潮社
0

1989:1./ 245p
978-4-10-205504-5
本体 ¥430+税



毎日新聞 2017/04/09



<甲賀忍者>の実像(歴史文化ライブラリー 335)

藤田 和敏 著
吉川弘文館

江戸時代、自らが忍者だと主張した人々がいた。武士身分への復活を求めて幕府へ請願、甲賀隊を結成して戊辰戦争に参加した。忍術書「万川集海」や出版文化による忍者イメージの形成と、「甲賀古土」の実像を解明する。

2012:1./ 6p,192p
978-4-642-05735-6
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/04/09



桐島、部活やめるってよ(集英社文庫 あ 69-1)

朝井 リョウ 著
集英社

バレー部のキャプテン桐島が、突然部活をやめた。それがきっかけで、同じ高校に通う5人の生活に、小さな波紋が広がり…。野球部、バレー部、映画部といった部活をキーワードに、至るところでリンクする5人の物語。

2012:4./ 245p
978-4-08-746817-5
本体 ¥480+税



毎日新聞 2017/04/09



代表的日本人(いつか読んでみたかった日本の名著シリーズ 4)

内村 鑑三 著
致知出版社

日本の文化や精神を“英語で”西欧に紹介した3大著作のうちのひとつ、「代表的日本人」の現代語訳。原文に忠実に、とことん読みやすく訳出する。訳者・齋藤慎子の解説付き。

2012:11./ 237p
978-4-88474-979-8
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/04/09



作家たちの秘密～自閉症スペクトラムが創作に与えた影響～

ジュリー・ブラウン、府川 由美恵 著
東京書籍

文学において自閉症スペクトラムが作品の創作に与えた影響を考察。自閉症、あるいは自閉症だと思われる作家の伝記、自伝、日記、自筆原稿などから執筆プロセスを洞察し、彼らの故郷を訪ねてその足跡を感じつつ丹念に語る。

2013:1./ 315p
978-4-487-80737-6
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/04/09



武士道～英文版～

新渡戸 稲造 著
IBCパブリッシング

現在でも日本人の心を知ろうとすると、真っ先に読まなければならない必読書とされている「Bushido」。大きな活字、難解単語の語注つき。

2014:12./ 210p
978-4-7946-0320-3
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/04/09



忍者の歴史(角川選書 570)

山田 雄司 著
KADOKAWA

ある時は敵国へ侵入し、放火、破壊、情報収集をおこなう戦闘員、またある時は大名屋敷や百人番所の警備員…。これまで解明されることのなかった忍者の実像を、歴史資料の研究によって明らかにする。

2016:4./ 270p
978-4-04-703580-5
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/04/09



銀河鉄道の夜(双葉社ジュニア文庫)

宮沢 賢治、冬空 実 著
双葉社

ジョバンニとカムパネルラと一緒に、満天の星々を旅しよう。悲しくも美しい宮沢賢治の代表傑作「銀河鉄道の夜」をはじめ、「双子の星」「セロ弾きのゴーシュ」などの作品・詩を収録。読書感想文のヒントも掲載。

2016:7./ 214p
978-4-575-23979-9
本体 ¥630+税



毎日新聞 2017/04/09



上座仏教事典

パーリ学仏教文化学会上座仏教事典編集委員会 編
めこん

上座仏教の聖典・教理面や修行・儀礼の実際を解説し、スリランカ・ミャンマー・タイ・ラオス・カンボジア及び周辺地域の上座仏教の実践形態や社会との関わりを幅広く紹介する。カラー口絵写真も多数収録。見返しに地図あり。

毎日新聞 2017/04/09

2016:10./ 684p 図版
32p

978-4-8396-0299-4

本体 ¥12,000+税



* 9 7 8 4 8 3 9 6 0 2 9 9 4 *



十五少年漂流記(ポプラ世界名作童話 12)

J.ベルヌ 著

ポプラ社

夏休み、チェアマン寄宿学校の少年たちは数週間の船旅をするはずだったのに、船は子どもだけを乗せたまま嵐にあい、無人島へ…。世界中で愛され読みつがれてきた名作を、現代の児童文学作家が読みやすく再構成。

毎日新聞 2017/04/09

2016:11./ 161p

978-4-591-15178-5

本体 ¥1,000+税



* 9 7 8 4 5 9 1 1 5 1 7 8 5 *



忍者の掟(角川新書 K-116)

川上 仁一 著

KADOKAWA

忍びとは、いかなる修行をし、どんな術を使い、歴史の中でどのように活躍してきたのか。山の砦に籠城する際の掟書から、忍術秘伝の書まで、甲賀忍術の正統継承者である著者が、門外不出の史料を一挙に公開する。

毎日新聞 2017/04/09

2016:12./ 205p

978-4-04-082106-1

本体 ¥900+税



* 9 7 8 4 0 4 0 8 2 1 0 6 1 *



せとうち暮らし<Vol.20(2016)> 本はチケット。ページをめくると、そこは瀬戸内

せとうち暮らし編集部 著

瀬戸内人

瀬戸内の島と陸をつなぐコミュニケーションマガジン。小説の中の瀬戸内、小豆島を舞台にした小説「八日目の?」の著者・角田光代のインタビュー、街の本屋さん散歩など、「瀬戸内と島と本」を紹介する。

毎日新聞 2017/04/09

2016:11./ 110p

978-4-908875-07-6

本体 ¥917+税



* 9 7 8 4 9 0 8 8 7 5 0 7 6 *



ヒトと文明～狩猟採集民から現代を見る～(ちくま新書 1227)

尾本 恵市 著

筑摩書房

人類はいかに進化を遂げ、文明を築き上げてきたか。遺伝人類学の大家が、人類の歩みや日本人の起源を多角的に検証。狩猟採集民の視点から現代の問題を照射する。

毎日新聞 2017/04/09

2016:12./ 296p

978-4-480-06933-7

本体 ¥900+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 6 9 3 3 7 *



ジュール・ヴェルヌ<驚異の旅>コレクション<2> 地球から月へ 月を回って 上も下もなく

ジュール・ヴェルヌ 著

インスクリプト

ヴェルヌの小説連作<驚異の旅>から、入手困難な重要作品を中心に、地理的・ジャンルの広がりバランスよくカバーした選集。2 は、アメリカの大砲屋たちが主人公の「ガン・クラブ」3部作、補遺、挿画を収録。

毎日新聞 2017/04/09

2017:1./ 655p

978-4-900997-44-8

本体 ¥5,800+税



* 9 7 8 4 9 0 0 9 9 7 4 4 8 *



忍者の末裔～江戸城に勤めた伊賀者たち～

高尾 善希 著
KADOKAWA

天下泰平の徳川時代。戦に出なくなった忍者の子孫たちは、どんな生活をしていたのか？江戸城大奥に勤める伊賀者の日常が記録されていた古文書をもとに、江戸の下級武士の生活を細やかに記す。

2017:1./ 315p
978-4-04-400208-4
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/04/09



宮沢賢治の真実～修羅を生きた詩人～

今野 勉 著
新潮社

妹を死の淵にまで追い込んだ事件とは何か。なぜ、賢治は自身を修羅と呼んだのか。「春と修羅」「永訣の朝」「銀河鉄道の夜」。数々の名作の奥底に潜む宮沢賢治の実人生の慟哭を解き明かす。

2017:2./ 399p
978-4-10-350681-2
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/04/09



安達峰一郎～日本の外交官から世界の裁判官へ～

篠原 初枝 編
東京大学出版会

20世紀の戦間期に、外交官、常設国際司法裁判所所長・判事、さらに国際法学者として、「仁により正を持し、もって萬邦の平和を期」した安達峰一郎。時代状況にも触れながら、安達の生涯やその業績を振り返る。

2017:2./ 10p,263p,16p
978-4-13-036259-7
本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2017/04/09



そして、ぼくは旅に出た。～はじまりの森ノースウッズ～

大竹 英洋 著
あすなる書房

ノースウッズへ。それが自分の人生を前に進めることのできる、ただひとつの行動だった。大自然に憧れ、写真家をめざすことになった1999年の旅を綴る。『ナショナルジオグラフィック日本版』のウェブ連載に加筆し書籍化。

2017:3./ 418p
978-4-7515-2868-6
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2017/04/09



団地のはなし～彼女と団地の8つの物語～

東京 R 不動産 著
青幻舎

窓の数だけ、物語がある！松田青子、山内マリコ、最果タヒ、カシワイほか女性作家8人が、団地の魅力を小説、詩、漫画、エッセイ等を通じて表現した一冊。ジェーン・スー×佐々木俊尚の対談も掲載。

2017:3./ 139p
978-4-86152-615-2
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/04/09



葛原妙子と齋藤史～『朱霊』と『ひたくれなみ』～

寺島 博子 著
六花書林

葛原妙子の「朱霊」、齋藤史の「ひたくれなみ」。それぞれが60代のときに上梓した歌集を取り上げ、その歌集名の美しい均衡に焦点を当て、ふたりの表現者としての意識を探った評論集。

2017:3./ 241p
978-4-907891-38-1
本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2017/04/09



日本の戦略外交(ちくま新書 1236)

鈴木 美勝 著
筑摩書房

外交取材のエキスパートが読み解く世界史ゲームのいま。「歴史」の和解と打算、機略縦横の駆け引き……。戦略的リアリズムとは何か。

2017:2./ 412p
978-4-480-06944-3

本体 ¥1,100+税



毎日新聞 2017/04/09、産経新聞 2017/04/16



葬られた文部大臣、橋田邦彦〜戦前・戦中の隠されてきた真実〜

高橋 琢磨 著
WAVE出版

東条英機の学徒出陣に抵抗して辞表を出した文部大臣であり、教育者としても一流の弟子を多数育てた橋田邦彦。歴史から葬り去られた“知の巨人”を掘り起こし、その生涯を振り返ることで、戦前・戦中の昭和に斬り込む。

2017:4./ 287p
978-4-86621-056-8

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2017/04/09、産経新聞 2017/04/16



発達障害(文春新書 1123)

岩波 明 著
文藝春秋

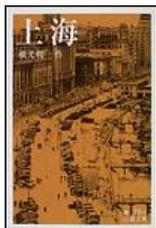
空気が読めない、同じ失敗を繰り返す、極端なこだわり…。成人期の発達障害の代表的な疾患、アスペルガー症候群などの自閉症スペクトラム障害(ASD)、注意欠如多動性障害(ADHD)を中心に疾患の種類、治療事例を解説。

2017:3./ 255p
978-4-16-661123-2

本体 ¥820+税



毎日新聞 2017/04/09、朝日新聞 2017/04/23



上海 改版(岩波文庫 緑 75-2)

横光 利一 著
岩波書店

1925年の5.30事件はなぜ起こったか。日系紡績工場のストライキはこの多言語都市のあらゆる階層を揺さぶる思惑渦巻く露地に亡命ロシア人や湯女の嘆きを軋ませ、新感覚派的手法で国際都市を多声的に描いた問題作。

2008:2./ 352p
978-4-00-310752-2

本体 ¥810+税



毎日新聞 2017/04/16



モダンガール論(文春文庫)

斎藤 美奈子 著
文芸春秋

玉の輿。お祖母ちゃんもお母さんもお姉さんも、みんな同じ夢を抱えてきた。そして今、あなたは?“欲望史観”で読む女の子の100年。

2003:12./ 329p
978-4-16-765687-4

本体 ¥657+税



毎日新聞 2017/04/16



無門関(ワイド版岩波文庫)

慧開 著
岩波書店

中国宋代の僧無門慧開が編んだ公案集。「狗子仏性」をはじめ全48則、いわゆる「東洋的無」「絶対無」の原典として世界的に著名。付・現代語訳。

2004:1./ 216p
978-4-00-007236-6

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2017/04/16



暗号解説<上>(新潮文庫 シ-37-2)

サイモン・シン 著
新潮社

カエサル暗号から未来の量子暗号に到る暗号の進化史を、『フェルマーの最終定理』の著者が豊富なエピソードとともに描き出す。知的興奮に満ちた、天才たちのドラマ!

2007:6./ 340p
978-4-10-215972-9
本体 ¥630+税



毎日新聞 2017/04/16



暗号解説<下>(新潮文庫 シ-37-3)

サイモン・シン、青木 薫 著
新潮社

ネットや銀行を始め、知らずに我々の周囲に溢れる暗号技術の現在と未来、歴史の背後に秘められた人間ドラマを解き明かす傑作ノンフィクション。巻末に「史上最強の暗号」とその解答を収録。

2007:6./ 366,16p
978-4-10-215973-6
本体 ¥670+税



毎日新聞 2017/04/16



家父長制と資本制～マルクス主義フェミニズムの地平～(岩波現代文庫 学術216)

上野 千鶴子 著
岩波書店

女性への抑圧はいったい何に由来するのか。マルクス主義フェミニズムの立場を打ち出し、研究の新たな地平を拓いた記念碑的著作。

2009:5./ 474p
978-4-00-600216-9
本体 ¥1,340+税



毎日新聞 2017/04/16



お母さんは忙しくなるばかり～家事労働とテクノロジーの社会史～

ルース・シュウォーツ・コーワン 著
法政大学出版局

家庭に入り込んだ機械は、お母さんたちの仕事を本当に楽にしたのか?19世紀の工業化と20世紀の家庭電化によって主婦の家事労働が増えていったアイロニカルな過程を、技術史・社会史の視点から描く。

2010:10./ 246p,56p 図
版 16p
978-4-588-36414-3
本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2017/04/16



新編日本古典文学全集<20> 源氏物語(1)

小学館
0

毎日新聞 2017/04/16

1994:3./ 476p
978-4-09-658020-2
本体 ¥4,076+税



プリニウスの博物誌<1> 第1巻?第6巻

プリニウス、中野 定雄、中野 里美、中野 美代 著
雄山閣

現存する世界最古の百科全書 37巻の全訳。1 は、全巻の内容紹介と典拠作家一覧を収めた第1巻、宇宙・気象・地球について当時の知識をまとめた第2巻、広範囲な地域の詳細な地誌を記録した第3?6巻を収録する。

2012:5./ 8p,293p 図版
7枚
978-4-639-02230-5
本体 ¥6,200+税



毎日新聞 2017/04/16



二代目〜聞き書き中村吉右衛門〜(朝日文庫 こ37-1)

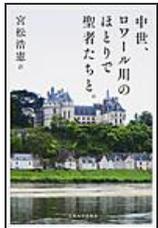
小玉 祥子 著
朝日新聞出版

名優になるようにと言われ続けた少年期。実父・松本白鸚と一門の東宝入り。そして松竹復帰とそれ以降の苦闘の日々…。歌舞伎俳優・二代目中村吉右衛門が波乱の半生を語る。詳細な年譜も収録。

2016:12./ 291p
978-4-02-261887-0
本体 ¥840+税



毎日新聞 2017/04/16



中世、ロワール川のほとりで聖者たちと。

宮松 浩憲 著
九州大学出版会

聖モリーユ、ヴェルトウの聖マルタン、聖レザン…。聖者の行状や言葉を記した伝記や奇蹟譚といった聖者文学を読むことによって、聖なるものと俗なるものがよく共存した、中世ロワール河畔の人々の日常生活を垣間見る。

2017:3./ 5p,339p,16p
978-4-7985-0199-4
本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2017/04/16



源氏姉妹(しすたあず)

酒井 順子 著
新潮社

馴れ初め、受けた仕打ち、そして閨の技術…。酒井順子のリードで、光源氏とのまぐわいを通じて肉体の<姉妹>となった元カノたちが愛欲の日々を赤裸々告白する。源氏物語が心底わかるイタコ随筆。『小説新潮』掲載を書籍化。

2017:1./ 252p
978-4-10-398509-9
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/04/16



いのちの証言〜ナチスの時代を生き延びたユダヤ人と日本人〜

六草 いちか 著
晶文社

ナチ政権下、ホロコースト時代をどのように生き延びたのか。生存ユダヤ人とユダヤ人を救った日本人たちの記憶と証言をもとに、悲劇の時代に生きた人間の姿をありのままにつづる、渾身のノンフィクション。

2017:1./ 229p
978-4-7949-6952-1
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2017/04/16



昭和の能楽名人列伝(淡交新書)

羽田 昶 著
淡交社

キラリと光った名人の織りなした夢幻の世界に思いを馳せる。激動の昭和能楽史に足跡を残したシテ方と三役(ワキ方・狂言方・囃子方)の名人 33 名を紹介する。写真も掲載。

2017:2./ 303p
978-4-473-04171-5
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2017/04/16



ヤズディの祈り

林 典子 著
赤々舎

2014 年 8 月、ダーシュ(過激派組織 IS)の侵略を受けた中東の少数民族・ヤズディ。破壊された村の風景、避難先での暮らし、シングル山の雄姿…。30 余組の証言と、現地で共に生活しながら撮り続けた写真を収録する。

2016:12./ 223p
978-4-86541-058-7
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/04/16



生物科学の歴史～現代の生命思想を理解するために～

ミシェル・モランジュ、佐藤 直樹 著
みすず書房

人は生物と生命をどのように考えてきたのか。フランスの分子生物学者であり、歴史・哲学研究者である著者が、生物科学の「複雑なダイナミクス」と生命思想の展開を最先端の視座から描き、現代の生物学の考え方を説明する。

2017:3./ 394p,32p
978-4-622-08561-4

本体 ¥5,400+税



毎日新聞 2017/04/16



経済指標のウソ～世界を動かす数字のデタラメな真実～

ザカリー・カラベル、北川 知子 著
ダイヤモンド社

ときに政治家のクビを飛ばすほど重視される GDP や失業率などの「経済指標」。だが、統計が描き出す世界と、私たちが現実に暮らす世界とは乖離するが多い。「経済指標」の歴史、理論、実態に迫る。

2017:3./ 396p

978-4-478-02835-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/04/16



デザインってなんだろ?

松田 行正 著

紀伊國屋書店出版部

ブックデザインの世界を駆け抜けてきた著者が、デザインや美的感覚がそもそもどのように形成されていったかを、歴史の糸をときほぐしつつ解説するデザイン論。『+DESIGNING』等掲載を単行本化。

2017:3./ 326p

978-4-314-01145-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/04/16



みんなの知らない世界の原子力

海外電力調査会 著

日本電気協会新聞部

ドイツやスイスに代表される脱原子力を決めた国、フランスや米国、中国など原子力を必要とする国、それぞれの事情を分かりやすく解説。原子力発電の廃棄物や地球温暖化対策など様々な情報も紹介。

2017:3./ 277p

978-4-905217-62-6

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2017/04/16



名譽と恍惚

松浦 寿輝 著

新潮社

日中戦争中に上海の工部局警察官の職を追われた芹沢は、潜伏生活を余儀なくされ…。彼に生き延びる術は残されているのか。祖国に捨てられた男の転変の生を卓絶したスケールで描く傑作長篇。『新潮』連載に加筆して単行本化。

2017:3./ 765p

978-4-10-471703-3

本体 ¥5,000+税



毎日新聞 2017/04/16、朝日新聞 2017/04/23、読売新聞 2017/04/30、日本経済新聞 2017/04/30



季語になった京都千年の歳事

井上 弘美 著

KADOKAWA

安良居祭、葵祭、祇園祭、鞍馬の火祭、おけら詣り、蹴鞠始、懸想文売り…。伝統的な歳事から、一度は見たい奇祭まで、季節ごとの京都の歳事を古今の名句とともに案内する。『俳句研究』連載に加筆し単行本化。

2017:4./ 235p

978-4-04-876457-5

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/04/17



動物化するポストモダン～オタクから見た日本社会～(講談社現代新書)

東 浩紀 著
講談社

いま、日本文化の現状についてまじめに考えようとするなら、オタク系文化の検討は避けて通ることができない。コミック、アニメ、ゲームなどオタクたちの消費行動の変化から現代日本文化を読みとってゆく。

2001:11./ 193p
978-4-06-149575-3
本体 ¥740+税



毎日新聞 2017/04/23



カラマーゾフの兄弟<1>(光文社古典新訳文庫)

ドストエフスキー 著
光文社

世界の深みにずっと入り込める翻訳をめざして……。流れ、勢いこそ『カラマーゾフ』の神髄だ。自分の課題として受けとめた今回の亀山郁夫訳は、作者の壮絶な「二枚舌」を摘出する。

2006:9./ 443p
978-4-334-75106-7
本体 ¥724+税



毎日新聞 2017/04/23



存在論的、郵便的～ジャック・デリダについて～

東 浩紀 著
新潮社

ハイデガーの存在論とフロイトの精神分析を継承するジャック・デリダ。その謎めいた脱構築哲学を解説し、来るべき「郵便空間」を開示する。ロジックの速度・情報の圧縮・知的テンション……。27歳の俊英が挑む未知の哲学空間。

1998:10./ 338p,4p
978-4-10-426201-4
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/04/23



フランス料理を描くフロリレージュ～料理・盛りつけ～

川手 寛康 著
柴田書店

予約のとれないフランス料理店「フロリレージュ」のレシピと盛りつけの本

2013:11./ 207p
978-4-388-06179-2
本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2017/04/23



美味しさの脳科学～においが味わいを決めている～

ゴードン・M.シェファード、小松 淳子 著
合同出版

口から鼻に抜ける口中香のにおい経路が、「味わい(風味)を決める主役」になっている。風味の科学的解明を目指す新たな試み「ニューロ・ガストロノミー」を提唱するとともに、味わいの正体を突き止める。

2014:5./ 353p
978-4-7726-9540-4
本体 ¥2,450+税



毎日新聞 2017/04/23



化学史事典

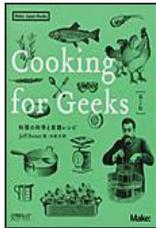
化学史学会 編
化学同人

化学史に特化した、世界初の事典。化学者(技術者、化学史研究者も含む)の略伝、学術団体・企業の沿革、化学理論・用語の変遷、化学古典(著作)の概要、化学装置・器具・化学物質の歴史、化学が関与した歴史的事件等を網羅。

2017:4./ 6p,985p
978-4-7598-1839-0
本体 ¥22,000+税



毎日新聞 2017/04/23

**Cooking for Geeks～料理の科学と実践レシピ～ 第2版(Make:Japan Books)**

Jeff Potter 著

オライリー・ジャパン

食材の味と風味の組み合わせ方から、熱の加え方の違いが食材に与える影響、パンやお菓子の生地に空気を含ませる方法まで、料理の科学的な仕組みを詳説。100以上のレシピ、科学者やシェフのインタビュー、実験も収録。

2016.12./ 11p,490p

978-4-87311-787-4

本体 ¥3,400+税



毎日新聞 2017/04/23

**生成不純文学**

木下 古栗 著

集英社

崇高なまでに昇華した下ネタ、導入から想像もつかない結末。孤高の異才が放つ、マニア垂涎の未発表作品を含む、計四篇の短篇集。読者死の予想の遙か斜め上を行く、古栗ワールド。のっけから飛ばします。

2017.2./ 178p

978-4-08-771028-1

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/04/23

**無常の使い**

石牟礼 道子 著

藤原書店

50年くらい前までわたしの村では、人が死ぬと「無常の使い」というものに立ってもらった。荒畑寒村、鶴見和子、久本三多ら、石牟礼道子が生前縁の深かった23人の御霊に捧げた悼詞を集成。

2017.2./ 249p

978-4-86578-115-1

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/04/23

**モラルの起源～実験社会科学からの問い～(岩波新書 新赤版 1654)**

亀田 達也 著

岩波書店

「群れ」や「仲間」を大きく超えて人々がつながる現代、私たちが対立を乗り越え、平和で安定した社会を築くにはどうしたらよいか。「実験社会科学」という新たなアプローチで、メタモラルの可能性を文理横断的に探る。

2017.3./ 13p,172p,2p

978-4-00-431654-1

本体 ¥760+税



毎日新聞 2017/04/23

**村上春樹翻訳<ほとんど>全仕事**

村上 春樹 著

中央公論新社

旺盛な意欲はどこからくるのか。翻訳が創作にもたらした影響は。翻訳家・村上春樹が、70余点の訳書を自ら紹介。36年の道のりを一望する。柴田元幸との対談も収録。

2017.3./ 197p

978-4-12-004967-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/04/23

**ゲンロン<0(2017April)> 観光客の哲学**

東 浩紀 編

東 浩紀 著

ゲンロン

グローバリズムが世界を覆う時代、新しい政治思想の足がかりはどこにあるのか。ルソー、ローティ、ネグリ、ドストエフスキー、ネットワーク理論を自在に横断し、ヘーゲルのパラダイムを乗り越える。

2017.4./ 313p,10p

978-4-907188-20-7

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2017/04/23



アウトサイドで生きている

榎野 展正 著

タバブックス

話題の自撮りおばあちゃん、武装ラブライバー、昆虫の死骸で観音像をつくった男、仮面だらけの謎の館、草を刈り続ける路上生活者…。18人の表現者たちの豊かな生きざまを追う。『美術手帖』他掲載に書き下ろしを加え書籍化。

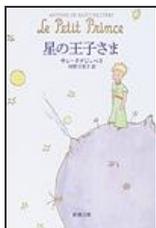
2017:4./ 301p

978-4-907053-18-5

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/04/23



星の王子さま(新潮文庫)

サン=テグジュペリ 著

新潮社

一度読んだら必ず宝物にしたくなる、この宝石のような物語は、刊行後 70 年以上たった今も、世界中でみんなの心をつかんで離さない。最も愛らしく毅然とした王子さまを、優しい日本語でよみがえらせた、新訳。

2006:3./ 158p

978-4-10-212204-4

本体 ¥480+税



毎日新聞 2017/04/30



南方熊楠菌類図譜

南方 熊楠、萩原 博光、ワタリウム美術館 著

新潮社

鬼才にして奇人、世界にその名を知られた博物学者が、熊野の森で 40 年間をかけて描き続けた執念のライフワークから 120 枚を厳選し、「菌類図譜」研究の第一人者、国立科学博物館の萩原博光博士の解説とともに収録。

2007:9./ 135p

978-4-10-305551-8

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2017/04/30



人間の土地 改版(新潮文庫 サ-1-2)

サン=テグジュペリ 著

新潮社

“我慢しろ…ぼくらが駆けつけてやる!…ぼくらのほうから駆けつけてやる!ぼくらこそは救援隊だ!”サハラ砂漠の真っ只中に不時着遭難し、渇きと疲労に打克って、三日後奇蹟的な生還を遂げたサン=テグジュペリの勇気の源泉とは…。

1998:10./ 208p

978-4-10-212202-0

本体 ¥550+税



毎日新聞 2017/04/30



水晶～他三篇～(岩波文庫 赤 422-3)

アーダルベルト・シュティフター 著

岩波書店

精緻な自然描写で知られるオーストリアの作家シュティフター(1805-68)の短篇集『石さまさま』より四篇を精選。他に「みかげ石」「石灰岩」「石乳」を収め巻末に『石さまさま』の「序」を付す。

1993:11./ 315p

978-4-00-324223-0

本体 ¥780+税



毎日新聞 2017/04/30



富士日記<上巻> 改版(中公文庫)

武田 百合子 著

中央公論社

夫泰淳と過ごした富士山麓での十三年間の日々を、澄明な目と天性の無垢な心で克明にとらえ天衣無縫な文体でうつし出した日記文学の傑作。田村俊子賞受賞作。

1997:4./ 474p

978-4-12-202841-8

本体 ¥933+税



毎日新聞 2017/04/30



富士日記<中巻> 改版(中公文庫)

武田 百合子 著
中央公論社

天性の芸術者である著者が、一瞬一瞬の生を特異な感性でとらえ、また昭和期を代表する質実な生活をあますところなく克明に記録した日記文学の傑作。

毎日新聞 2017/04/30

1997:5./ 496p
978-4-12-202854-8

本体 ¥933+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 2 8 5 4 8 *



富士日記<下巻> 改版(中公文庫)

武田 百合子 著
中央公論社

夫武田泰淳の取材旅行に同行したり口述筆記をする傍ら、特異の発想と表現の絶妙なハーモニーで暮らしの中の生を鮮明に浮き彫りにする。

毎日新聞 2017/04/30

1997:6./ 483p

978-4-12-202873-9

本体 ¥933+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 2 8 7 3 9 *



和漢三才図会～経絡・肢体部～

寺島 良安、横山 一豊 著
たにぐち書店

鍼灸の名人・澤田健が門下に繰り返し読むよう勧めた、江戸時代中期の百科事典「和漢三才図会」。その第 11・12 巻に相当する、臨床の現場に必要な経穴の位置や実際の取穴法等を記載した「経絡・肢体部」を読み下し文で収録。

毎日新聞 2017/04/30

2011:10./ 275p

978-4-86129-147-0

本体 ¥4,000+税



* 9 7 8 4 8 6 1 2 9 1 4 7 0 *



南方熊楠/柳田國男/折口信夫/宮本常一(池澤夏樹=個人編集 日本文学全集 第14巻)

折口 信夫、南方 熊楠、宮本 常一、柳田 國男 著
河出書房新社

熊楠「神社祭祀に関する意見」、柳田「海上の道」、折口「死者の書」、宮本「生活の記録」など、卓越した知性と想像力で日本像を再構築した巨人たちの文業から、傑作 29 篇を精選収録。

毎日新聞 2017/04/30

2015:4./ 539p

978-4-309-72884-1

本体 ¥2,900+税



* 9 7 8 4 3 0 9 7 2 8 8 4 1 *



南方熊楠～複眼の学問構想～

松居 竜五 著
慶應義塾大学出版会

東洋と西洋を往還する体験から、自然と人間、文明と未開、性的な規範といった既存の知的枠組みを相対化する独創的な知を紡いだ学者・南方熊楠。その多様性と集束力の織り成すダイナミズムを精緻に描く。

毎日新聞 2017/04/30

2016:12./ 539p,79p

978-4-7664-2362-4

本体 ¥4,500+税



* 9 7 8 4 7 6 6 4 2 3 6 2 4 *



フクシマ6年後消されゆく被害～歪められたチェルノブイリ・データ～

日野 行介、尾松 亮 著
人文書院

福島原発事故後、多発が露見した甲状腺がん。だが日本の為政者たちは幕引きを図るため、唯一の参照先「チェルノブイリ・データ」を歪曲し…。ジャーナリストとロシア研究者が、この国の暗部を暴く。

毎日新聞 2017/04/30

2017:2./ 209p

978-4-409-24115-8

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 4 0 9 2 4 1 1 5 8 *



沖縄 VS. 安倍政権～沖縄はどうすべきか～

宮里 政玄 著
高文研

「パワー・トランジション(権力移行)」論から中国の台頭を論じ、沖縄問題の背景を解明。アメリカのリバランス政策、対日政策を取り上げて安倍外交との比較を試み、沖縄は安倍外交に対する反対を継続すべきだと主張する。

2016:12./ 127p
978-4-87498-608-0
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/04/30



安倍官邸「権力」の正体(角川新書 K-120)

大下 英治 著
KADOKAWA

衆参両院で過半数を持ち、1 強時代を突き進む安倍政権。強大な権力の源泉は閣僚・党・官僚幹部人事の掌握に加え、再挑戦組の結束力が大きい。安倍総理本人をはじめキーマンらの証言から、権力の正体を浮き彫りにする。

2017:1./ 314p
978-4-04-082111-5
本体 ¥800+税



毎日新聞 2017/04/30



地方自治のあり方と原子力

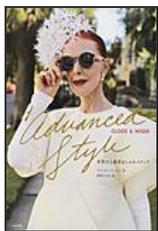
反原発運動全国連絡会 編
七つ森書館

多くの地方自治体が、住民の生命と生活・財産を守るため、脱原発の動きを始めた。脱原発運動の活動家、地方自治体の首長や議員、その経験者らが、各地の動きや取り組みを課題や今後の展望も含めてレポートする。

2017:2./ 252p
978-4-8228-1768-8
本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2017/04/30



Advanced Style: OLDER&WISER～世界の上級者おしゃれスナップ～

アリ・セス・コーエン、岡野 ひろか 著
大和書房

ニューヨーク、ロンドン、ケープタウン、東京、ローマ…。クリエイティブで洗練されたシニアたちのおしゃれスナップを満載。“上級者”たちが知恵とライフスタイルの秘密を明かすエッセイ 22 編も収録。

2017:3./ 268p
978-4-479-92114-1
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/04/30



永遠(とわ)の PL 学園～六〇年目のゲームセット～

柳川 悠二 著
小学館

2016 年 7 月をもって廃部に追い込まれた PL 学園野球部。桑田真澄、清原和博、立浪和義、宮本慎也、前田健太らプロ野球選手 81 人を生んだ、甲子園 96 勝、全国制覇 7 回の名門野球部の「謎の廃部」の真相に迫る。

2017:3./ 262p
978-4-09-379890-7
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/04/30



ハナモゲラ和歌の誘惑

笹 公人 著
小学館

魔術的言語「ハナモゲラ」の謎を追って、歌人・笹公人が言葉と韻律の冒険に繰り出す。愉快痛快、縦横無尽の短歌エッセイのほか、ジャズ・ピアニスト山下洋輔との対談も収録。『短歌』連載などを書籍化。

2017:4./ 191p
978-4-09-388459-4
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2017/04/30



旧グッゲンハイム邸物語～未来に生きる建築と、小さな町の豊かな暮らし～

森本 アリ 著
ぴあ

神戸の西にある小さな町「塩屋」。海沿いにある築 100 年超の洋館「旧グッゲンハイム邸」は、多目的貸しスペースとして運営されている。この建物を受け継いだ著者が、建築の再生とまちづくりについて綴る。

2017:3./ 256p
978-4-8356-3812-6
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/04/30



シンプルの正体～ディック・ブルーナのデザイン～

ディック・ブルーナ 著
ブルーシープ

「ミッフィー」の作者で、グラフィックデザイナーとしても数多くの名作を残したディック・ブルーナ。かわいらしく温かみのあるグラフィックや絵本のデザインを「シンプルさ」をキーワードに読み解くビジュアルブック。

2017:4./ 351p
978-4-908356-02-5
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/04/30



あの頃～単行本未収録エッセイ集～

武田 百合子、武田 花 編
武田 百合子 著
中央公論新社

没後 25 年を前に明らかになる、たぐいまれなる文章家・武田百合子の全貌。中央公論社刊「武田百合子全作品」全 7 巻に未収録の 100 余りのエッセイを収めた作品集。略年譜、作品リストも収録。

2017:3./ 533p
978-4-12-004968-2
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/04/30